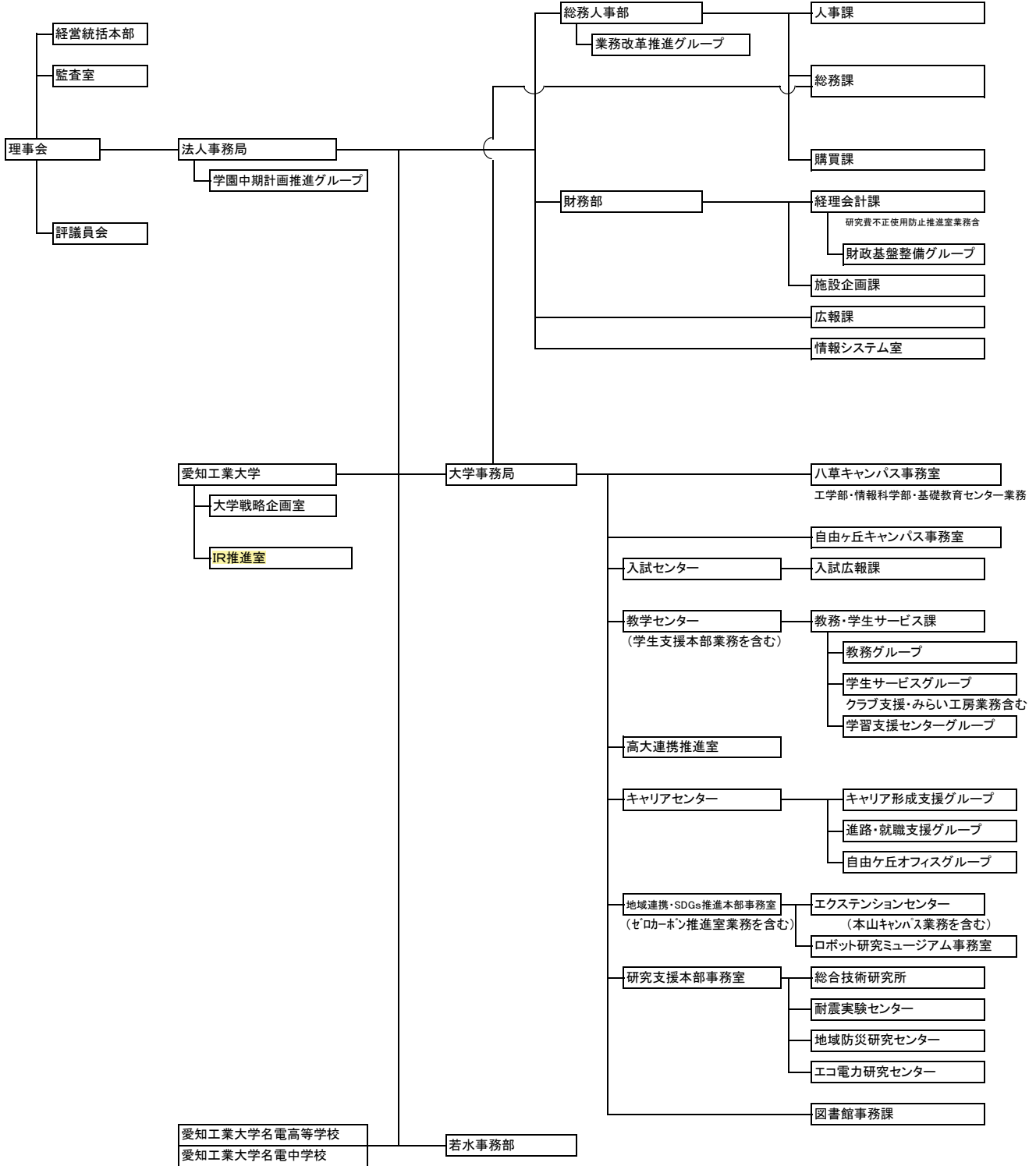
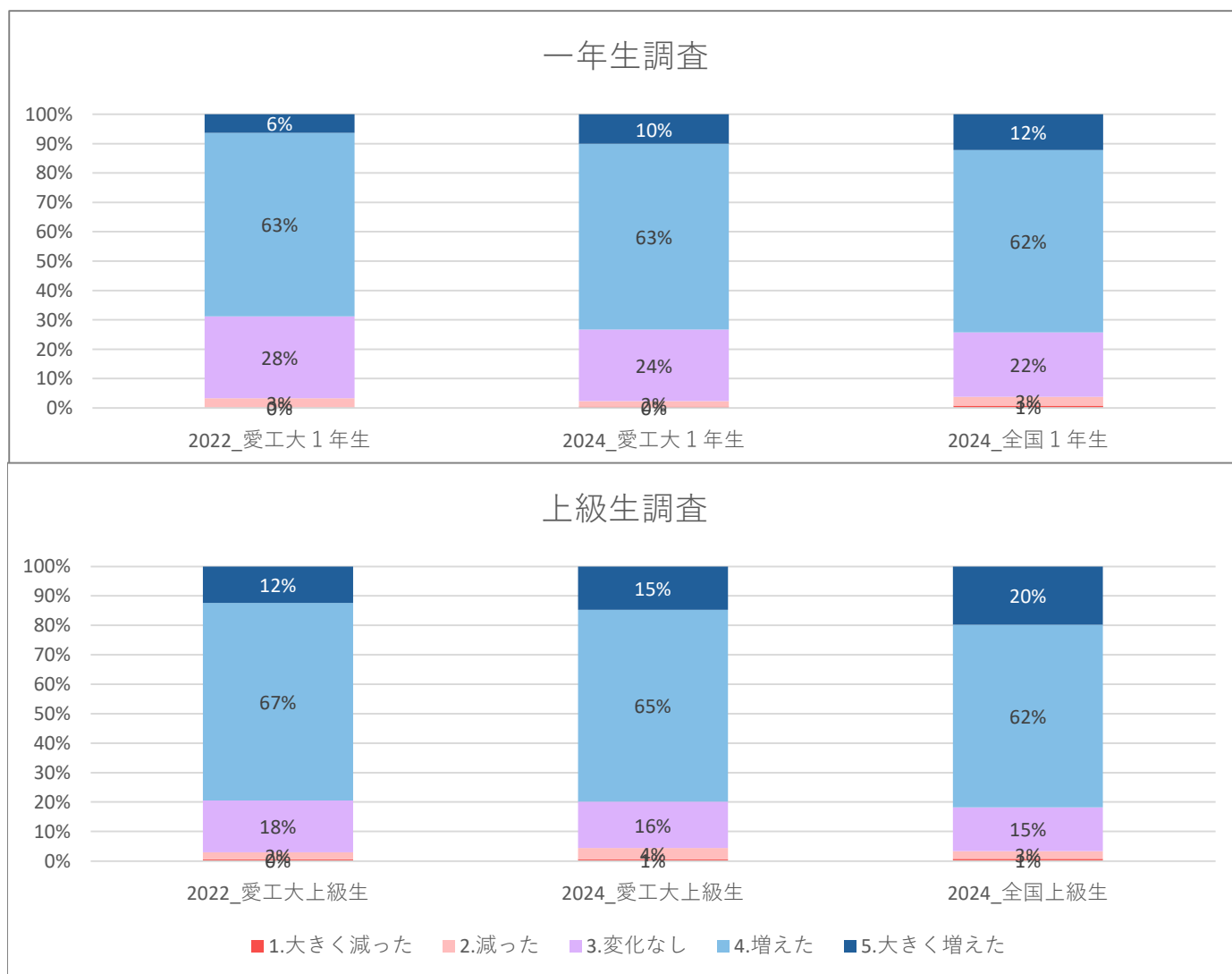


学校法人名古屋電気学園 事務組織図（令和7年度）



問7A.一般的な教養



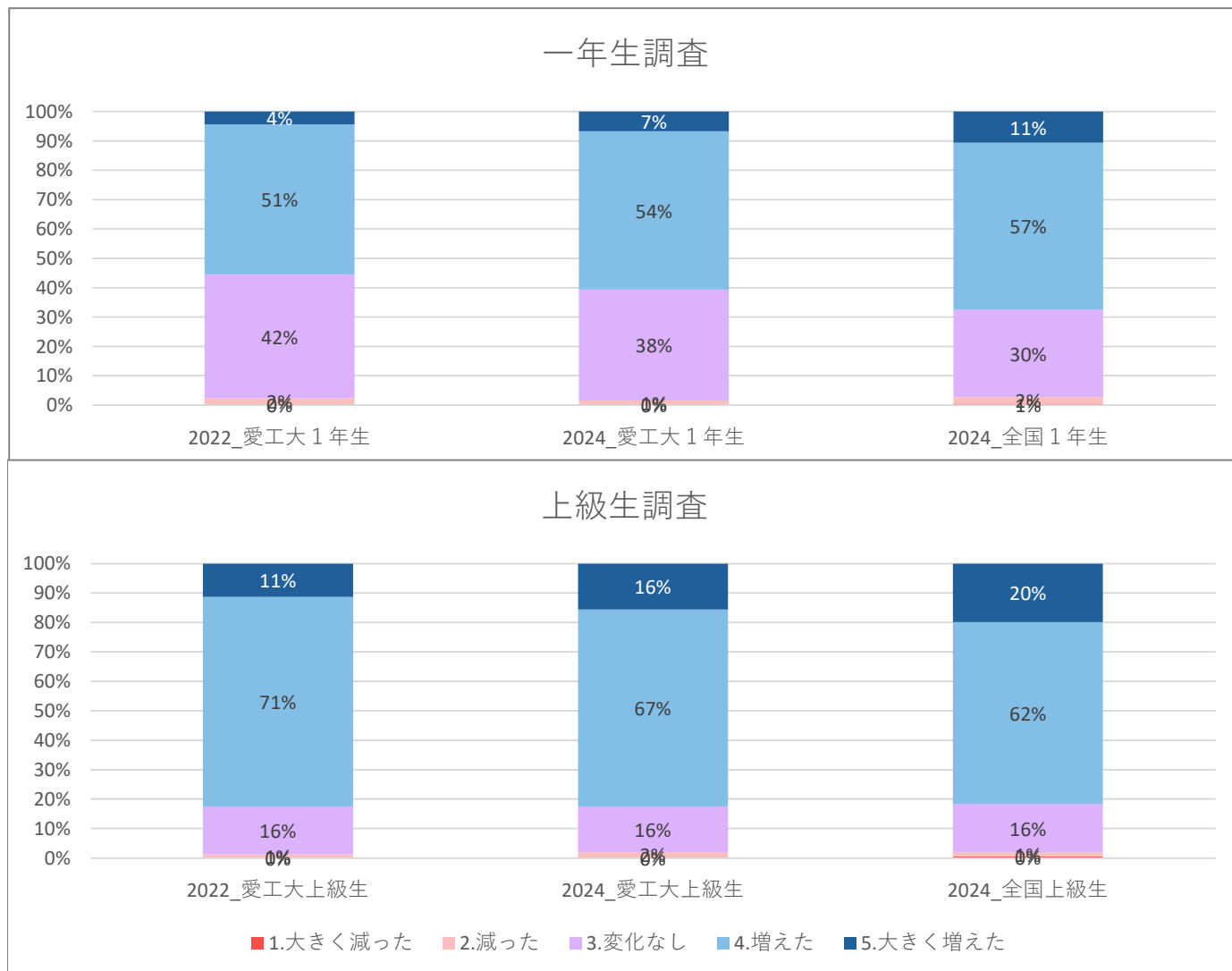
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
考察	入学1年目という短期間では一般教養の習得実感が限定的であり、大学教育への適応段階で変化を感じにくい状況にある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、5.大きく増えたで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	複数年にわたる学習経験の蓄積により一般教養の向上を強く実感する学生が多く、継続的な学習成果が顕著に現れている

問7B.分析力や問題解決能力



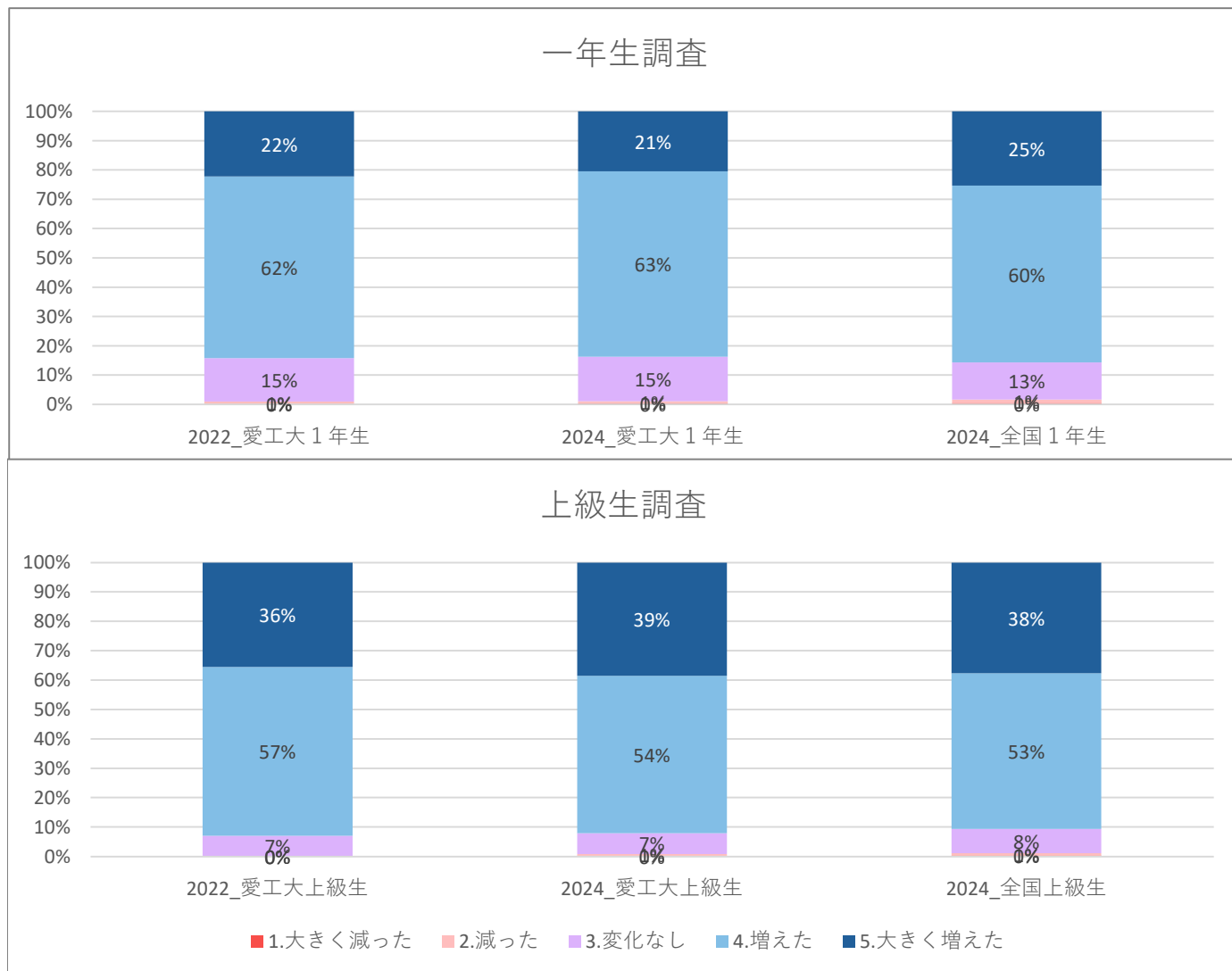
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	入学後わずかな期間では分析力や問題解決能力の変化を実感できる学生が少なく、全国平均と比較して「変化なし」と回答する割合が高いことから、能力向上を実感するには一定の学修期間と実践的な学習体験が必要である

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、4.増えたで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	複数年の学修を経て大多数の学生が分析力や問題解決能力の向上を実感しており、全国平均よりも「増えた」と回答する割合が高いことから、継続的な専門教育と実習・演習等の実践的学習によって確実な能力向上が図られている

問7C.専門分野や学科の知識



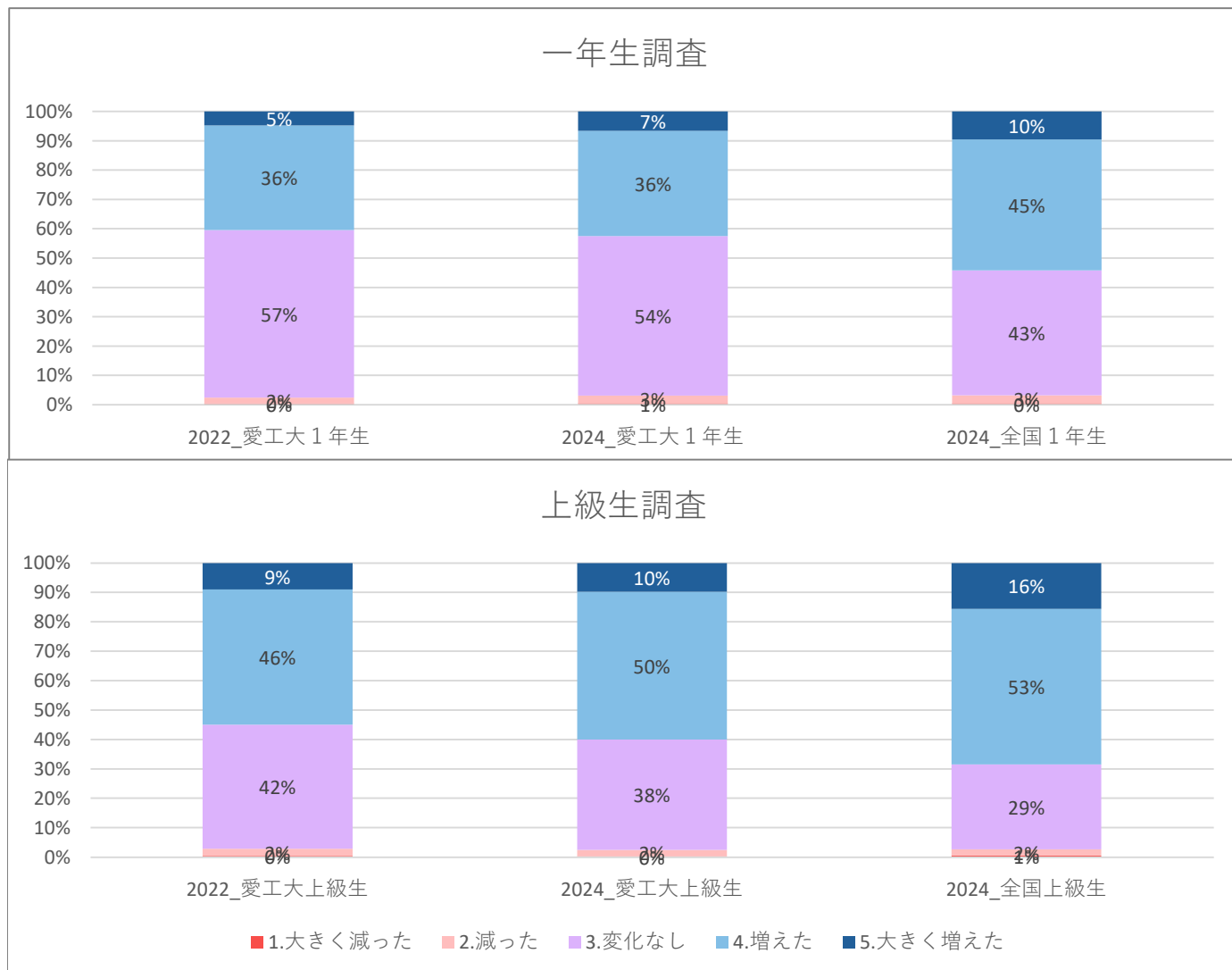
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、5.大きく増えたで差が大きい
考察	専門分野の知識において約84%が増加を実感しているが、全国平均と同等であり、上級生と比較して「大きく増えた」の割合が低いのは、一年生段階では基礎的な導入教育が中心であるためである

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、5.大きく増えたで差が大きい
考察	専門分野の知識において約93%が増加を実感し、特に「大きく増えた」が39%に達しているのは、学年進行とともに専門性の深化と実践的な学習機会が増加した結果である

問7D.批判的に考える能力



2024年度愛工大一年生調査について

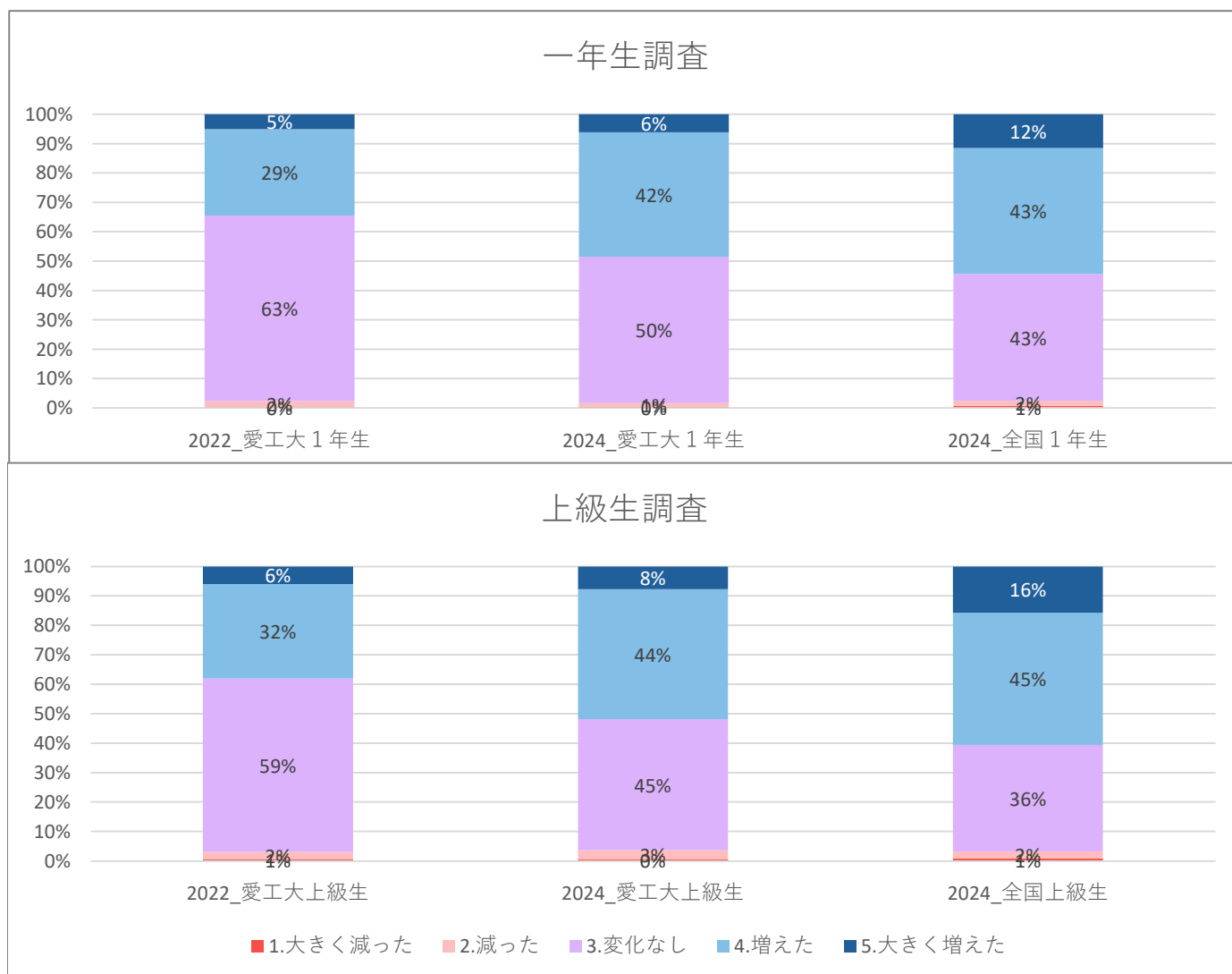
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	批判的思考能力について「変化なし」と回答する学生が全国平均より11ポイント高く、入学初期段階での能動的学習機会や思考力育成プログラムが十分に提供されていない可能性がある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	学年進行とともに批判的思考能力の向上を実感する学生は増加しているものの、全国平均と比較すると「変化なし」の割合が依然として高く、専門課程での思考力育成カリキュラムの更なる充実が求められる

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7E.異文化の人々に関する知識



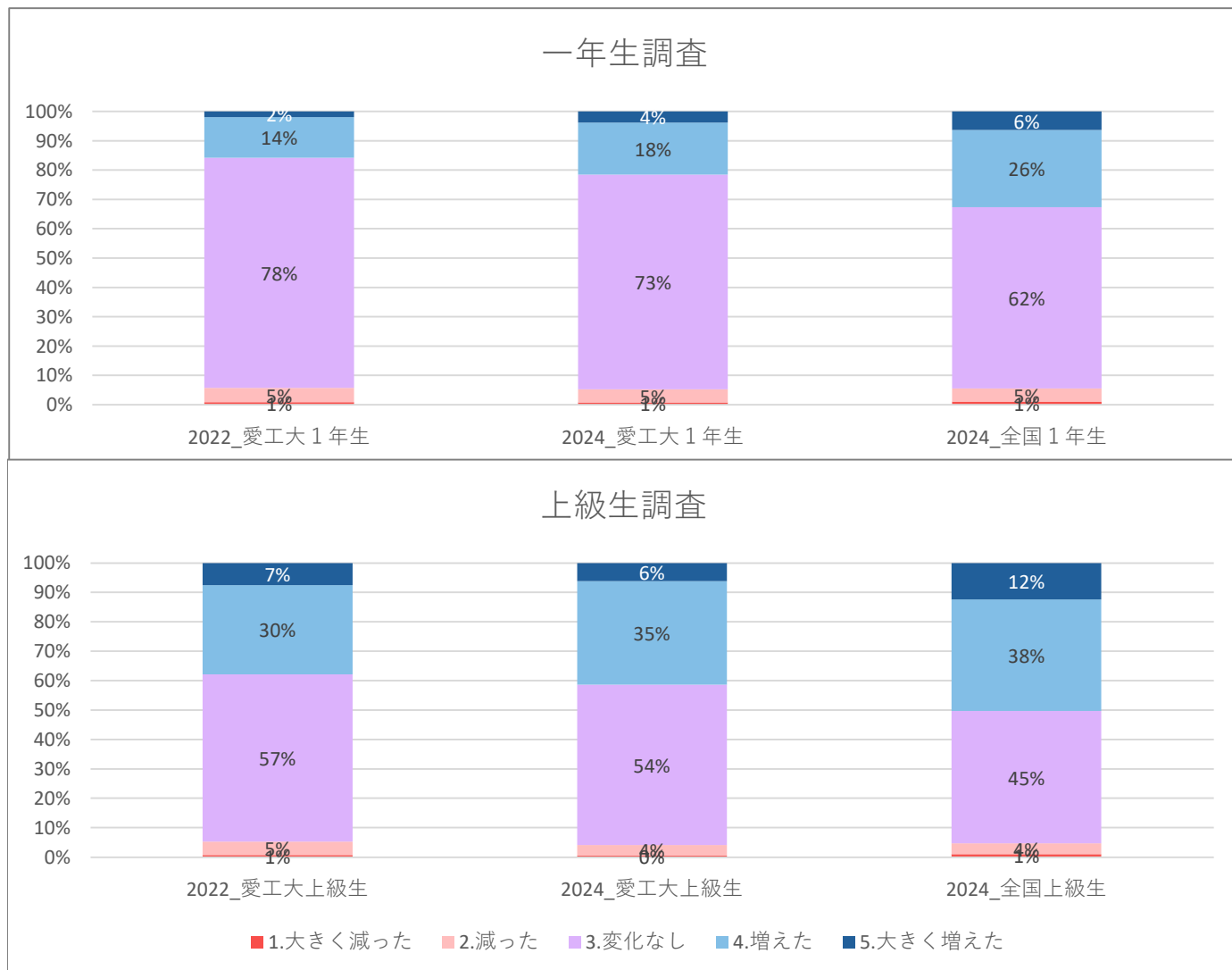
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
考察	異文化知識の習得について「変化なし」と回答する学生が全国平均より多い背景には、入学直後で専門教育や国際交流の機会が限定的であることに加え、理工系分野の特性として異文化接触の機会が相対的に少ないことが影響していると考え

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	学年進行にも関わらず異文化知識が「変化なし」とする回答が全国平均を上回る要因として、理工系カリキュラムにおける異文化関連科目の不足や、専門分野への集中により国際的な視野を広げる機会が制約されていることが推察される

問7F.リーダーシップの能力



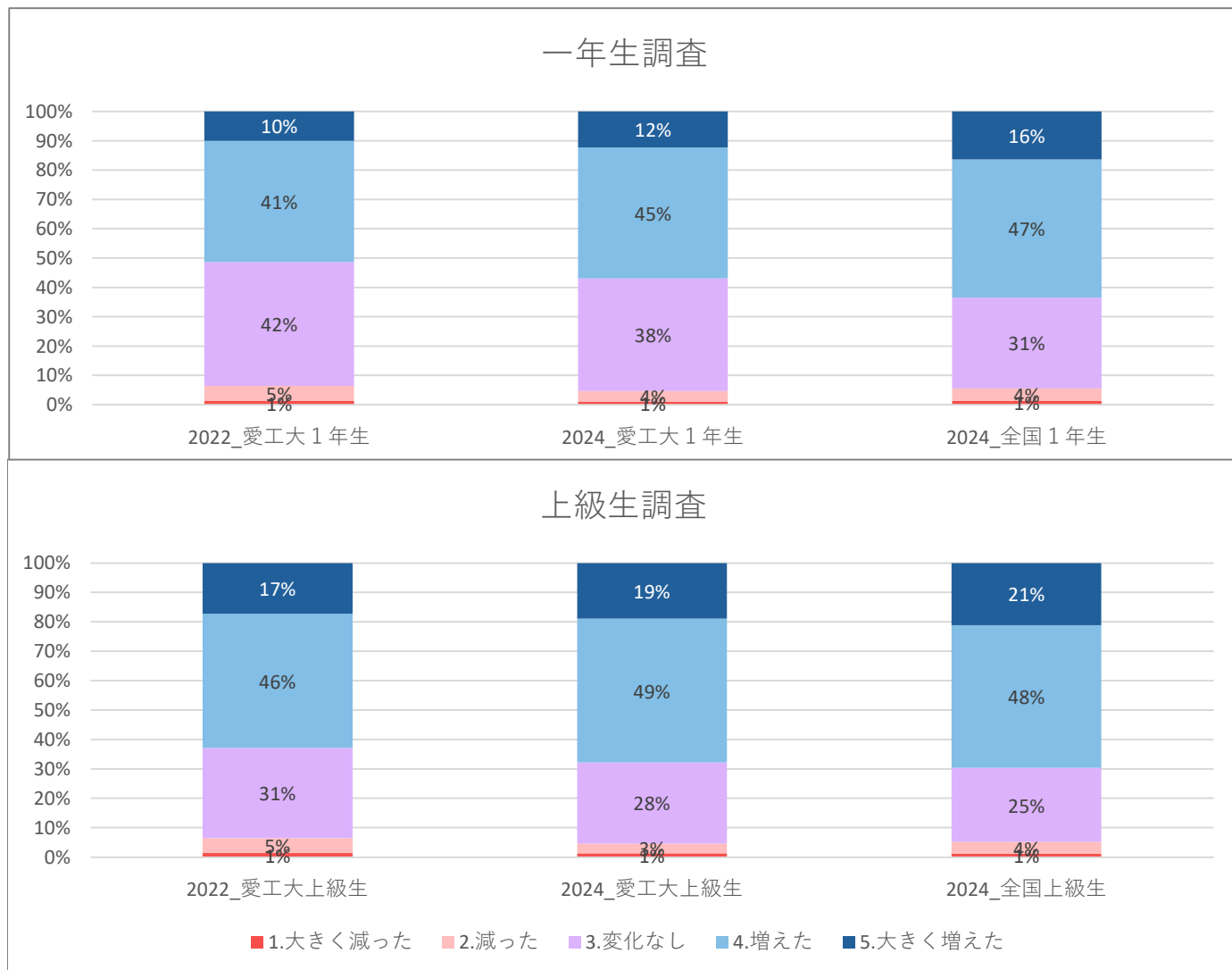
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	リーダーシップ能力の変化について「変化なし」と回答する割合が全国平均より11ポイント高く、入学初期段階でのリーダーシップ開発機会の不足や、能力向上を実感できる体験の提供が課題である

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	リーダーシップ能力向上の実感が全国平均を下回り「変化なし」が過半数を占める状況は、学年進行に伴う実践的なリーダーシップ教育プログラムの充実と成長実感を促す仕組みづくりが必要である

問7G.人間関係を構築する能力



2024年度愛工大一年生調査について

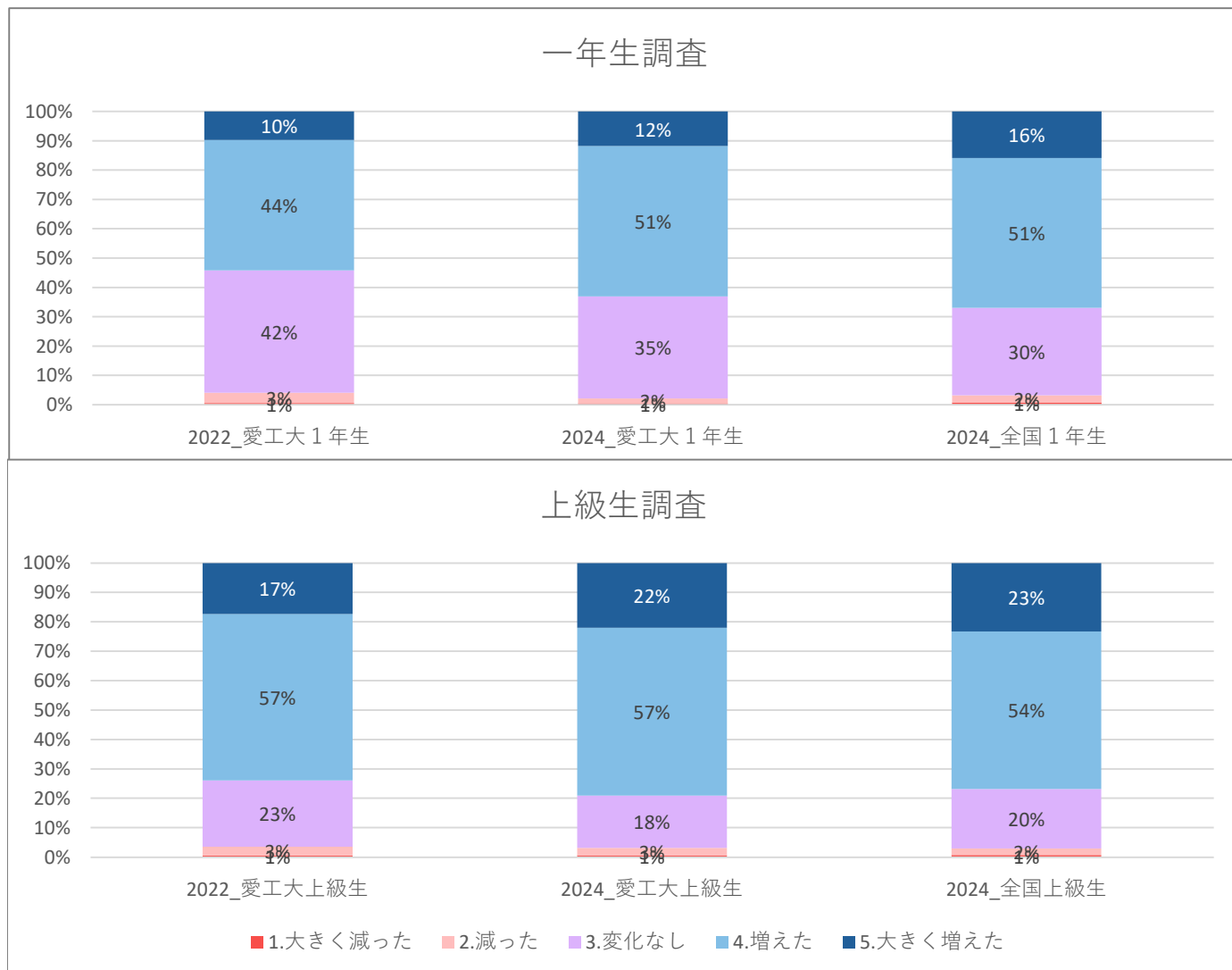
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	入学初期段階では人間関係構築の機会や経験が限定的であるため、全国平均と比較して「変化なし」と回答する学生の割合が高く、人間関係構築能力の向上を実感するまでに時間を要するものと考えられる

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	上級生は在学期間を通じて授業、サークル、アルバイト等の多様な活動により人間関係構築の機会が増加し、2年前の1年生時と比較して能力向上を実感する学生の割合が大幅に増加したものと推察される

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7H.他の人と協力して物事を遂行する能力



2024年度愛工大一年生調査について

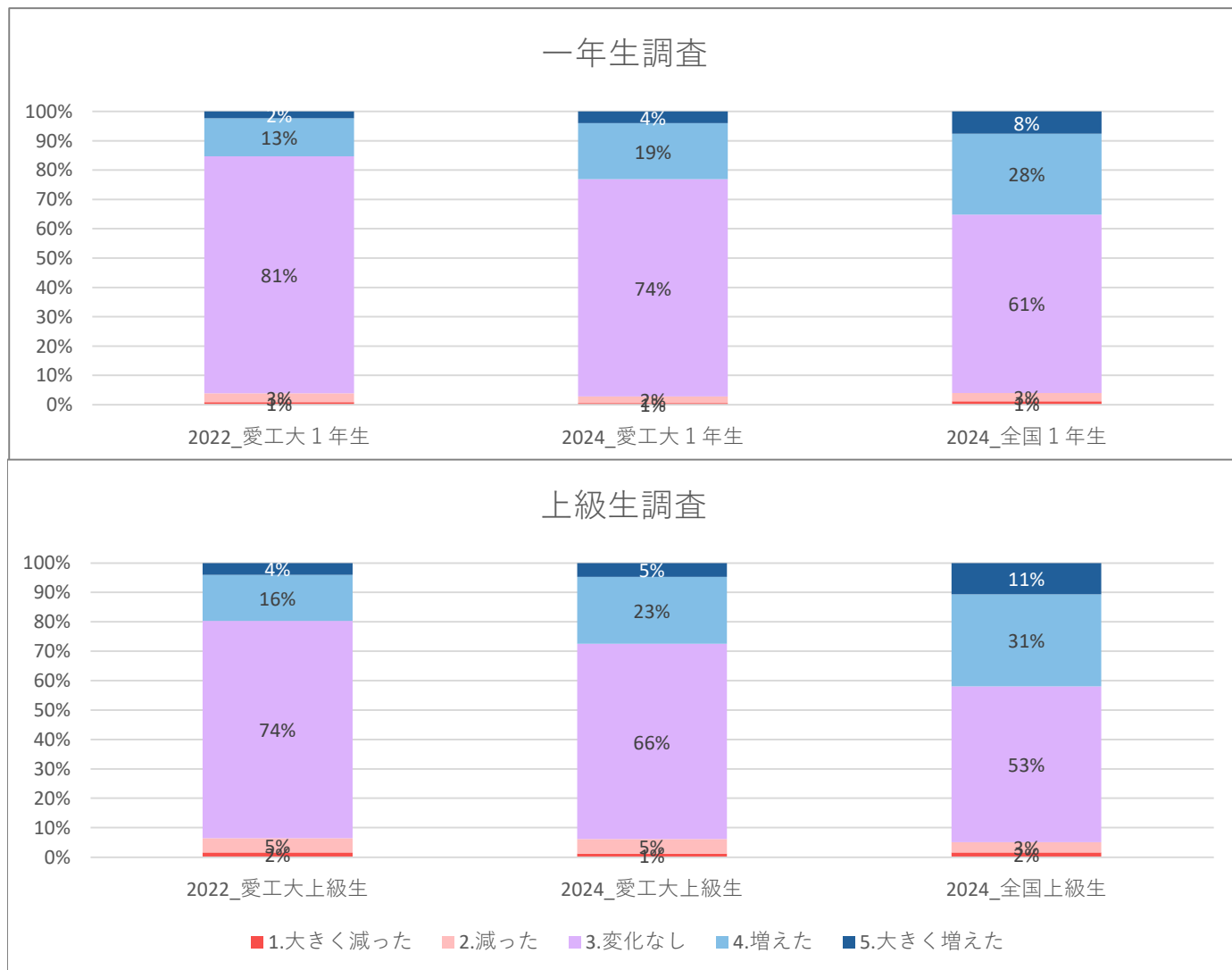
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	経年比較で「変化なし」が減少し、ベンチマークと同水準を維持している点から、近年の協働学習やグループワークの教育手法が浸透し、一年生段階でも他者との協力体験が増加している

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	経年・ベンチマーク比較で安定的な結果を示し、同一集団比較で「変化なし」が大幅減少していることから、在学期間を通じた実習・演習・卒業研究等の協働的な学習活動が着実に協力能力向上に寄与している

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問71.異文化の人々と協力する能力



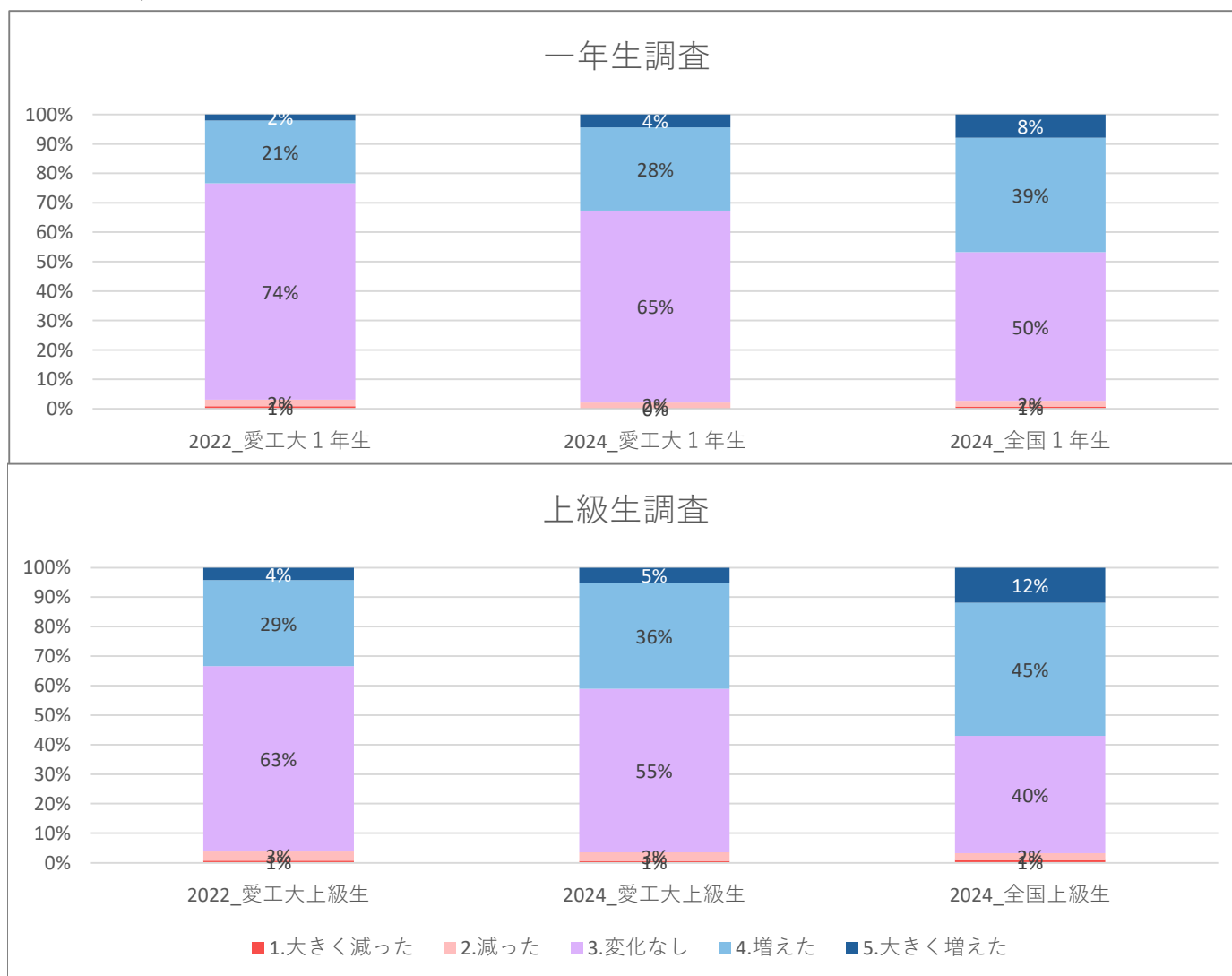
2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
考察	入学後短期間では異文化協力能力の変化を実感しにくく、全国平均と比較して国際交流機会や多様性体験が限定的である可能性が示唆される

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	上級生においても異文化協力能力の向上実感が全国平均より低く、カリキュラムや課外活動における国際的な学習環境の充実が課題である

問7J.地域社会が直面する問題を理解する能力



2024年度愛工大一年生調査について

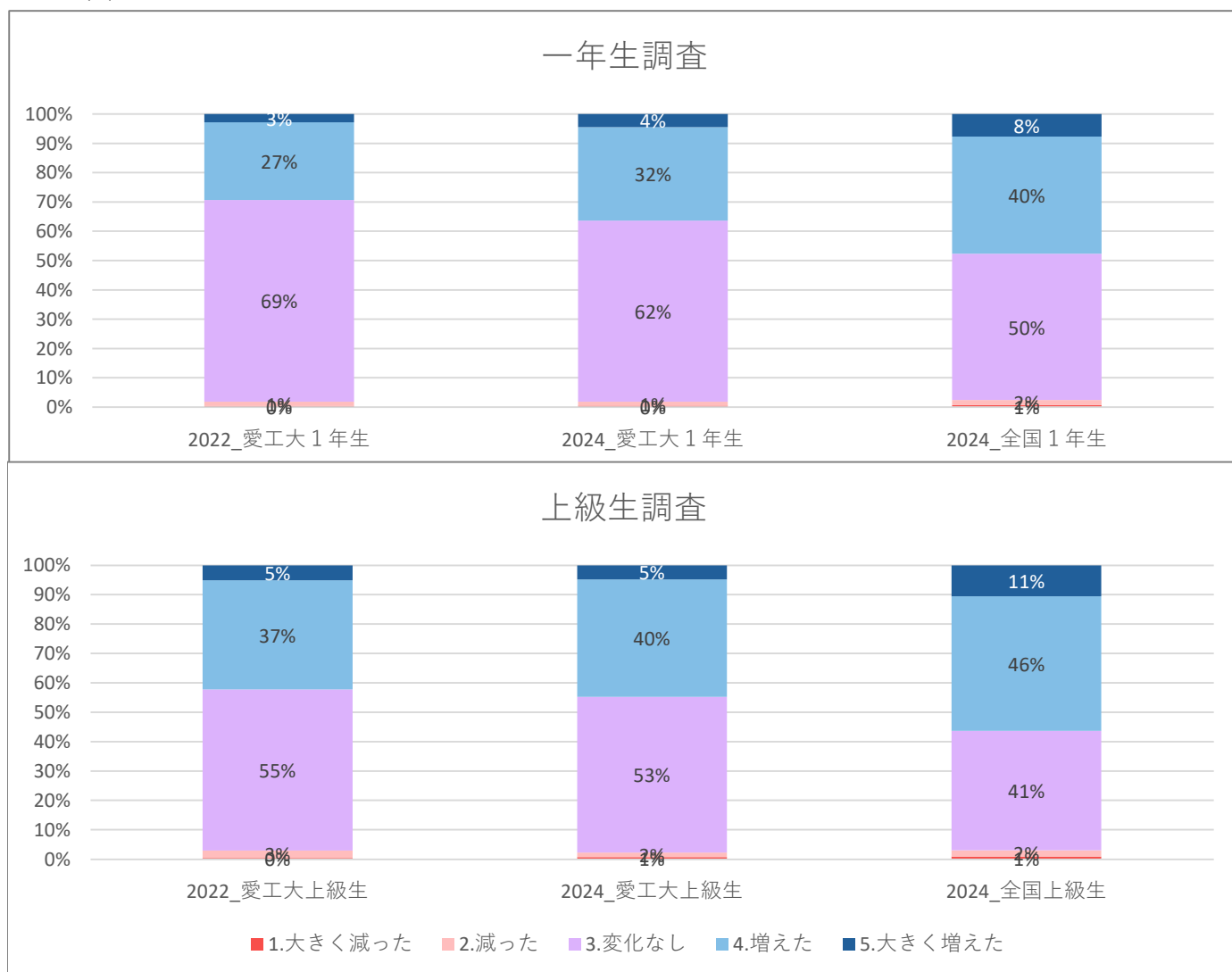
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
考察	地域社会問題理解能力について「変化なし」が65%と全国平均50%を大きく上回っており、入学初年度における地域課題への意識醸成や実践的学習機会が不足している可能性がある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なし で差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
考察	「変化なし」が55%と全国平均40%より高く、在学期間を通じた地域連携プログラムやフィールドワーク等の体験型学習が十分に機能していないことが示唆される

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7K.国民が直面する問題を理解する能力



2024年度愛工大一年生調査について

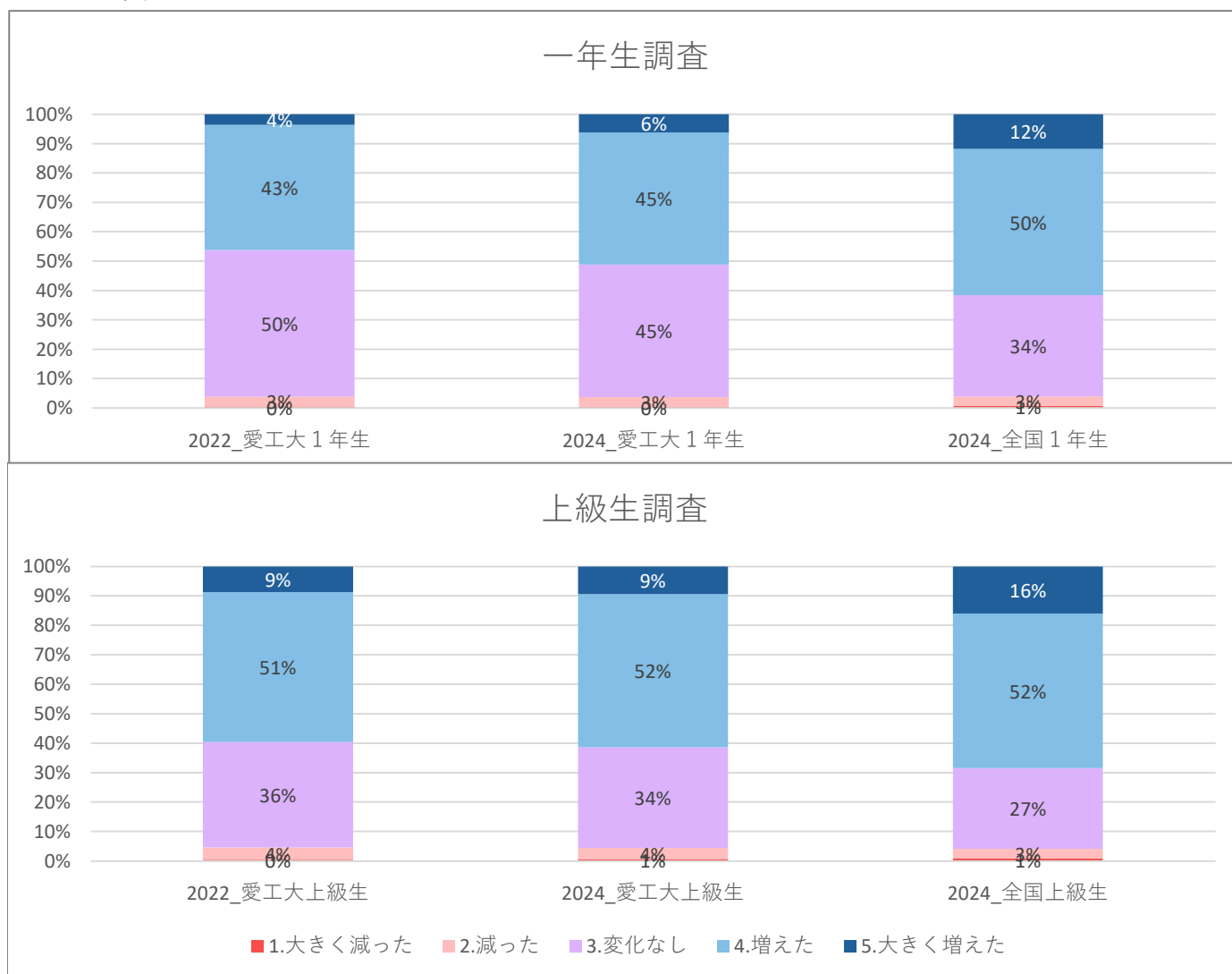
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
考察	入学から短期間のため専門教育や社会問題に関する学習機会が限定的であり、全国平均と比較して国民の問題理解能力に変化を感じない学生の割合が高い結果となっている

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なし で差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
考察	経年での変化は見られないものの全国平均と比較して変化なしの割合が高く、社会問題理解を促進するカリキュラムや実践的学習プログラムの充実が必要である

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7L.文章表現の能力



2024年度愛工大一年生調査について

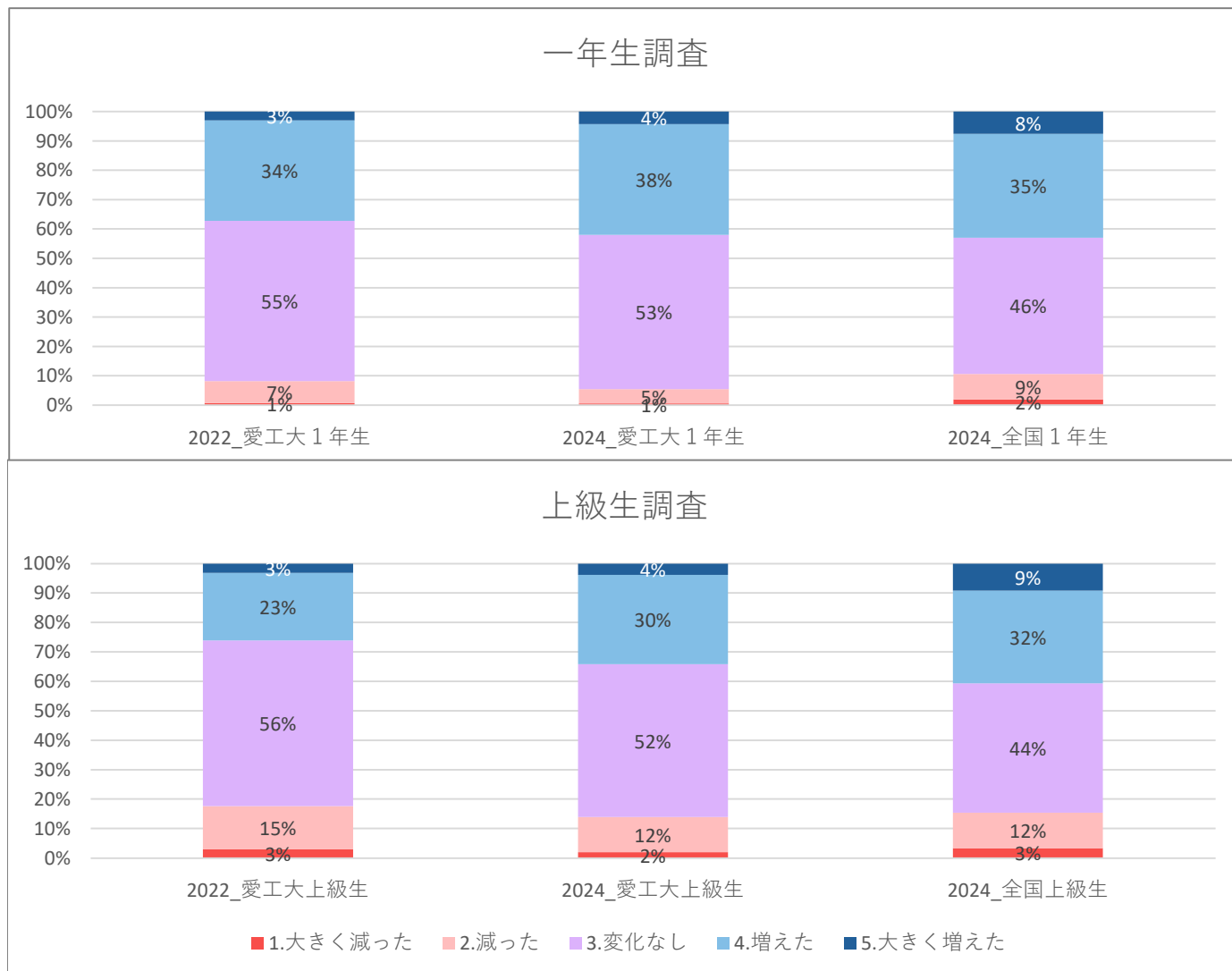
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	文章表現能力について「変化なし」と回答する学生が全国平均より11ポイント高く、入学後の学習活動や課題において文章作成の機会が限定的であるか、または自身の成長を客観視する機会が不足していることが推測される

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	経年での変化は見られないものの、全国平均と比較して「変化なし」が7ポイント高く、専門科目中心のカリキュラムにおいて文章表現能力の向上を実感する機会や意識的な訓練が不足している可能性がある

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7M.外国語の運用能力



2024年度愛工大一年生調査について

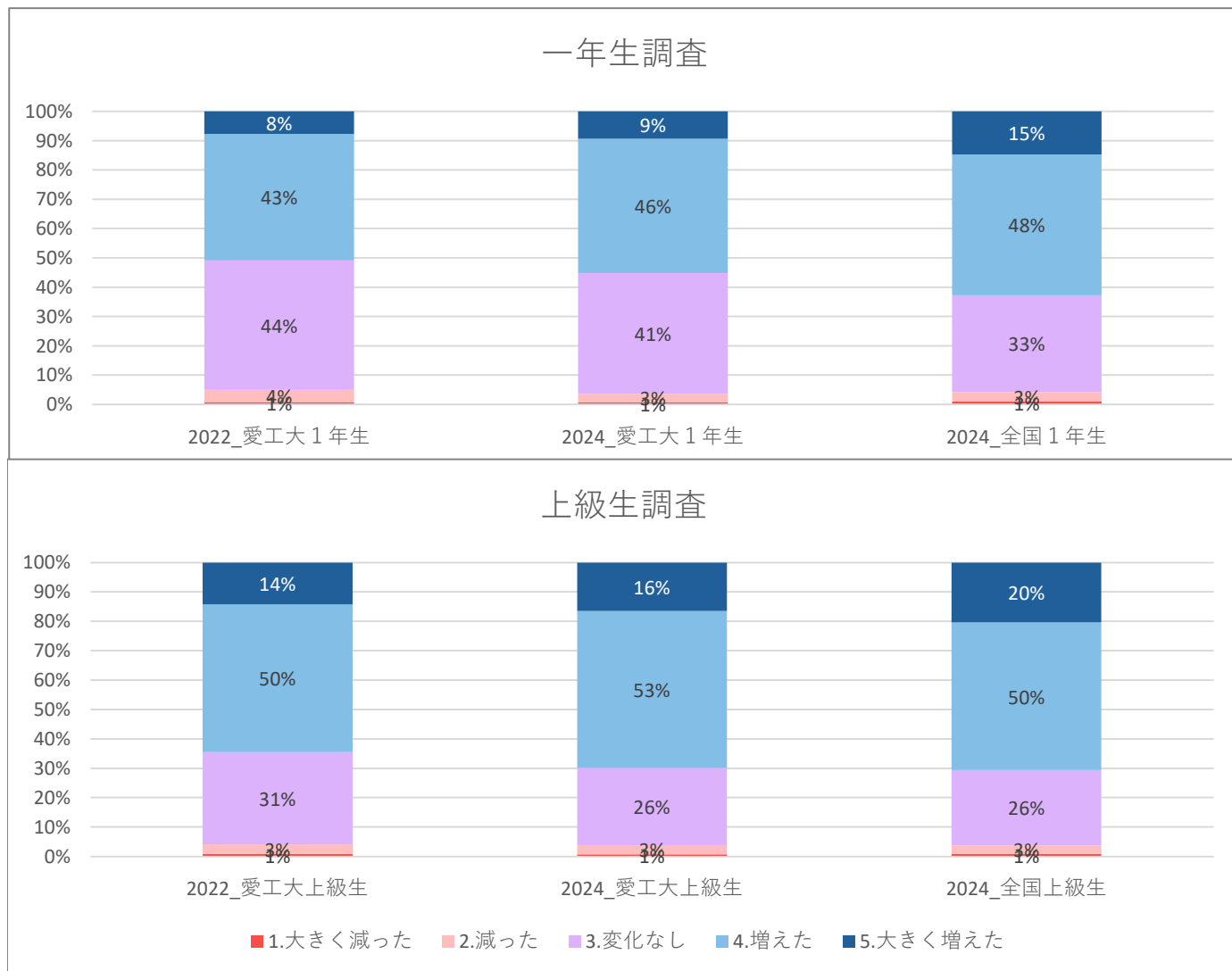
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、4.増えたで差がやや大きい
考察	外国語運用能力について変化なしとする学生が全国平均より高く、能力向上を実感する学生が上級生より多いことから、入学直後の段階では学習効果への期待感が先行しているものの、実際の能力向上の実感には至っていないものと考えられ

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、4.増えたで差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差はなかった
考察	経年比較で能力向上を実感する学生が増加している一方で、全国平均と比べ変化なしとする割合が高いことから、学習継続により一定の成果は得られているものの、他大学と比較して外国語教育の充実度や学習機会に課題があることが示唆さ

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7N.コミュニケーションの能力



2024年度愛工大一年生調査について

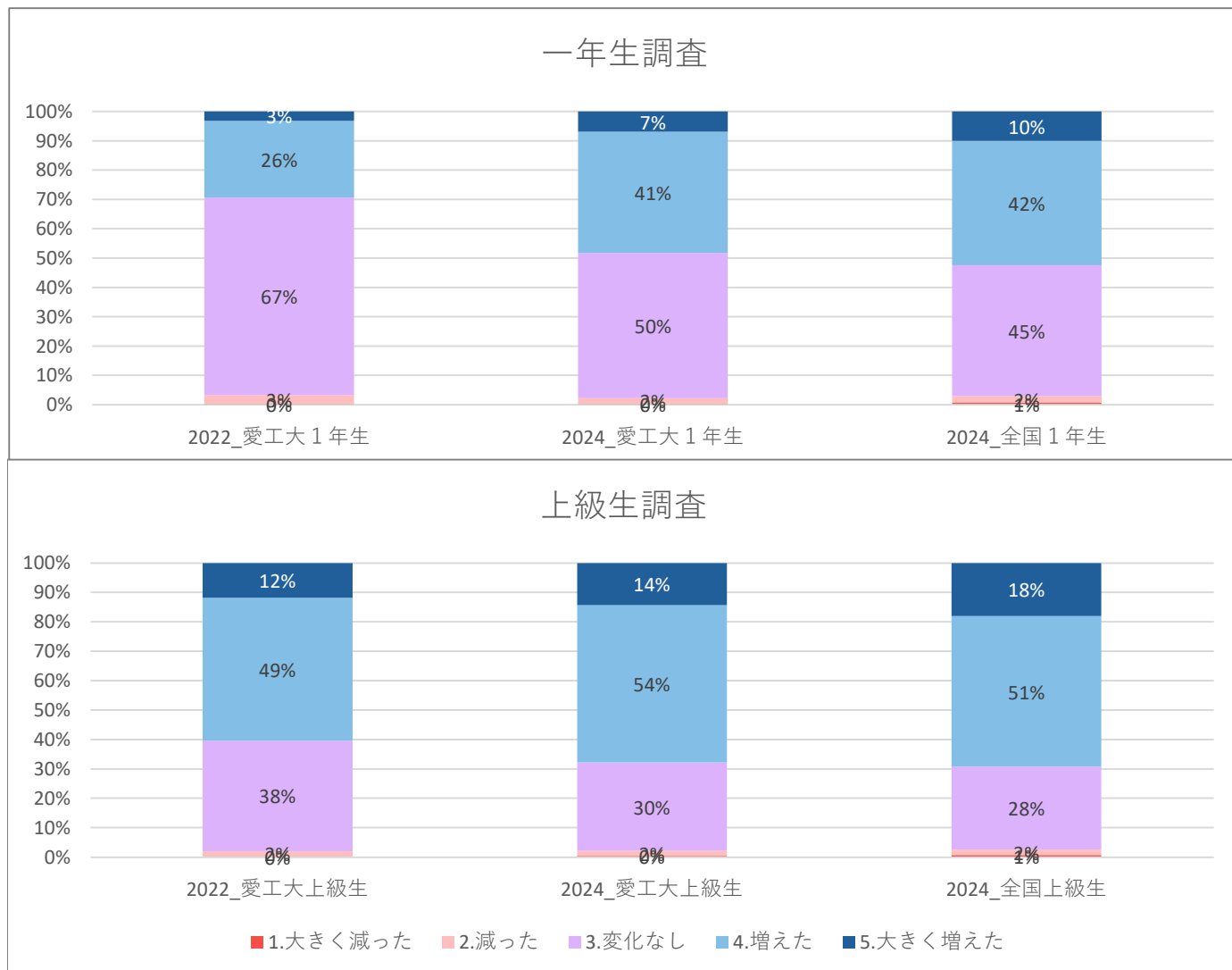
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	全国平均と比較してコミュニケーション能力の「変化なし」が多いのは、対面授業の機会やサークル活動などの課外活動への参加が限定的であり、同級生や先輩との自然な交流機会が不足していることが要因である

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	経年比較で「変化なし」の割合が減少し、同一集団比較でも向上が見られるのは、専門科目での発表機会や研究室配属、就職活動準備などを通じて実践的なコミュニケーション経験を積む機会が増加したためである

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問70.プレゼンテーションの能力



2024年度愛工大一年生調査について

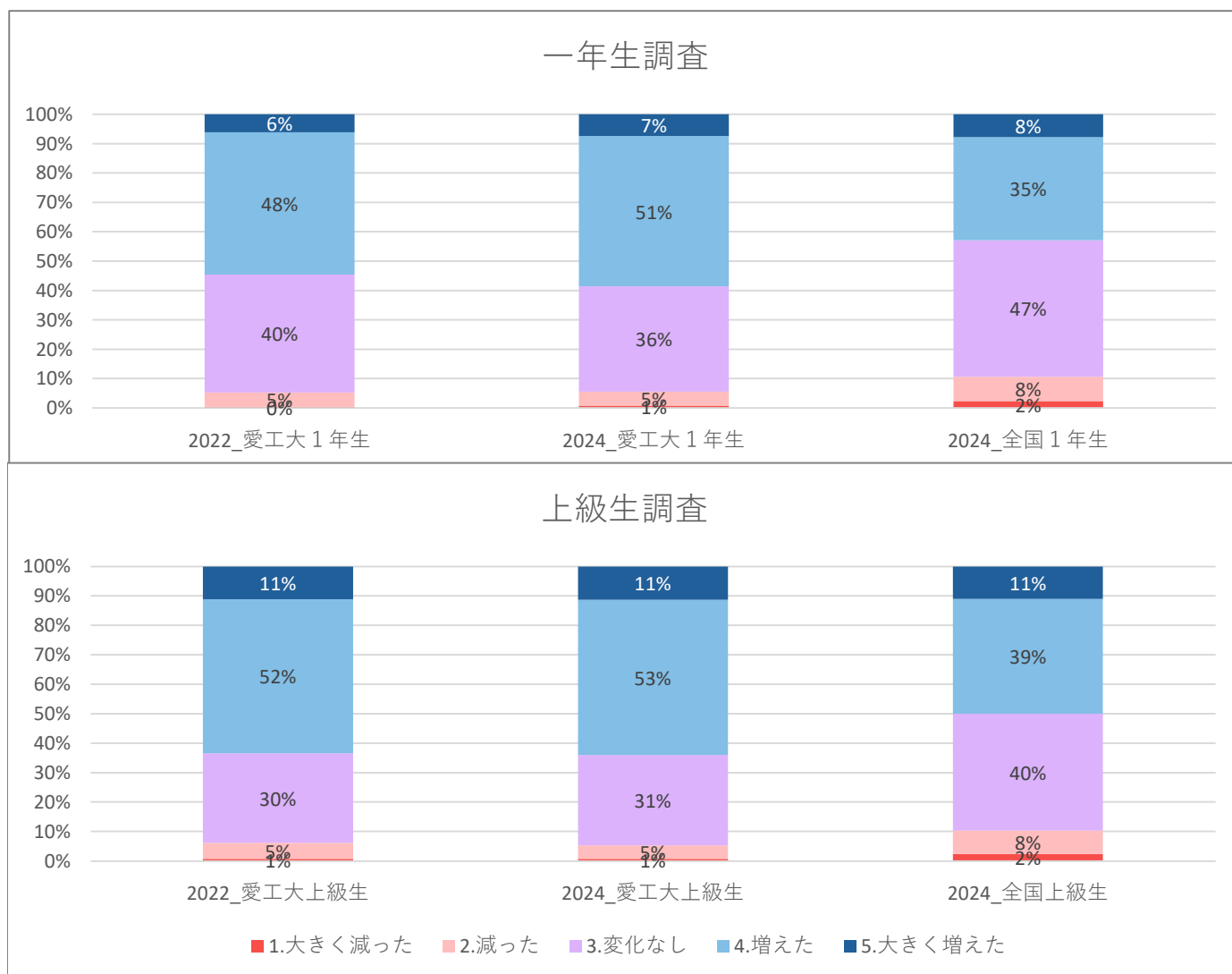
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	2022年度と比較してプレゼンテーション能力が「変化なし」と回答する学生が17ポイント減少し、「増えた」が15ポイント増加したことから、近年の教育改革やオンライン授業の普及により発表機会が増加し、能力向上を実感する学生が増え

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	経年比較及び同一集団比較において「変化なし」の回答が減少し能力向上を実感する傾向が見られることから、学年進行に伴う専門科目でのプレゼンテーション機会の増加や、就職活動を見据えた実践的スキル習得への意識向上が影響してい

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7P:数理的な能力



2024年度愛工大一年生調査について

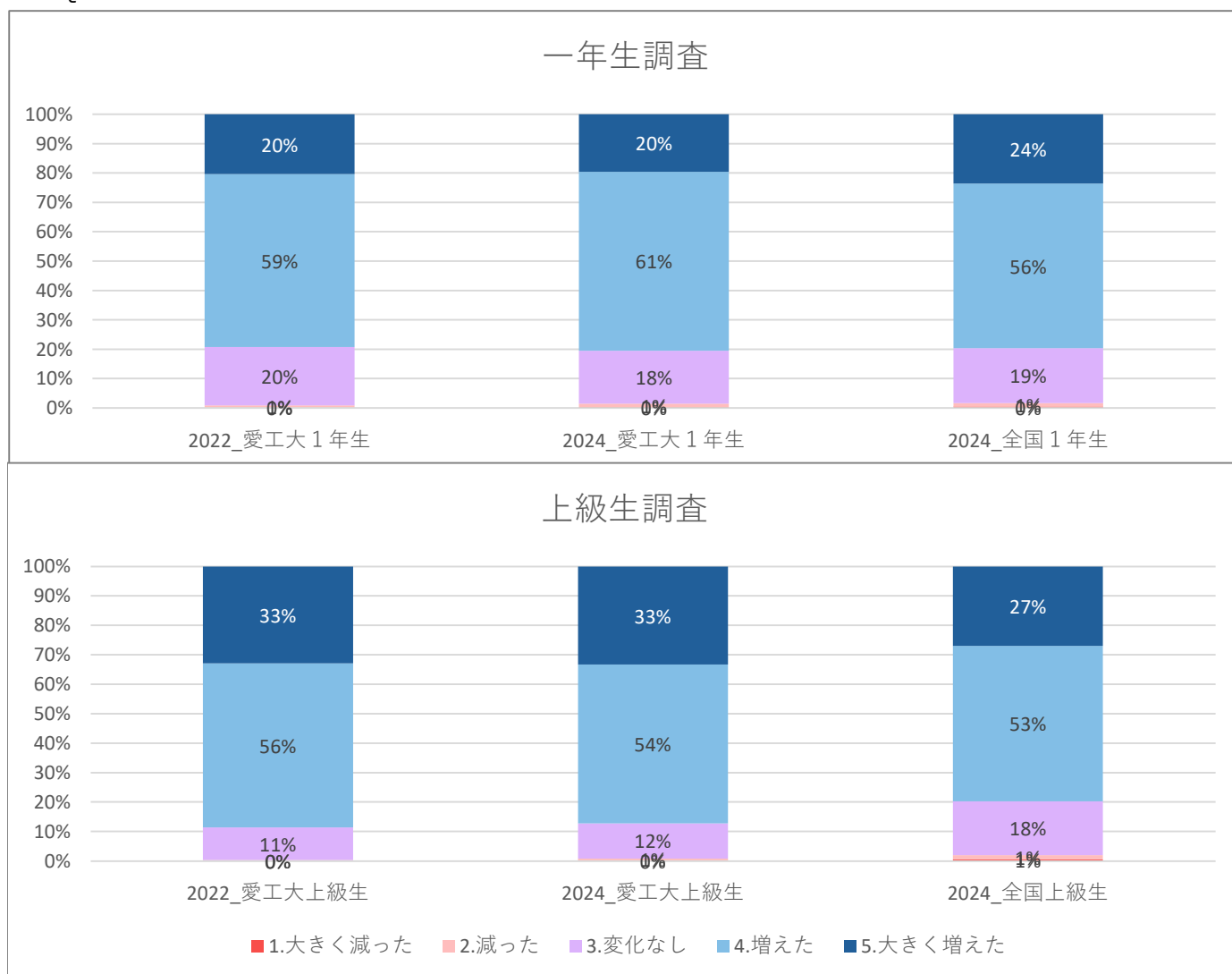
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、4.増えたで差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
考察	工学系大学の特性により、入学者の数理的基礎力が比較的高く、専門科目への導入教育が効果的に機能しているため、全国平均よりも数理的能力の向上を実感する学生が多いのである

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、4.増えたで差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
考察	専門分野の学習が深化し、実践的な数理的スキルが向上することで能力の成長を実感しやすく、また工学系カリキュラムの体系的な構成が全国平均を上回る成長実感をもたらしているのである

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7Q.コンピュータの操作能力



2024年度愛工大一年生調査について

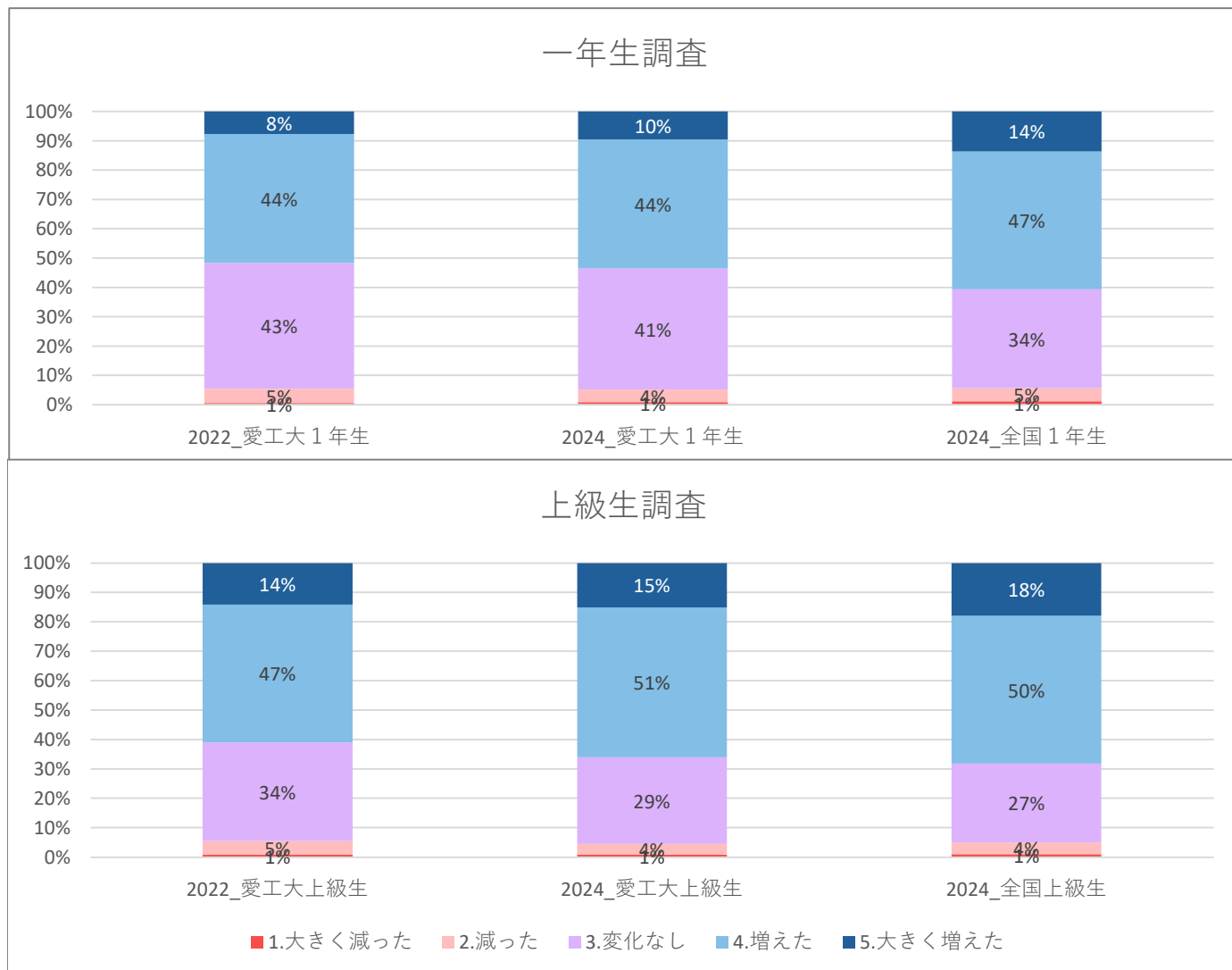
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、5.大きく増えたで差が大きい
考察	入学から短期間でありながら約8割が能力向上を実感しているのは、基礎的なコンピュータリテラシー科目の履修効果と、デジタルネイティブ世代特有の適応力の高さが相まって、実践的なスキル習得が順調に進んでいることを示している

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、5.大きく増えたで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、5.大きく増えたで差が大きい
考察	専門課程における継続的な学習と実習経験の蓄積により、約9割が能力向上を認識し、特に「大きく増えた」の割合が全国平均を上回るのは、実践重視のカリキュラムと段階的なスキル構築が効果的に機能していることを物語っている

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7R.時間を効果的に利用する能力



2024年度愛工大一年生調査について

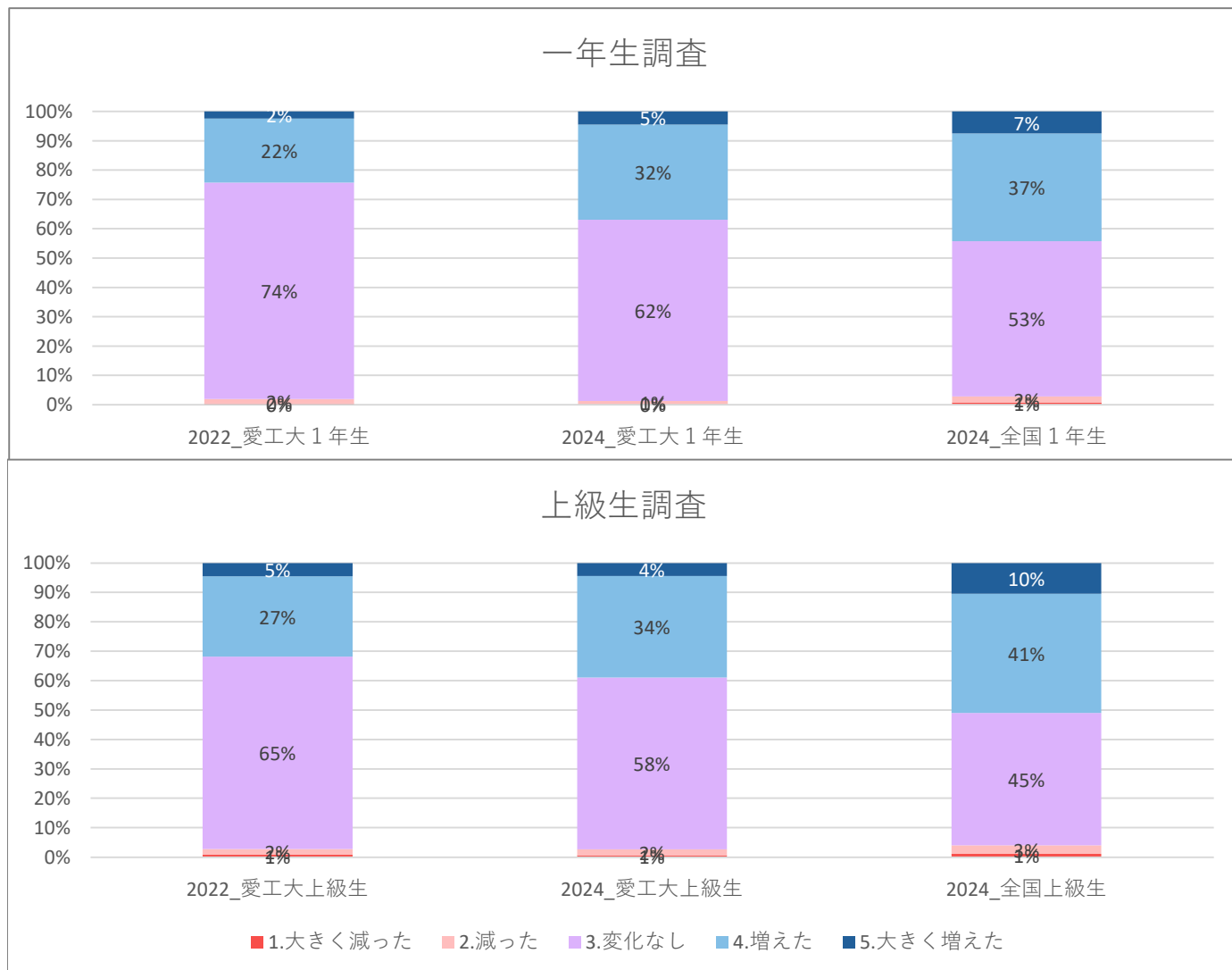
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なしで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	入学後わずかな期間では時間管理能力の向上を実感できる学生が少なく、全国平均や上級生と比較して「変化なし」と回答する割合が高いのは、大学生活への適応過程で時間管理スキルの習得に時間を要するためである

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なしで差が大きい
考察	学年進行に伴い時間管理能力の向上を実感する学生が増加し、2年前の1年生時点と比較して「変化なし」の回答が大幅に減少したのは、学習経験の蓄積と課題処理の効率化により時間活用スキルが段階的に向上したためである

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7S.グローバルな問題の理解



2024年度愛工大一年生調査について

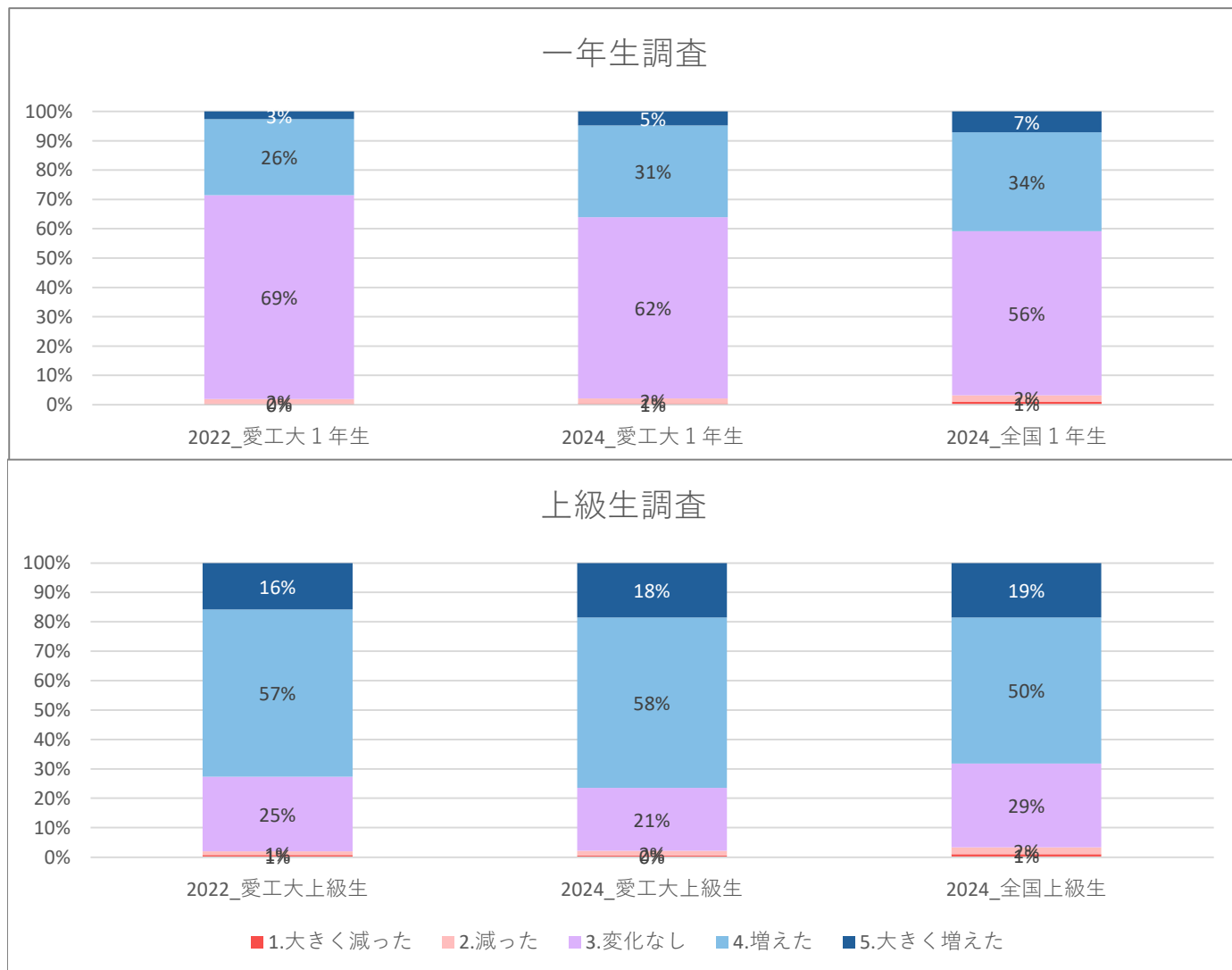
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差がなかった
考察	入学から短期間であるため「変化なし」が6割を占め、全国平均より高い数値を示しているが、これは初年次教育におけるグローバル教育の浸透度や学生の意識変化に時間を要することが背景にある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、4.増えた で差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、3.変化なし で差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
考察	学年進行に伴い能力向上を実感する学生が増加しているものの、全国平均と比較して「変化なし」の割合が高く、専門教育課程においてグローバル課題への関心を喚起する教育機会の充実が課題である

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問7T.卒業後に就職するための準備の度合い



2024年度愛工大一年生調査について

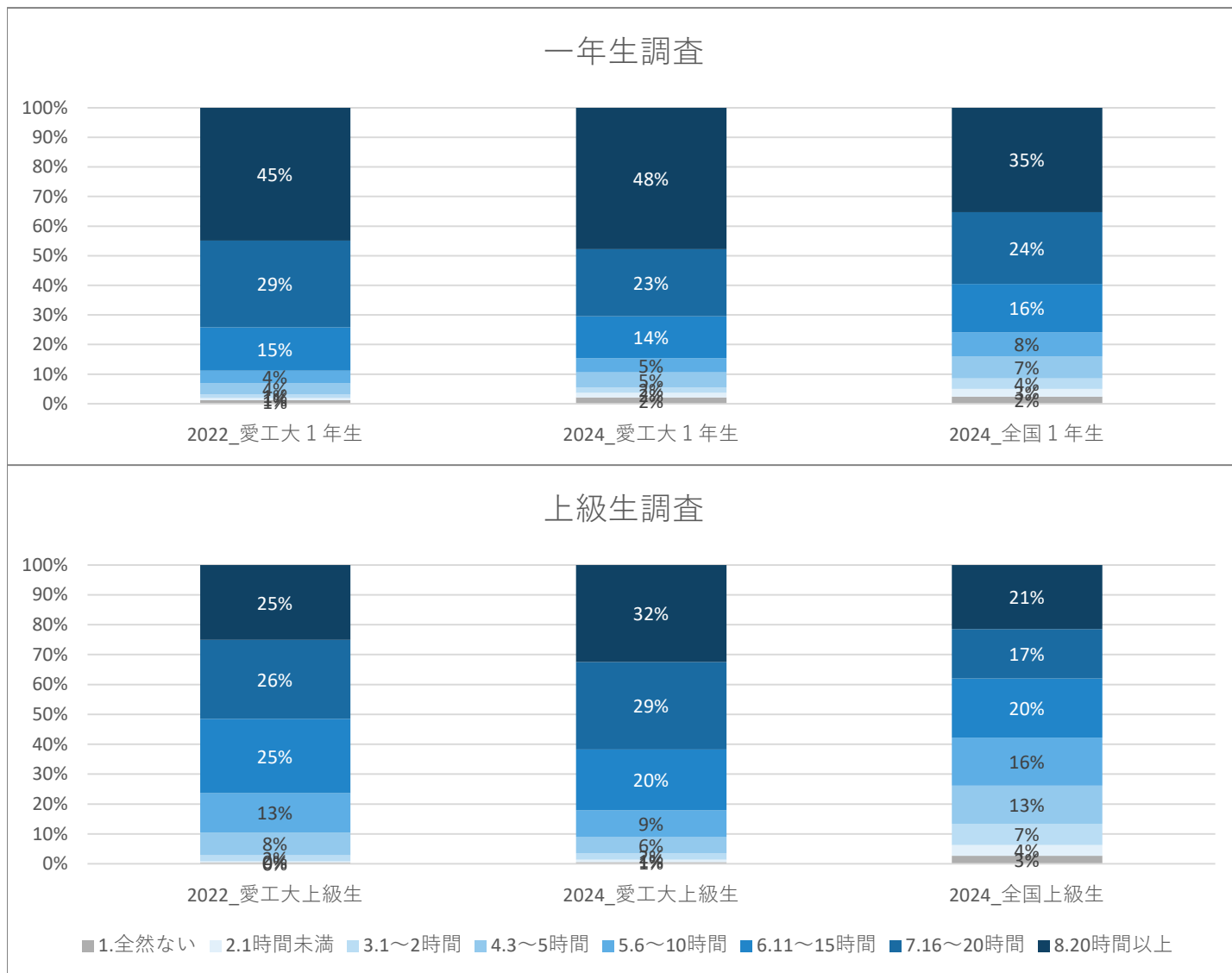
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、3.変化なし で差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.変化なし で差が大きい
考察	入学から間もない時期であるため就職準備への具体的な取り組みが少なく、全国平均と比較して就職への意識醸成や早期キャリア教育が不足している可能性がある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、4.増えた で差がやや大きい
⑥同一集団比較 (2年前の1年生)	2022_愛工大1年生と比べて、3.変化なし で差が大きい
考察	学年進行に伴い専門科目の履修やインターンシップ等の実践的な学習機会が増加し、全国平均を上回る就職準備の進展が確認できている

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6A.授業や実験に出る



2024年度愛工大一年生調査について

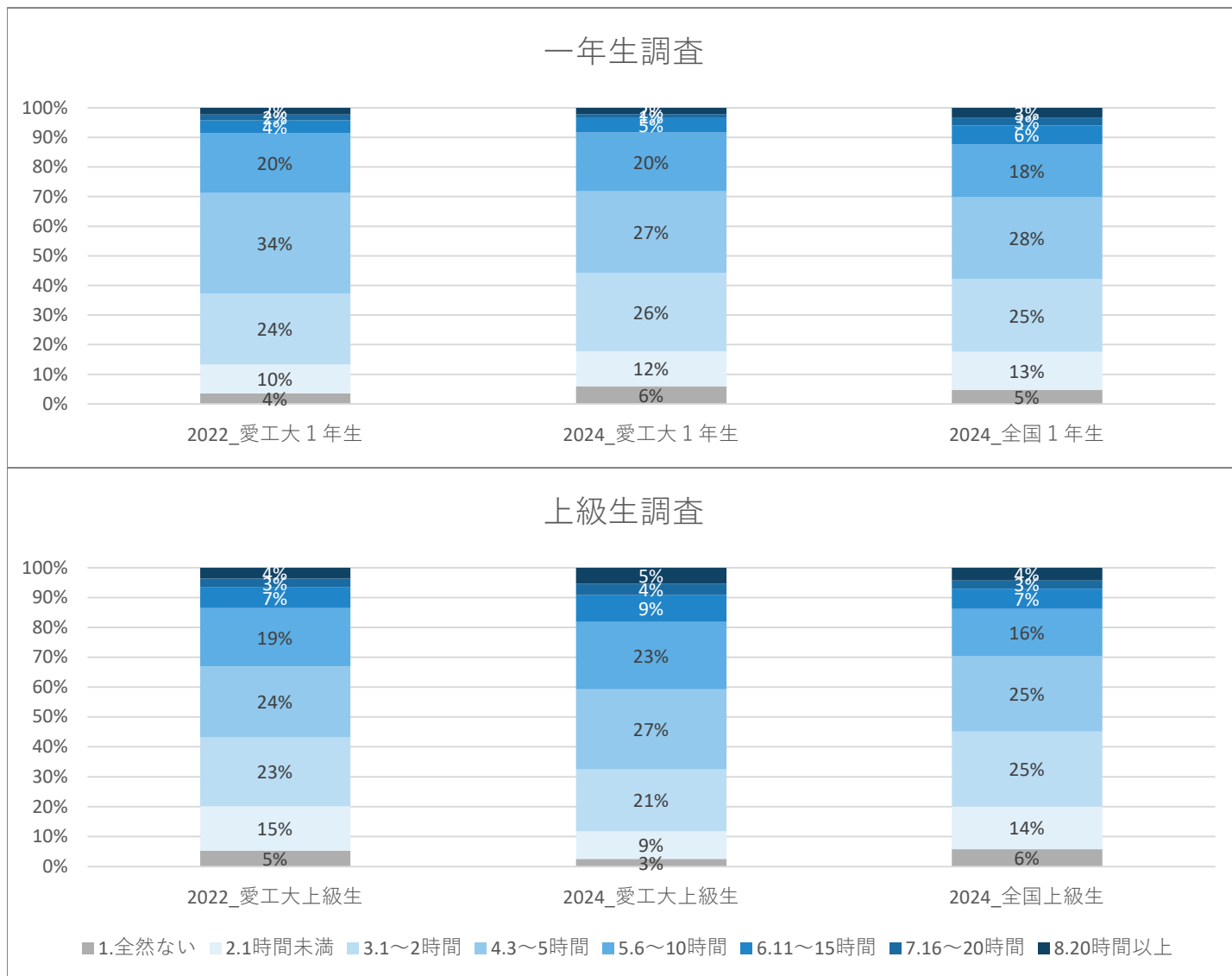
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、7.16~20時間で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、8.20時間以上で差が大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、8.20時間以上で差が大きい
考察	20時間以上の授業参加が全国平均より高い背景には、工学系大学特有の実験・実習科目の多さや必修科目の充実、さらに真面目な学習態度を持つ学生が多いことが要因として考えられる

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、8.20時間以上で差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、7.16~20時間で差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、8.20時間以上で差が大きい
考察	16時間以上の授業参加率が全国平均を大きく上回るのには、工学系専門科目や研究室活動の本格化により授業外学習時間も含めた総学習時間が増加していることが主な要因である

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6B.授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする



2024年度愛工大一年生調査について

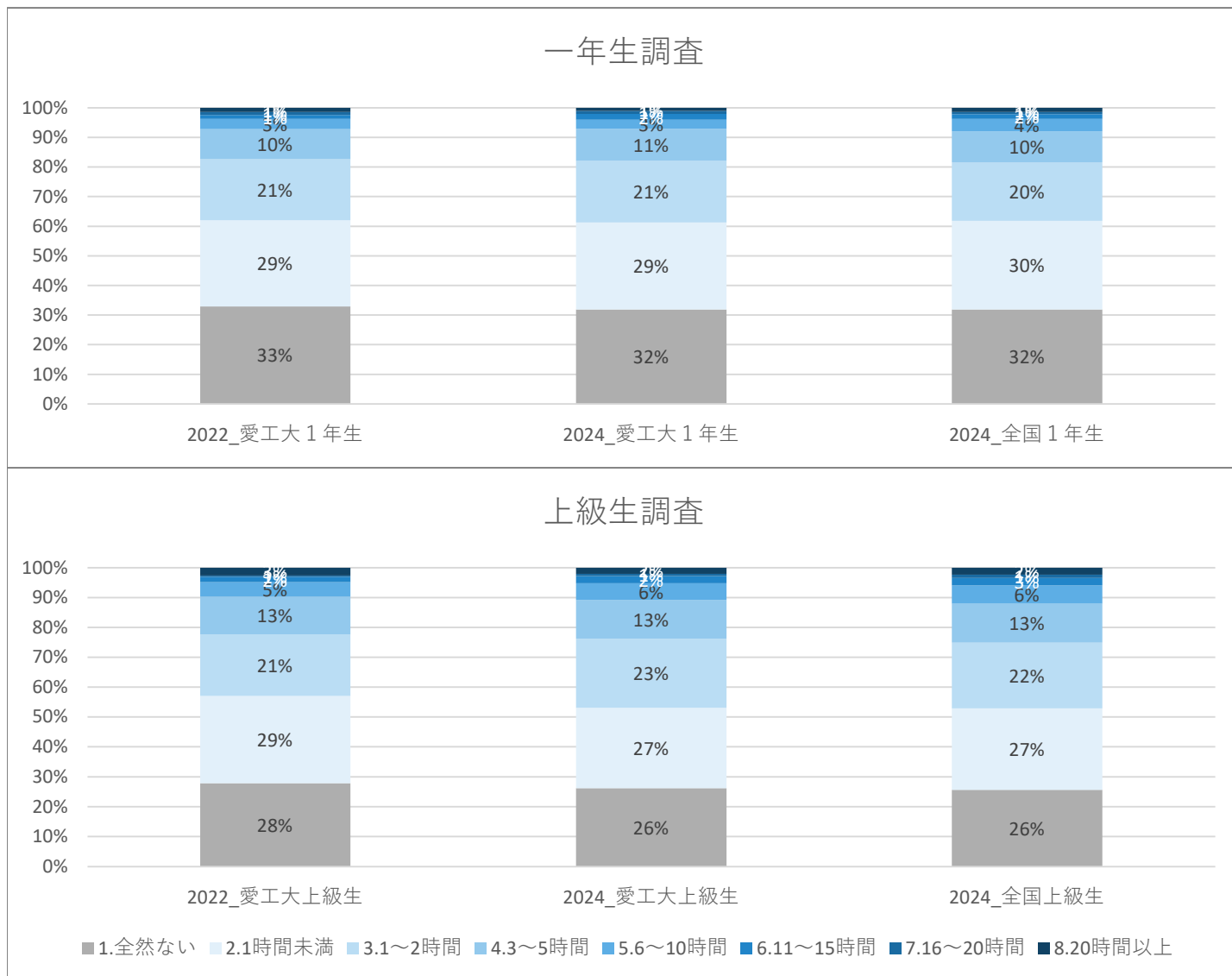
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、4.3~5時間で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、3.1~2時間で差がやや大きい
考察	経年比較で3-5時間の学習時間が減少し、上級生との比較で1-2時間の短時間学習が多いことから、新入生は学習習慣の定着に時間を要する傾向がある

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、2.1時間未満で差がやや大きい
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、5.6~10時間で差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、4.3~5時間で差がやや大きい
考察	経年比較で短時間学習者が減少し、全国比較で長時間学習者が多く、2年前の1年次より中程度学習時間が増加しており、学年進行とともに専門性向上への意識が高まっている

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6C.授業時間外に、授業に関連しない勉強をする



2024年度愛工大一年生調査について

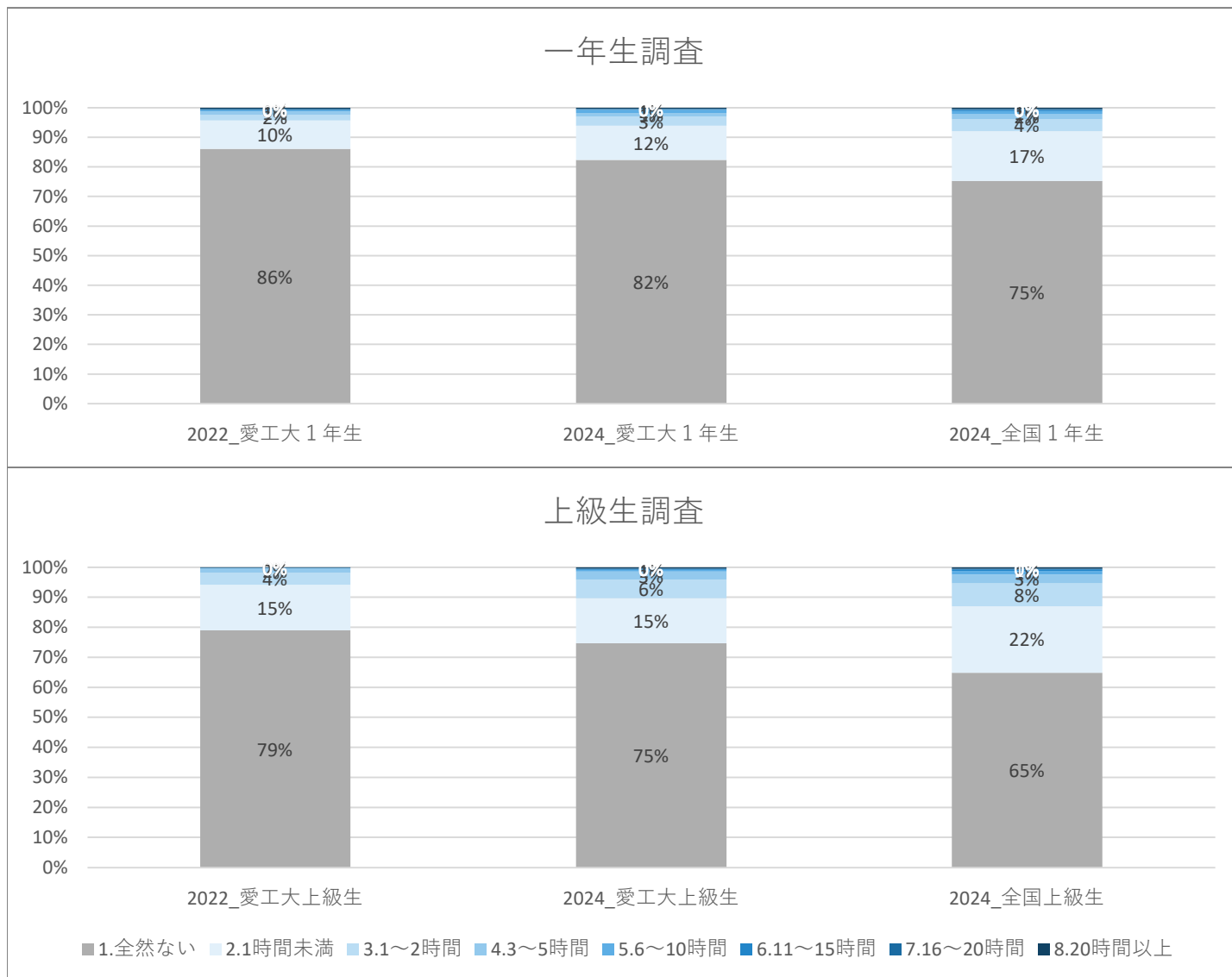
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
考察	授業関連以外の自主学習について、経年・全国比較で差がない一方、上級生より「全然ない」が多いのは、大学生活への適応過程で学習習慣が確立されていないことが主因である

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
考察	授業外自主学習時間は経年・全国比較で安定している一方、2年前の同一集団より改善傾向にあるのは、学年進行に伴う専門分野への関心向上と学習意識の成熟が背景にある

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6D.オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する



2024年度愛工大一年生調査について

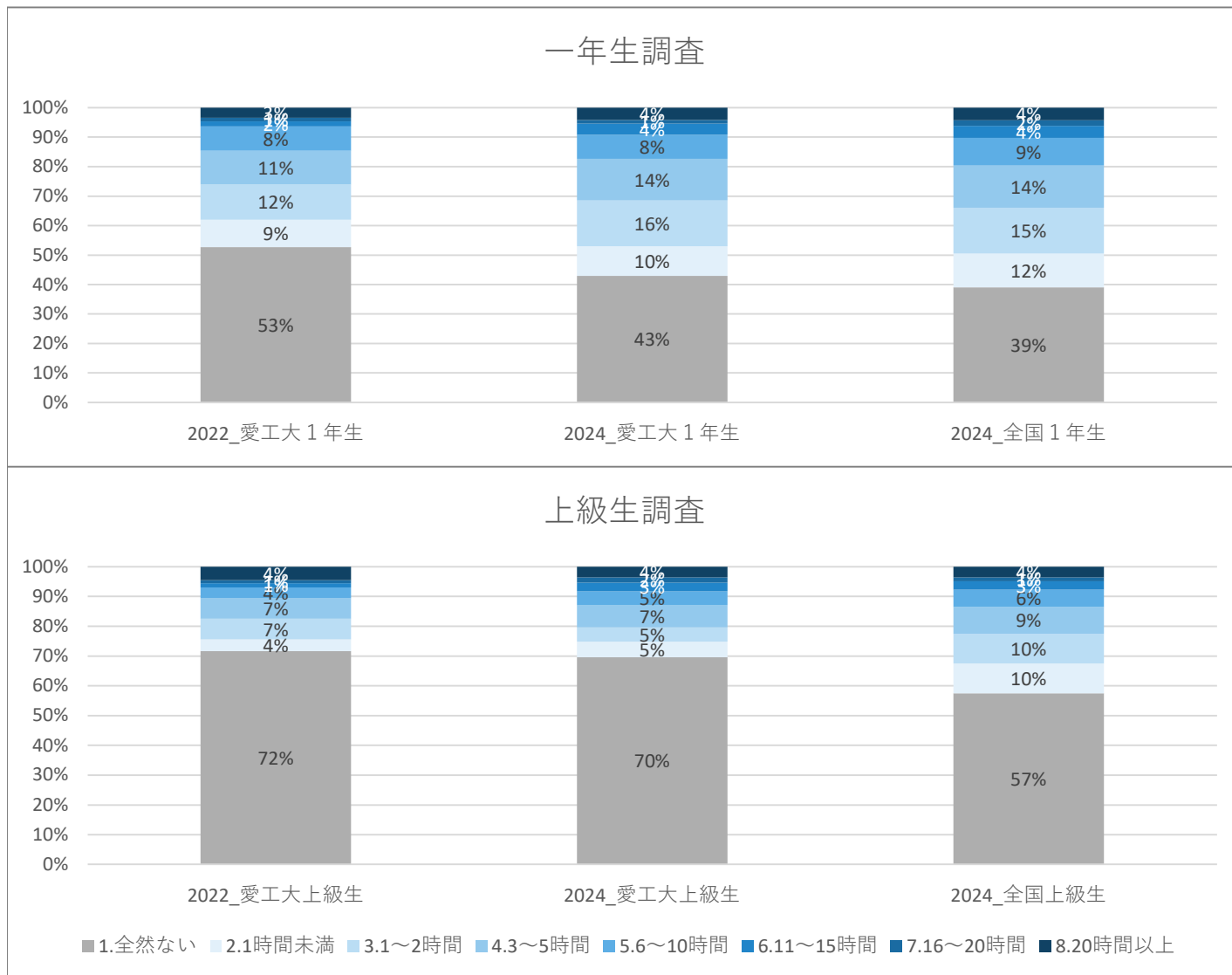
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
考察	一年生は教員との面談経験が「全然ない」割合が全国平均より高く、大学生活への適応過程で教員との関係構築や相談の必要性を十分認識できていないことが主要因である

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、1.全然ないで差が大きい
考察	上級生も教員面談を「全然ない」割合が全国平均より高く、学年進行に伴う能動的な学習姿勢の発達が不十分で、教員との積極的なコミュニケーションを図る習慣が形成されていないことが要因である

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6E.部活動や同好会に参加する



2024年度愛工大一年生調査について

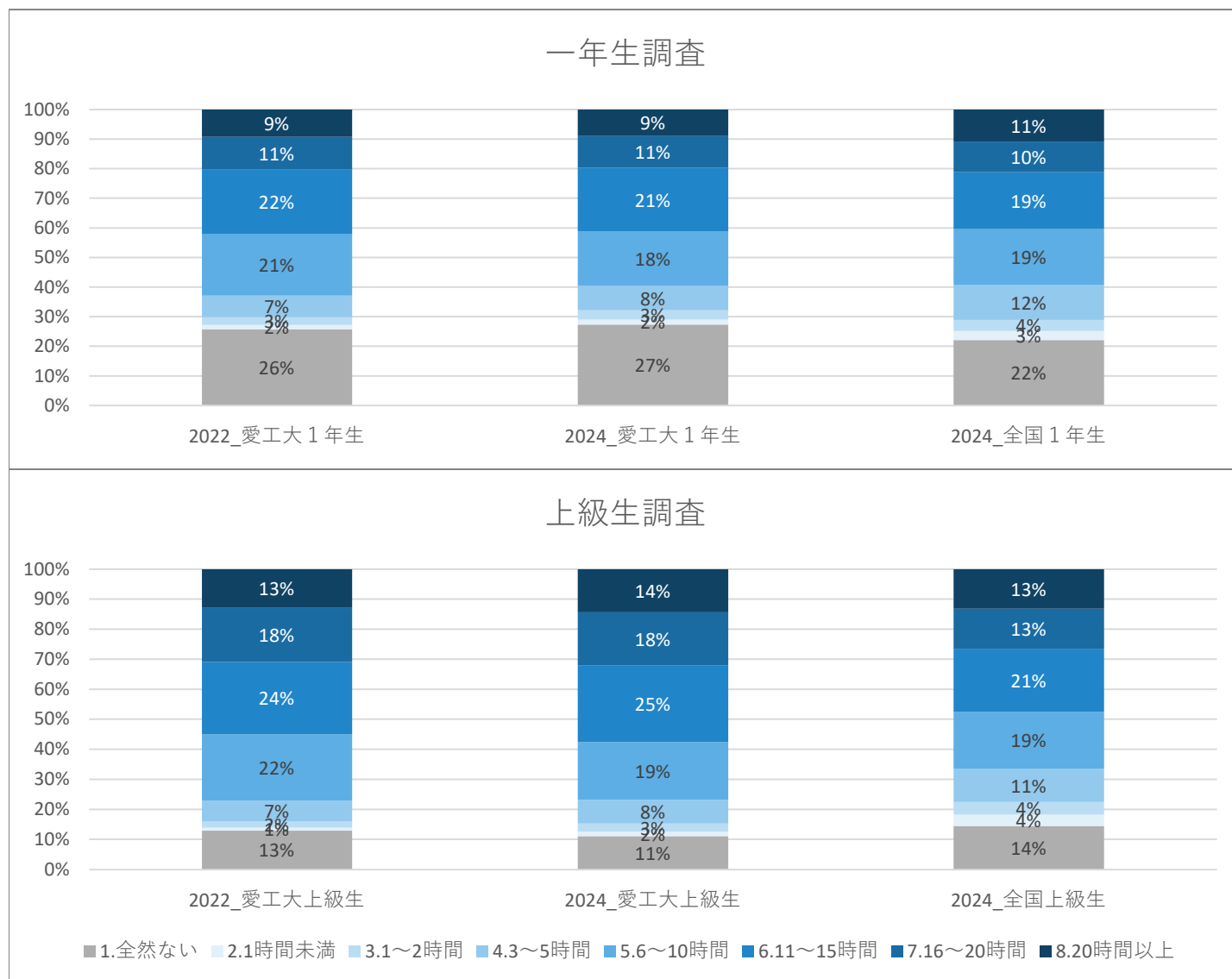
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、1.全然ない で差がやや大きい
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢 も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、1.全然ない で差が大きい
考察	部活動・同好会に全く参加しない学生が2022年から10ポイント減少したものの、上級生との差は依然として大きく、新入生の大学生活への適応過程や課外活動への参加意欲の段階的な変化が影響していると考えられる

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢 も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、1.全然ない で差が大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、1.全然ない で差が大きい
考察	部活動・同好会に全く参加しない学生が全国平均より13ポイント高く、2年前の一年生時代からさらに増加しており、学年進行に伴う学業負担増加や就職活動準備、アルバイト等による時間制約が課外活動離れを促進していると考えられる

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6F.大学外でアルバイトや仕事をする



2024年度愛工大一年生調査について

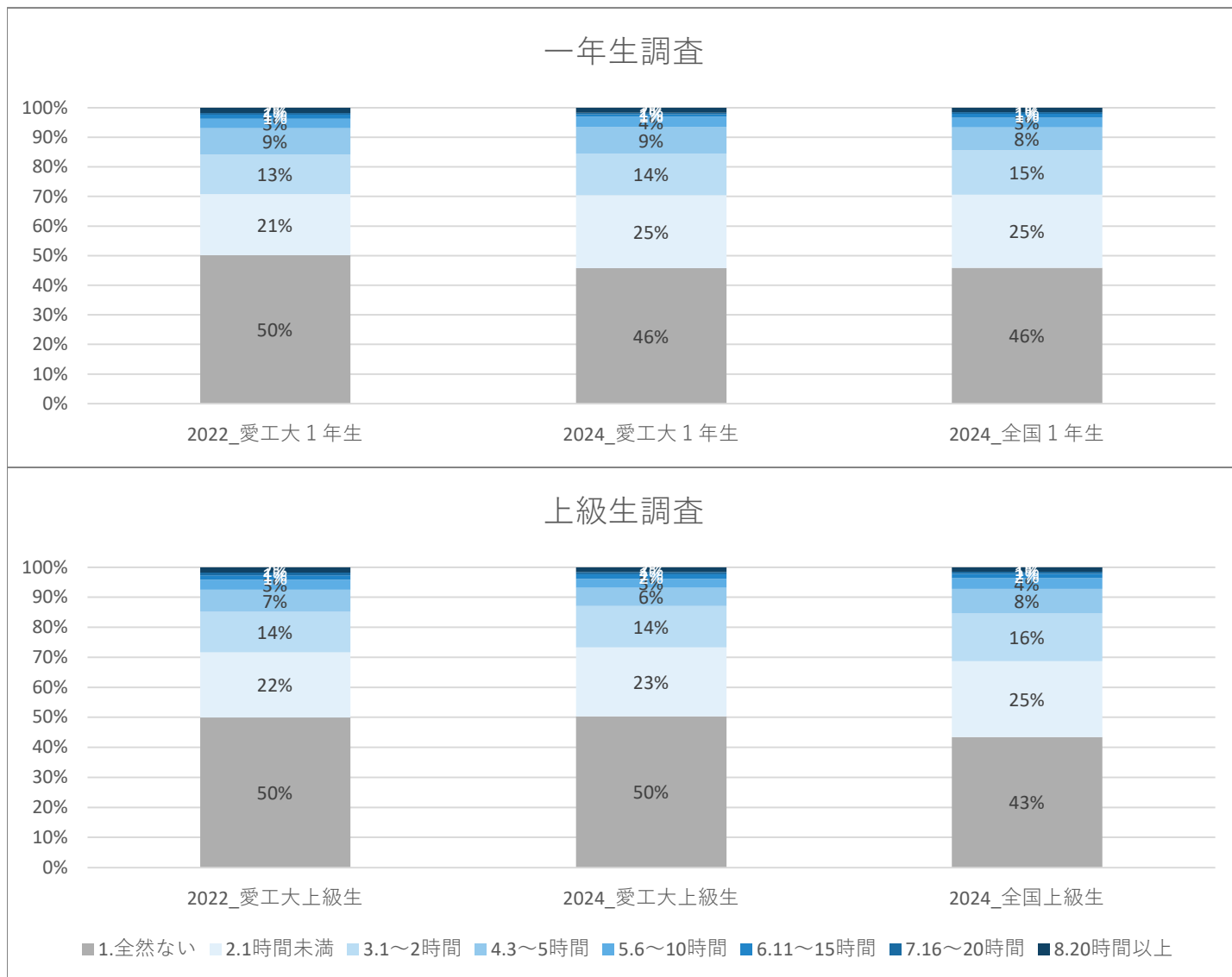
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、1.全然ないで差が大きい
考察	アルバイトを「全然ない」学生が全国平均より5ポイント高く、上級生との差も16ポイントあることから、入学直後の環境適応や学習への集中、保護者からの経済的支援が十分であることが背景にあると考えられる

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、1.全然ないで差が大きい
考察	2年前の一年生時代と比較してアルバイトを「全然ない」学生が大幅に減少していることから、学年進行に伴う生活費増加や就職活動に向けた資金確保の必要性、社会経験積極的取得志向が要因として挙げられる

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6G.読書をする（マンガ・雑誌を除く）



2024年度愛工大一年生調査について

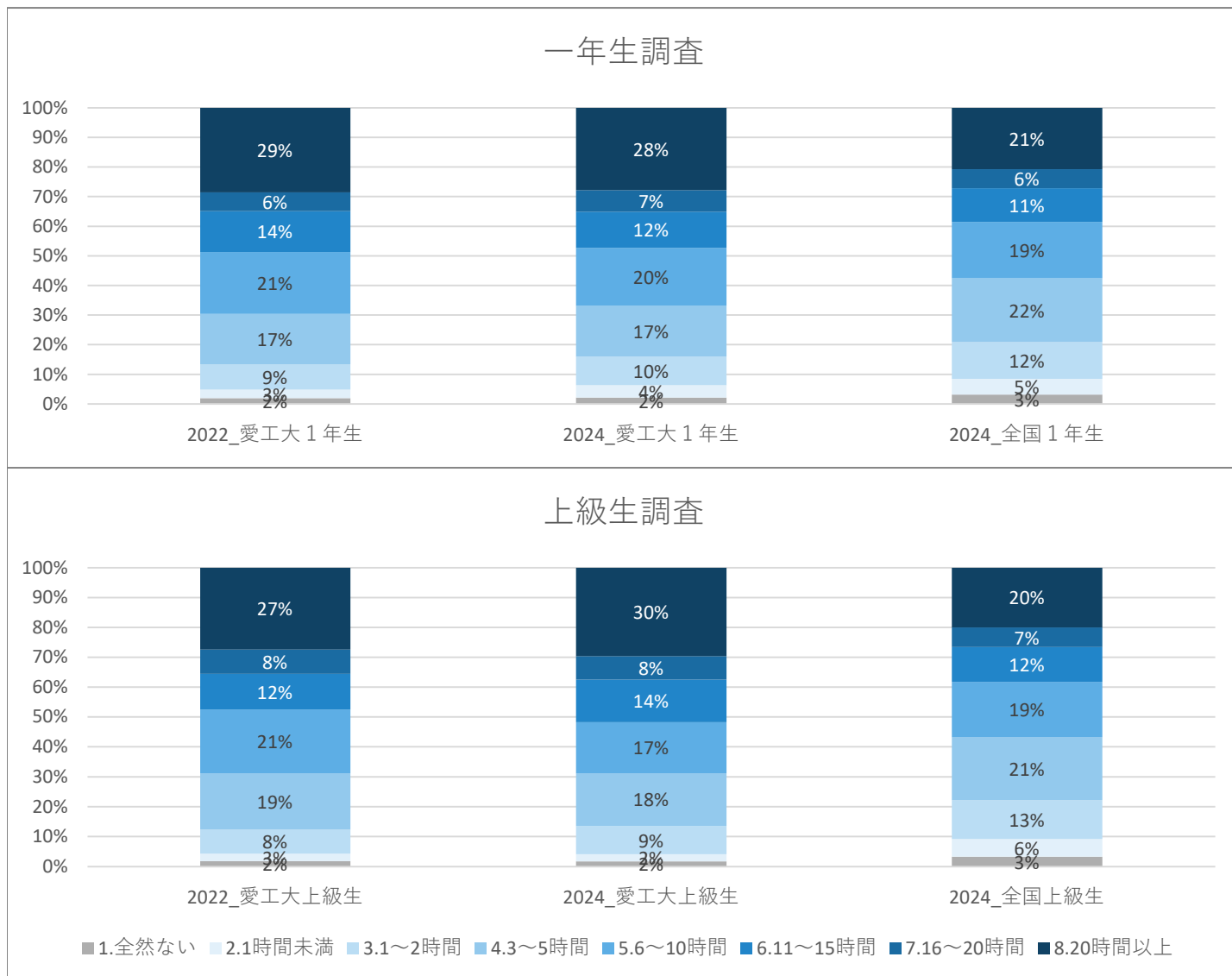
①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差がなかった
考察	読書時間について全ての比較で差が見られなかったのは、デジタルネイティブ世代における読書習慣の定着が困難であり、大学入学後も高校時代からの学習スタイルが継続されているためである

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、1.全然ないで差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差はなかった
考察	全国上級生と比較して読書をしない学生の割合が高いのは、実習や実験など理工系特有の実践的な学習に時間を割かれ、文献読解よりも技術習得を重視する学習環境にあるためである

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

問6H.個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



2024年度愛工大一年生調査について

①経年比較	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差がなかった
②ベンチマーク比較	2024_全国1年生と比べて、8.20時間以上で差がやや大きい
③自学一年生・上級生比較	2024_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差がなかった
考察	全国平均と比較して20時間以上の趣味活動時間が7ポイント高く、経年変化がないことから、本学の一年生は継続的に趣味活動への時間投資を重視する傾向があると考えられる

2024年度愛工大上級生調査について

④経年比較	2022_愛工大上級生と比べて、どの選択肢も差はなかった
⑤ベンチマーク比較	2024_全国上級生と比べて、8.20時間以上で差がやや大きい
⑥同一集団比較（2年前の1年生）	2022_愛工大1年生と比べて、どの選択肢も差はなかった
考察	全国平均より20時間以上の趣味活動が10ポイント高く、2年前の一年生時と変化がないことから、学年進行に関わらず趣味活動への高い時間配分が維持されている

調査：IRコンソーシアム共通調査（一部抜粋）
 対象：学部一年生及び三年生
 実施時期：2024年（基本）2022年（経年）
 ベンチマーク：全国

2023年授業フィードバックアンケート回答結果

実施方法：L-Cam（ポータルシステム）

対象：学部開講科目の履修者（1年生～4年生）

第1問（1） あなたがこの授業を履修した理由を選択してください。	前期	後期
必修科目	50.60%	37.40%
進級・卒業要件に必要	22.70%	33.70%
シラバスや履修系統図を確認して興味をもった	8.30%	8.20%
専門性を高めたい	4.70%	7.20%
教員免許等の資格取得に必要	1.50%	1.30%
先輩や友人等に良い授業だと薦められた	2.30%	2.00%
この教員の授業を受けてみたかった	0.90%	1.40%
成績評価の方法が自分に合っている	0.50%	0.90%
時間割の空き時間だった	5.70%	5.40%
単位修得が容易だと思った	2.00%	1.90%
副専攻科目だから	0.20%	0.30%
その他	0.50%	0.30%

第2問 あなたは、この授業のために1週間あたりの事前事後学習(宿題、課題含む)でどのくらい勉強をしましたか。	前期	後期
4時間以上	4.80%	6.40%
2～3時間	10.40%	12.10%
1～2時間	29.10%	30.00%
1時間未満	33.20%	31.50%
ほとんどしていない	22.60%	20.00%

第3問 あなたは、この授業に質問や発言などにより、意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。	前期	後期
そう思う	28.80%	29.90%
どちらかといえばそう思う	44.60%	44.50%
どちらかといえばそう思わない	18.10%	17.80%
そう思わない	8.50%	7.70%

第4問 あなたは、この授業を通じて学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。	前期	後期
そう思う	34.80%	37.40%
どちらかといえばそう思う	47.20%	47.80%
どちらかといえばそう思わない	12.30%	10.40%
そう思わない	5.70%	4.40%

第5問 この授業は、自身の成長や将来につながると感じましたか。	前期	後期
そう思う	41.50%	42.80%
どちらかといえばそう思う	44.50%	45.10%
どちらかといえばそう思わない	9.80%	8.90%
そう思わない	4.20%	3.20%

第6問 この授業の教員の話し方や説明は分かりやすかったですか。	前期	後期
そう思う	40.50%	42.70%
どちらかといえばそう思う	41.60%	42.90%
どちらかといえばそう思わない	11.70%	9.60%
そう思わない	6.20%	4.80%

第7問 この授業の教科書、板書、配付資料、視聴覚教材、実演などは、内容を理解する上で適切でしたか。	前期	後期
そう思う	41.50%	44.10%
どちらかといえばそう思う	44.10%	44.10%
どちらかといえばそう思わない	9.60%	8.10%
そう思わない	4.80%	3.70%

第8問 この授業の教員の事前事後学習(宿題、課題含む)に関する指示は適切でしたか。	前期	後期
そう思う	40.90%	43.00%
どちらかと言えばそう思う	44.80%	45.00%
どちらかと言えばそう思わない	9.70%	8.30%
そう思わない	4.70%	3.70%

第9問 この授業の教員は、一方的でなく、学生の質問・意見・理解度を確認しながら、授業を進めていましたか。	前期	後期
そう思う	37.70%	40.00%
どちらかと言えばそう思う	43.10%	44.10%
どちらかと言えばそう思わない	12.80%	11.00%
そう思わない	6.40%	4.90%

第10問 この授業の課題またはレポート等は、授業内容の理解を深めるのに役立ちましたか。	前期	後期
そう思う	42.60%	44.70%
どちらかと言えばそう思う	44.30%	45.00%
どちらかと言えばそう思わない	8.50%	6.80%
そう思わない	4.50%	3.50%

第11問 総合的評価として、この授業に満足しましたか。	前期	後期
そう思う	42.40%	44.90%
どちらかと言えばそう思う	43.90%	44.00%
どちらかと言えばそう思わない	9.10%	7.50%
そう思わない	4.60%	3.60%

2024年度授業フィードバックアンケート回答結果

実施方法：L-Cam（ポータルシステム）

対象：学部開講科目の履修者（1年生～4年生）

第1問（1） あなたがこの授業を履修した理由を選択してください。	前期	後期
必修科目	42.70%	29.60%
進級・卒業要件に必要	24.30%	31.20%
シラバスや履修系統図を確認して興味をもった	8.90%	10.10%
専門性を高めたい	7.60%	10.50%
教員免許等の資格取得に必要	1.00%	1.00%
先輩や友人等が良い授業だと薦められた	2.40%	2.10%
この教員の授業を受けてみたかった	1.80%	2.90%
成績評価の方法が自分に合っている	1.20%	2.00%
時間割の空き時間だった	6.70%	7.50%
単位修得が容易だと思った	2.70%	2.50%
副専攻科目だから	0.20%	0.20%
その他	0.50%	0.20%

第2問 あなたは、この授業のために1週間あたりの事前事後学習(宿題、課題含む)でどのくらい勉強をしましたか。	前期	後期
4時間以上	6.30%	5.60%
2～3時間	9.90%	12.60%
1～2時間	28.20%	29.80%
1時間未満	33.10%	31.80%
ほとんどしていない	22.50%	20.20%

第3問 あなたは、この授業に質問や発言などにより、意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。	前期	後期
そう思う	30.50%	28.70%
どちらかといえばそう思う	43.20%	46.10%
どちらかといえばそう思わない	17.90%	17.40%
そう思わない	8.40%	7.90%

第4問 あなたは、この授業を通じて学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。	前期	後期
そう思う	37.00%	35.90%
どちらかといえばそう思う	46.50%	49.10%
どちらかといえばそう思わない	11.40%	10.10%
そう思わない	5.00%	4.80%

第5問 この授業は、自身の成長や将来につながると感じましたか。	前期	後期
そう思う	44.10%	42.40%
どちらかといえばそう思う	43.30%	45.70%
どちらかといえばそう思わない	8.90%	8.40%
そう思わない	3.80%	3.50%

第6問 この授業の教員の話し方や説明は分かりやすかったですか。	前期	後期
そう思う	43.30%	41.90%
どちらかといえばそう思う	40.50%	42.60%
どちらかといえばそう思わない	10.60%	10.10%
そう思わない	5.60%	5.30%

第7問 この授業の教科書、板書、配付資料、視聴覚教材、実演などは、内容を理解する上で適切でしたか。	前期	後期
そう思う	44.50%	42.80%
どちらかといえばそう思う	42.00%	44.30%
どちらかといえばそう思わない	9.20%	8.60%
そう思わない	4.30%	4.40%

第8問 この授業の教員の事前事後学習(宿題、課題含む)に関する指示は適切でしたか。	前期	後期
そう思う	44.10%	42.50%
どちらかと言えばそう思う	42.60%	44.80%
どちらかと言えばそう思わない	8.80%	8.30%
そう思わない	4.60%	4.50%

第9問 この授業の教員は、一方的でなく、学生の質問・意見・理解度を確認しながら、授業を進めていましたか。	前期	後期
そう思う	40.40%	38.90%
どちらかと言えばそう思う	42.10%	44.20%
どちらかと言えばそう思わない	11.70%	11.30%
そう思わない	5.80%	5.60%

第10問 この授業の課題またはレポート等は、授業内容の理解を深めるのに役立ちましたか。	前期	後期
そう思う	45.10%	44.00%
どちらかと言えばそう思う	43.30%	44.70%
どちらかと言えばそう思わない	7.40%	7.30%
そう思わない	4.20%	4.00%

第11問 総合的評価として、この授業に満足しましたか。	前期	後期
そう思う	45.10%	43.90%
どちらかと言えばそう思う	42.40%	44.10%
どちらかと言えばそう思わない	8.30%	8.00%
そう思わない	4.20%	4.10%

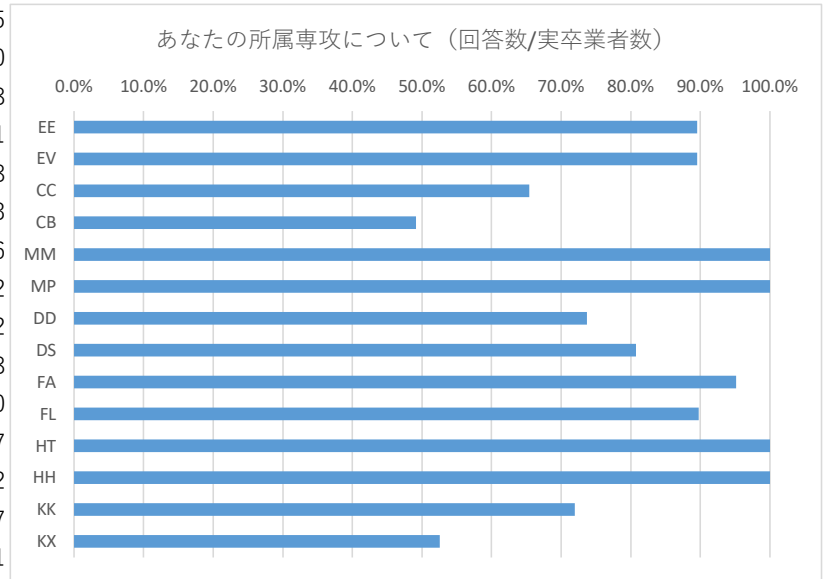
2023(令和5)年度 卒業時アンケート実施結果

設問

回答率 実回答数

●あなたの所属専攻について(この設問の回答率のみ実卒業業者数に対する回答者数)

設問	回答率	実回答数
●あなたの所属専攻について(この設問の回答率のみ実卒業業者数に対する回答者数)	85.7%	1125
1. EE	89.6%	120
2. EV	89.5%	128
3. CC	65.4%	51
4. CB	49.1%	28
5. MM	100.0%	163
6. MP	100.0%	106
7. DD	73.7%	42
8. DS	80.8%	42
9. FA	95.2%	118
10. FL	89.7%	70
11. HT	100.0%	87
12. HH	100.0%	52
13. KK	72.0%	77
14. KX	52.6%	41

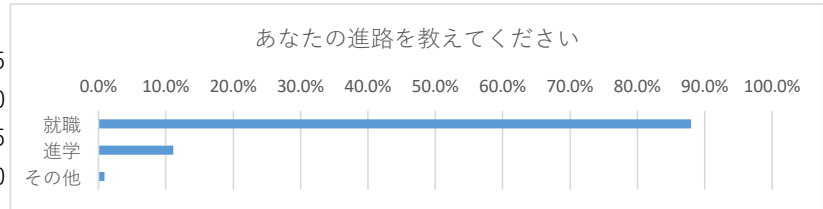


第1問

あなたの進路を教えてください。

回答率 実回答数

設問	回答率	実回答数
あなたの進路を教えてください。	100.0%	1125
1. 就職	88.0%	990
2. 進学	11.1%	125
3. その他	0.9%	10

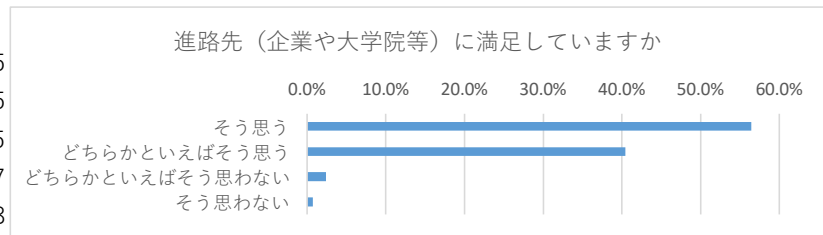


第2問

進路先(企業や大学院等)に満足していますか。

回答率 実回答数

設問	回答率	実回答数
進路先(企業や大学院等)に満足していますか。	100.0%	1125
1. そう思う	56.4%	635
2. どちらかといえばそう思う	40.4%	455
3. どちらかといえばそう思わない	2.4%	27
4. そう思わない	0.7%	8



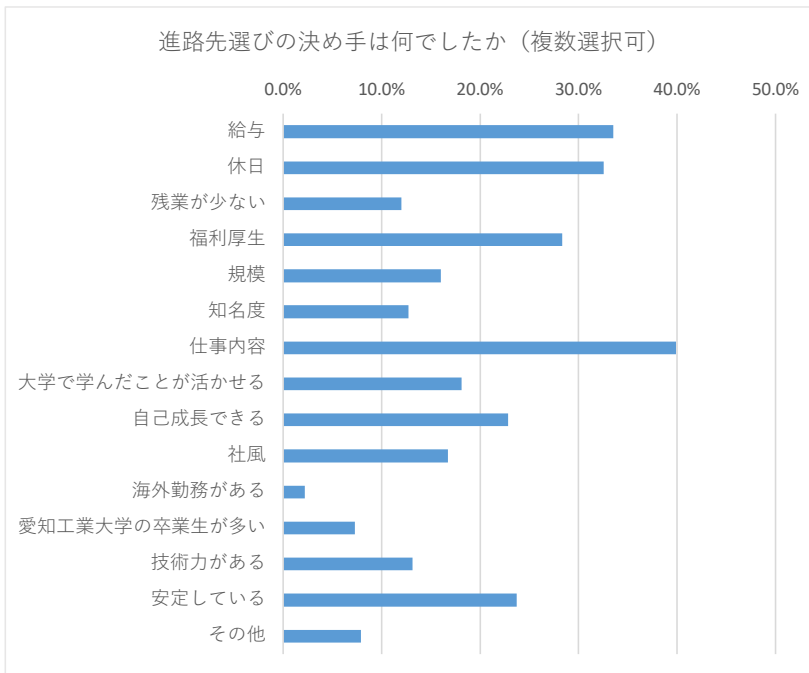
第3問

進路先選びの決め手は何でしたか。(複数選択可)

1. 給与
2. 休日
3. 残業が少ない
4. 福利厚生
5. 規模
6. 知名度
7. 仕事内容
8. 大学で学んだことが活かせる
9. 自己成長できる
10. 社風
11. 海外勤務がある
12. 愛知工業大学の卒業生が多い
13. 技術力がある
14. 安定している
15. その他

回答率 実回答数

項目	回答率	実回答数
進路先選びの決め手は何でしたか。(複数選択可)	287.0%	3229
1. 給与	33.5%	377
2. 休日	32.5%	366
3. 残業が少ない	12.0%	135
4. 福利厚生	28.4%	319
5. 規模	16.0%	180
6. 知名度	12.7%	143
7. 仕事内容	39.9%	449
8. 大学で学んだことが活かせる	18.1%	204
9. 自己成長できる	22.8%	257
10. 社風	16.7%	188
11. 海外勤務がある	2.2%	25
12. 愛知工業大学の卒業生が多い	7.3%	82
13. 技術力がある	13.2%	148
14. 安定している	23.7%	267
15. その他	7.9%	89



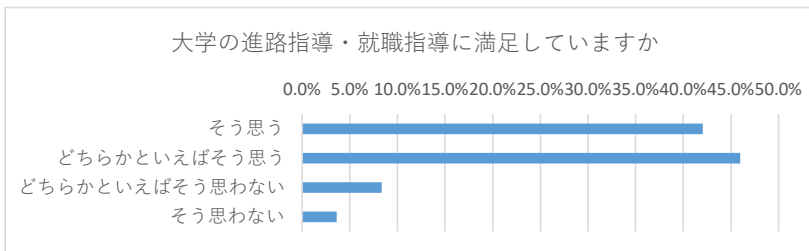
第4問

大学の進路指導・就職指導に満足していますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率 実回答数

項目	回答率	実回答数
大学の進路指導・就職指導に満足していますか。	100.0%	1125
1. そう思う	42.0%	473
2. どちらかといえばそう思う	46.0%	517
3. どちらかといえばそう思わない	8.4%	94
4. そう思わない	3.6%	41



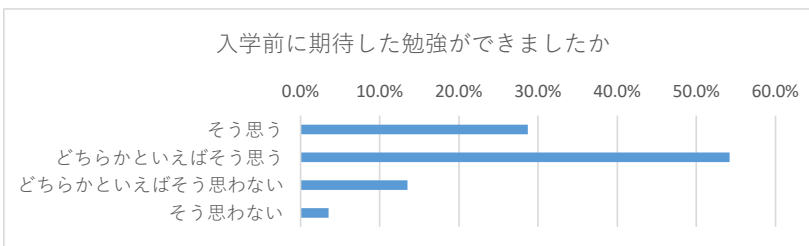
第5問

入学前に期待した勉強ができましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率 実回答数

項目	回答率	実回答数
入学前に期待した勉強ができましたか。	100.0%	1125
1. そう思う	28.7%	323
2. どちらかといえばそう思う	54.2%	610
3. どちらかといえばそう思わない	13.5%	152
4. そう思わない	3.6%	40

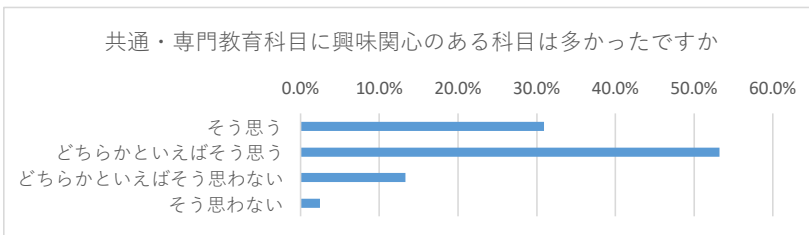


第6問

共通・専門教育科目に興味関心のある科目は多かったですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
30.9%	348
53.2%	599
13.3%	150
2.5%	28

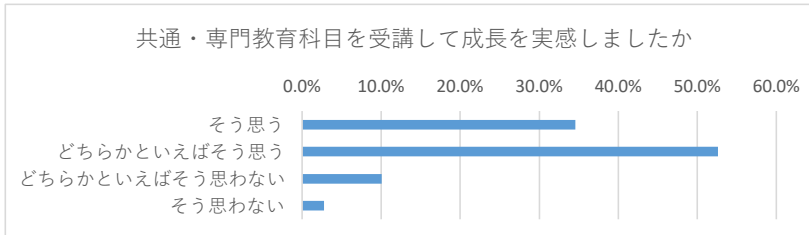


第7問

共通・専門教育科目を受講して成長を実感しましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
34.6%	389
52.6%	592
10.0%	113
2.8%	31

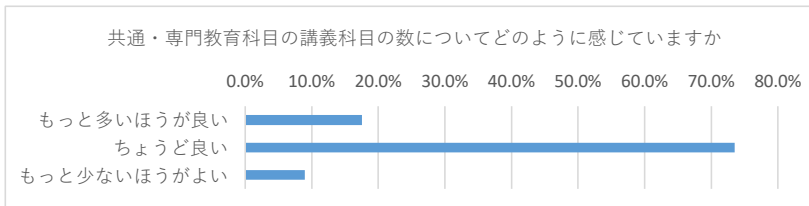


第8問

共通・専門教育科目の講義科目の数についてどのように感じていますか。

1. もっと多いほうが良い
2. ちょうど良い
3. もっと少ないほうがよい

回答率	実回答数
100.0%	1125
17.5%	197
73.5%	827
9.0%	101

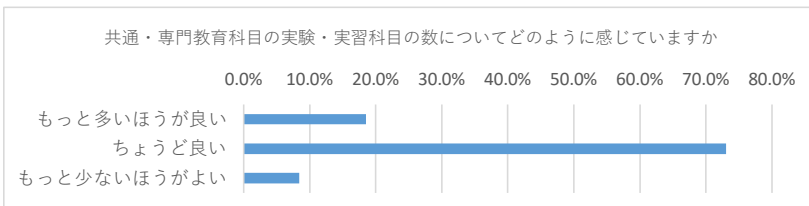


第9問

共通・専門教育科目の実験・実習科目の数についてどのように感じていますか。

1. もっと多いほうが良い
2. ちょうど良い
3. もっと少ないほうがよい

回答率	実回答数
100.0%	1125
18.5%	208
73.1%	822
8.4%	95

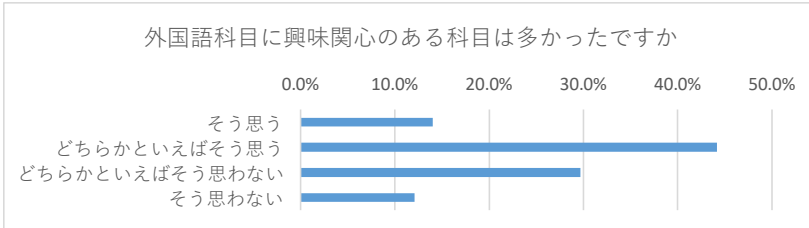


第10問

外国語科目に興味関心のある科目は多かったですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
14.0%	158
44.2%	497
29.7%	334
12.1%	136

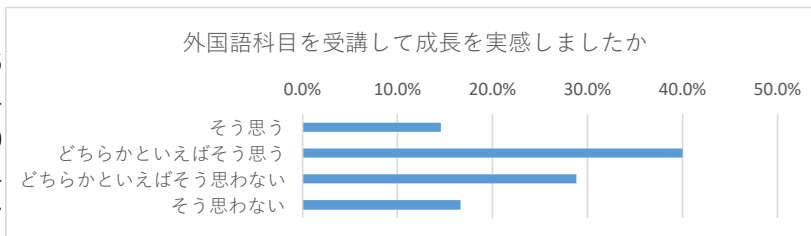


第11問

外国語科目を受講して成長を実感しましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
14.6%	164
40.0%	450
28.8%	324
16.6%	187

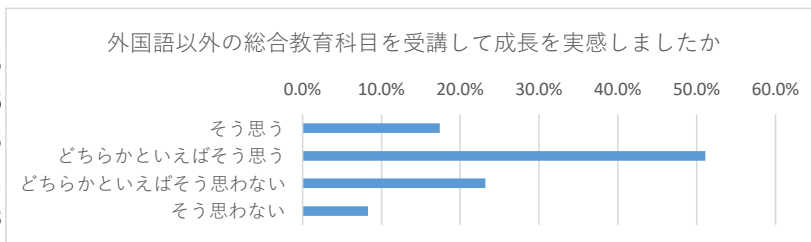


第12問

外国語以外の総合教育科目に興味関心のある科目は多かったですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
17.4%	196
51.1%	575
23.2%	261
8.3%	93

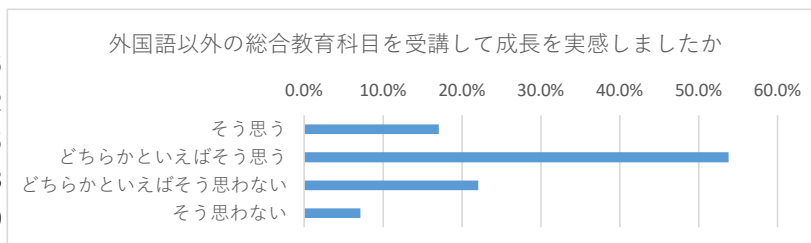


第13問

外国語以外の総合教育科目を受講して成長を実感しましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1125
17.1%	192
53.8%	605
22.0%	248
7.1%	80



第14問

共通・専門・総合教育科目を受講してよかったと思う科目があればご記入ください。

(自由記述のため割愛)

第15問

共通・専門・総合教育科目でこういう科目があれば受講したかったと思うものがあればご記入ください。

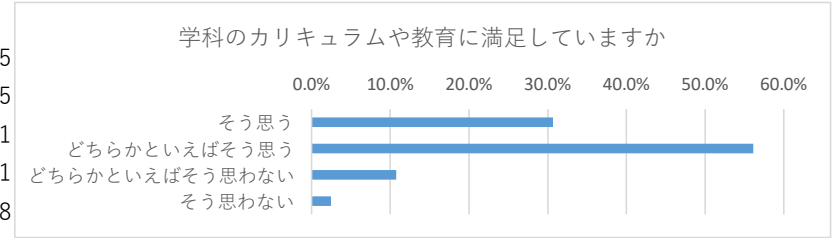
(自由記述のため割愛)

2023(令和5)年度 卒業時アンケート実施結果

第16問

学科のカリキュラムや教育に満足していますか。

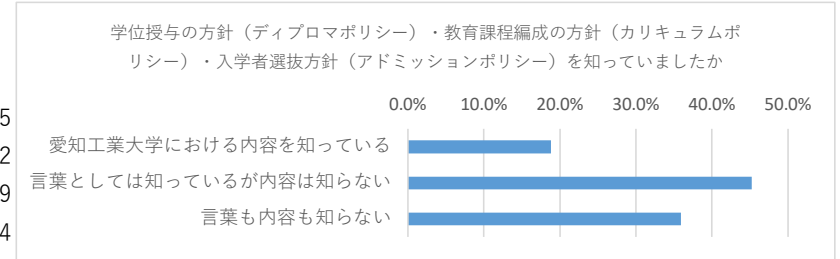
	回答率	実回答数
1. そう思う	30.7%	345
2. どちらかといえばそう思う	56.1%	631
3. どちらかといえばそう思わない	10.8%	121
4. そう思わない	2.5%	28



第17問

学位授与の方針（ディプロマポリシー）・教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）・
入学者選抜方針（アドミッションポリシー）を知っていましたか。
但し、土木工学科は学習・教育到達目標についてお答えください。

	回答率	実回答数
1. 愛知工業大学における内容を知っている	18.8%	212
2. 言葉としては知っているが内容は知らない	45.2%	509
3. 言葉も内容も知らない	35.9%	404

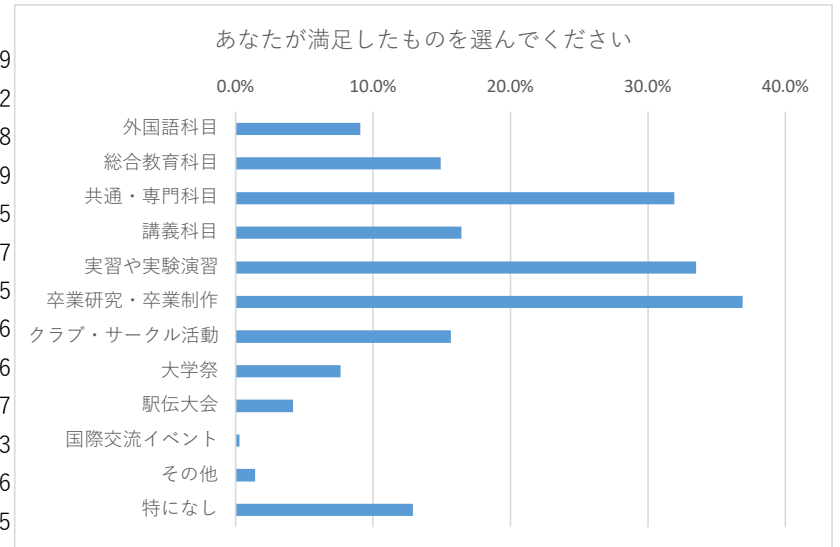


●大学全般について

第18問

以下の項目の中から、あなたが満足したものを選んでください。（複数選択可）

	回答率	実回答数
1. 外国語科目	9.1%	102
2. 総合教育科目	14.9%	168
3. 共通・専門科目	31.9%	359
4. 講義科目	16.4%	185
5. 実習や実験演習	33.5%	377
6. 卒業研究・卒業制作	36.9%	415
7. クラブ・サークル活動	15.6%	176
8. 大学祭	7.6%	86
9. 駅伝大会	4.2%	47
10. 国際交流イベント	0.3%	3
11. その他	1.4%	16
12. 特になし	12.9%	145

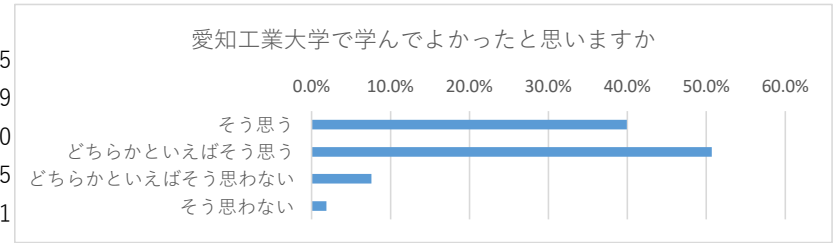


第19問

愛知工業大学で学んでよかったと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

	回答率	実回答数
	100.0%	1125
1. そう思う	39.9%	449
2. どちらかといえばそう思う	50.7%	570
3. どちらかといえばそう思わない	7.6%	85
4. そう思わない	1.9%	21



第20問①

大学生としての生活を振り返って、「良かったこと」

(自由記述のため割愛)

第20問②

大学生としての生活を振り返って、「悪かったこと」

(自由記述のため割愛)

第20問③

大学生としての生活を振り返って、「印象に残っていること」

(自由記述のため割愛)

第21問①

「大学」に対して、改善を期待することやご意見

(自由記述のため割愛)

第21問②

「学科」に対して、改善を期待することやご意見

(自由記述のため割愛)

第22問

「学科」の教育・指導などについて何か意見や要望があればご記入ください。

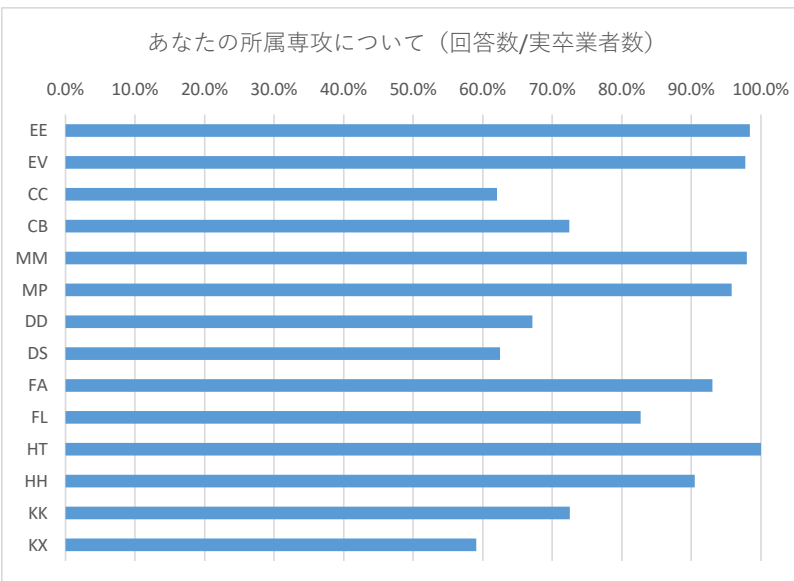
(自由記述のため割愛)

2024(令和6)年度 卒業時アンケート実施結果

設問

●あなたの所属専攻について(この設問の回答率のみ実卒業生数に対する回答者数)

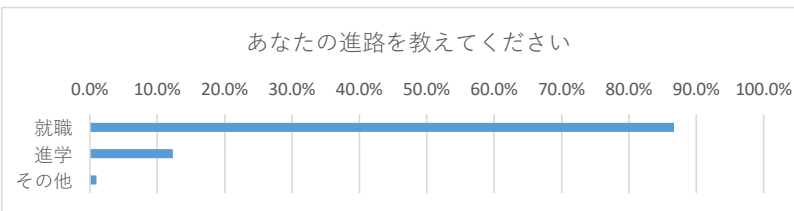
設問	回答率	実回答数
●あなたの所属専攻について(この設問の回答率のみ実卒業生数に対する回答者数)	85.3%	1105
1. EE	98.4%	123
2. EV	97.8%	131
3. CC	62.1%	54
4. CB	72.4%	42
5. MM	98.0%	144
6. MP	95.8%	91
7. DD	67.1%	49
8. DS	62.5%	25
9. FA	93.0%	120
10. FL	82.7%	67
11. HT	100.0%	79
12. HH	90.5%	57
13. KK	72.5%	74
14. KX	59.0%	49



第1問

あなたの進路を教えてください。

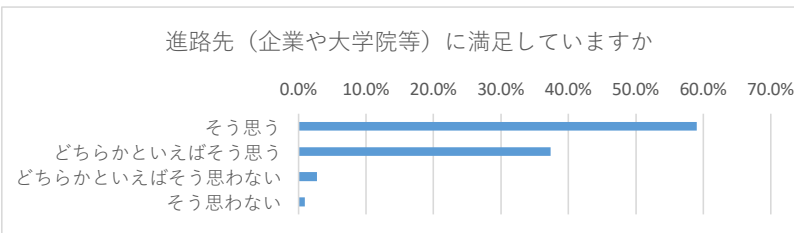
設問	回答率	実回答数
あなたの進路を教えてください。	100.0%	1105
1. 就職	86.7%	958
2. 進学	12.3%	136
3. その他	1.0%	11



第2問

進路先（企業や大学院等）に満足していますか。

設問	回答率	実回答数
進路先（企業や大学院等）に満足していますか。	100.0%	1105
1. そう思う	59.0%	652
2. どちらかといえばそう思う	37.4%	413
3. どちらかといえばそう思わない	2.7%	30
4. そう思わない	0.9%	10



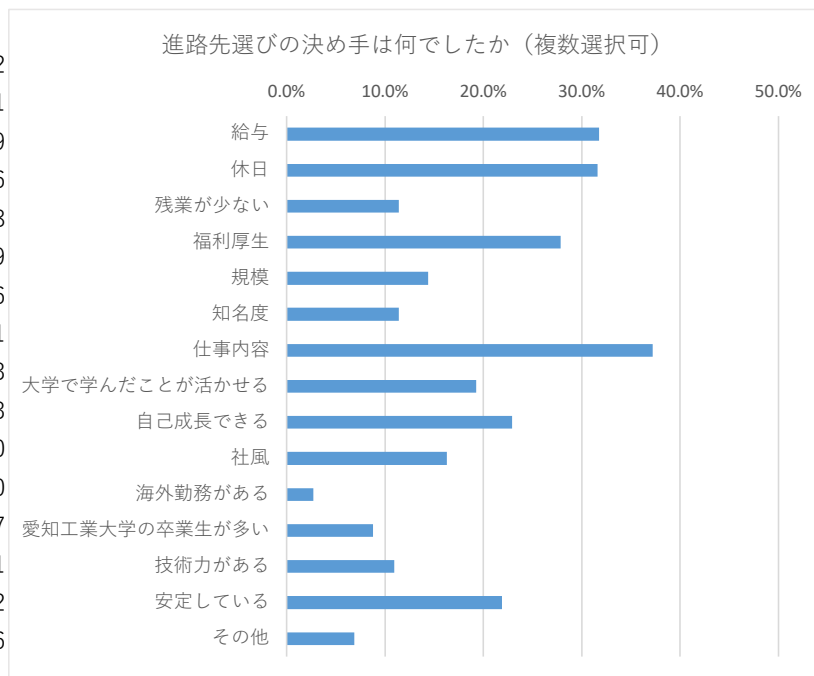
2024(令和6)年度 卒業時アンケート実施結果

第3問

進路先選びの決め手は何でしたか。(複数選択可)

1. 給与
2. 休日
3. 残業が少ない
4. 福利厚生
5. 規模
6. 知名度
7. 仕事内容
8. 大学で学んだことが活かせる
9. 自己成長できる
10. 社風
11. 海外勤務がある
12. 愛知工業大学の卒業生が多い
13. 技術力がある
14. 安定している
15. その他

	回答率	実回答数
	275.3%	3042
1. 給与	31.8%	351
2. 休日	31.6%	349
3. 残業が少ない	11.4%	126
4. 福利厚生	27.9%	308
5. 規模	14.4%	159
6. 知名度	11.4%	126
7. 仕事内容	37.2%	411
8. 大学で学んだことが活かせる	19.3%	213
9. 自己成長できる	22.9%	253
10. 社風	16.3%	180
11. 海外勤務がある	2.7%	30
12. 愛知工業大学の卒業生が多い	8.8%	97
13. 技術力がある	11.0%	121
14. 安定している	21.9%	242
15. その他	6.9%	76

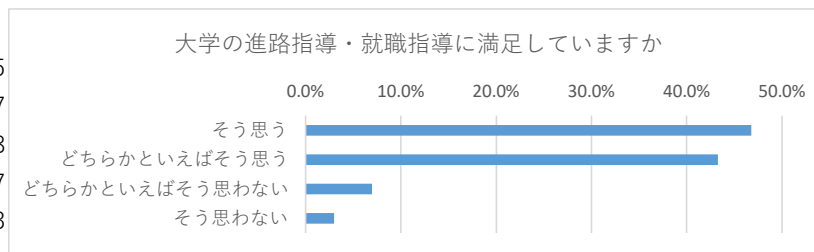


第4問

大学の進路指導・就職指導に満足していますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

	回答率	実回答数
	100.0%	1105
1. そう思う	46.8%	517
2. どちらかといえばそう思う	43.3%	478
3. どちらかといえばそう思わない	7.0%	77
4. そう思わない	3.0%	33

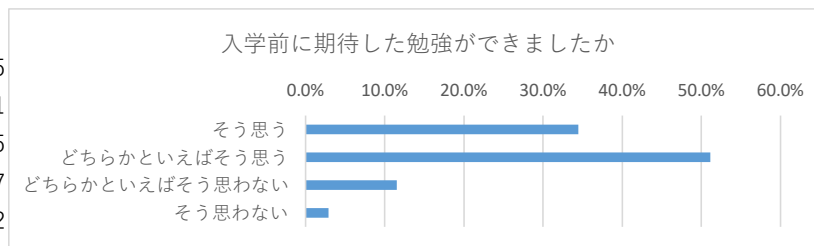


第5問

入学前に期待した勉強ができましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

	回答率	実回答数
	100.0%	1105
1. そう思う	34.5%	381
2. どちらかといえばそう思う	51.1%	565
3. どちらかといえばそう思わない	11.5%	127
4. そう思わない	2.9%	32

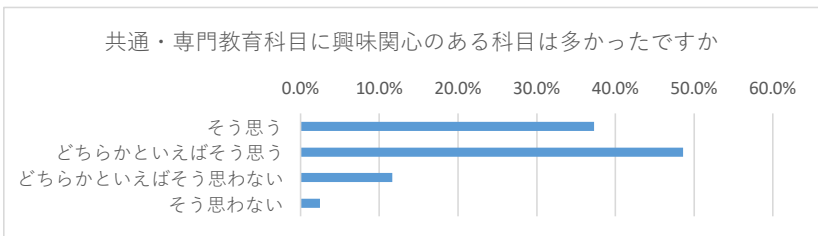


2024(令和6)年度 卒業時アンケート実施結果

第6問

共通・専門教育科目に興味関心のある科目は多かったですか。

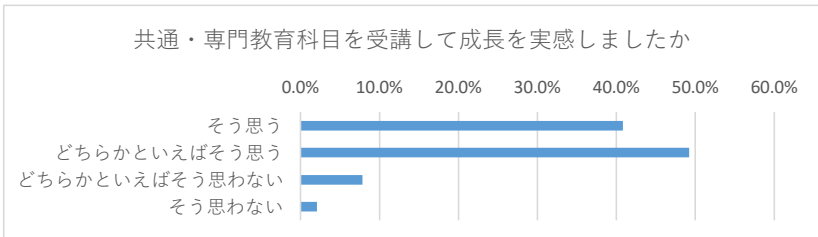
	回答率	実回答数
1. そう思う	37.3%	412
2. どちらかといえばそう思う	48.6%	537
3. どちらかといえばそう思わない	11.7%	129
4. そう思わない	2.4%	27



第7問

共通・専門教育科目を受講して成長を実感しましたか。

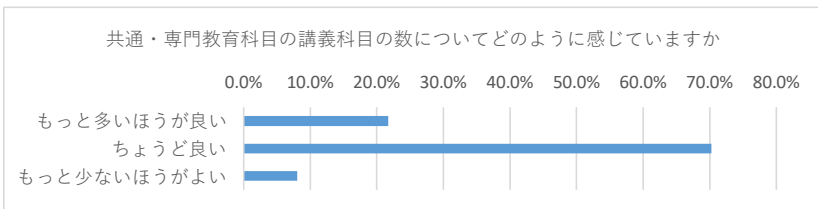
	回答率	実回答数
1. そう思う	40.8%	451
2. どちらかといえばそう思う	49.2%	544
3. どちらかといえばそう思わない	7.9%	87
4. そう思わない	2.1%	23



第8問

共通・専門教育科目の講義科目の数についてどのように感じていますか。

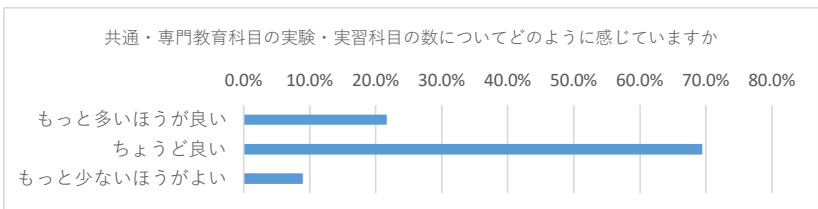
	回答率	実回答数
1. もっと多いほうが良い	21.7%	240
2. ちょうど良い	70.2%	776
3. もっと少ないほうがよい	8.1%	89



第9問

共通・専門教育科目の実験・実習科目の数についてどのように感じていますか。

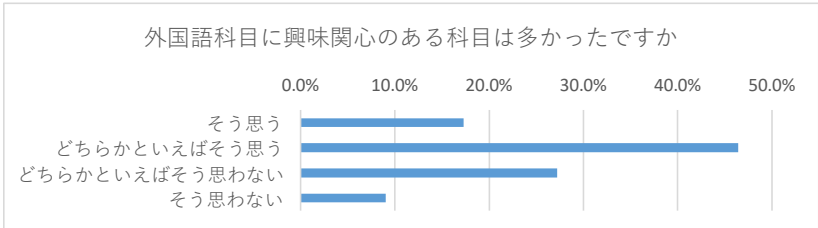
	回答率	実回答数
1. もっと多いほうが良い	21.6%	239
2. ちょうど良い	69.4%	767
3. もっと少ないほうがよい	9.0%	99



第10問

外国語科目に興味関心のある科目は多かったですか。

	回答率	実回答数
1. そう思う	17.3%	191
2. どちらかといえばそう思う	46.4%	513
3. どちらかといえばそう思わない	27.2%	301
4. そう思わない	9.0%	100



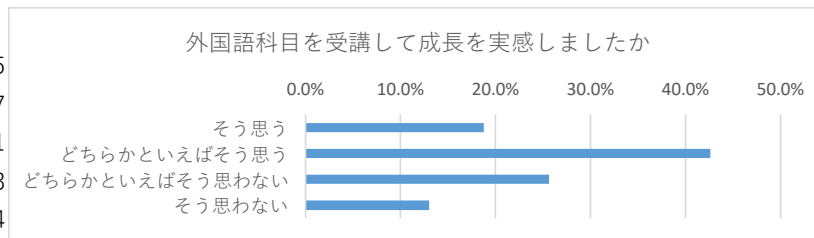
2024(令和6)年度 卒業時アンケート実施結果

第11問

外国語科目を受講して成長を実感しましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1105
18.7%	207
42.6%	471
25.6%	283
13.0%	144

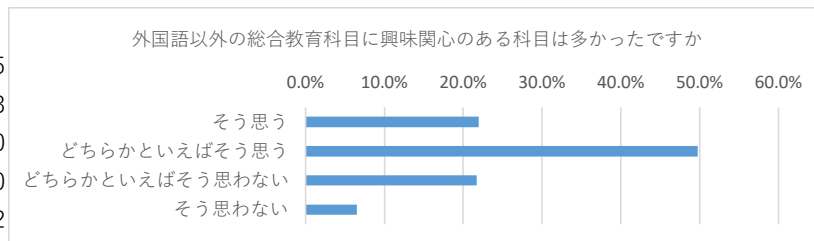


第12問

外国語以外の総合教育科目に興味関心のある科目は多かったですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1105
22.0%	243
49.8%	550
21.7%	240
6.5%	72

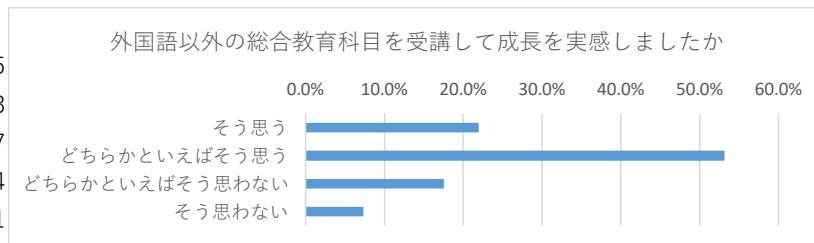


第13問

外国語以外の総合教育科目を受講して成長を実感しましたか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1105
22.0%	243
53.1%	587
17.6%	194
7.3%	81



第14問

共通・専門・総合教育科目で受講してよかったと思う科目があればご記入ください。

(自由記述のため割愛)

第15問

共通・専門・総合教育科目でこういう科目があれば受講したかったと思うものがあればご記入ください。

(自由記述のため割愛)

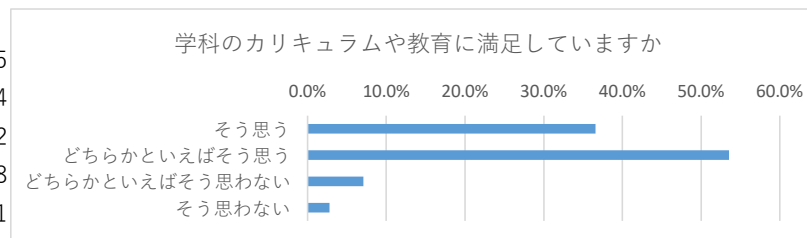
2024(令和6)年度 卒業時アンケート実施結果

第16問

学科のカリキュラムや教育に満足していますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

回答率	実回答数
100.0%	1105
36.6%	404
53.6%	592
7.1%	78
2.8%	31

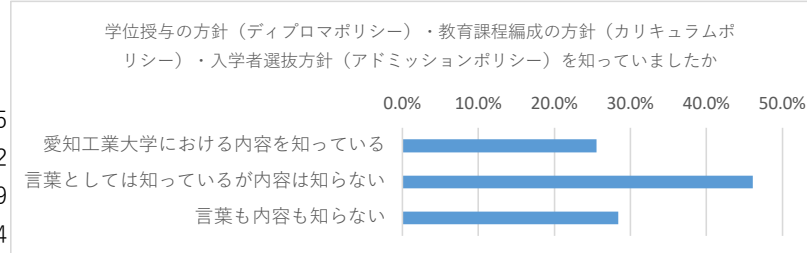


第17問

学位授与の方針（ディプロマポリシー）・教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）・
入学者選抜方針（アドミッションポリシー）を知っていましたか。
但し、土木工学科は学習・教育到達目標についてお答えください。

1. 愛知工業大学における内容を知っている
2. 言葉としては知っているが内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

回答率	実回答数
100.0%	1105
25.5%	282
46.1%	509
28.4%	314



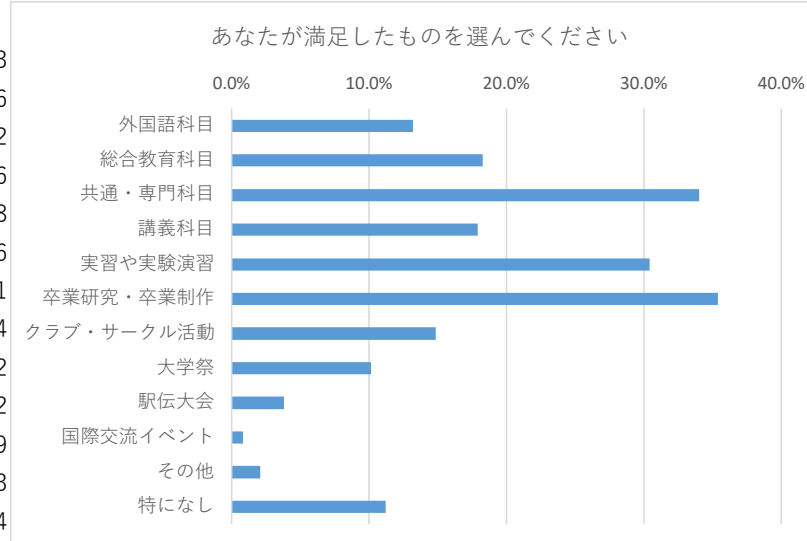
●大学全般について

第18問

以下の項目の中から、あなたが満足したものを選んでください。（複数選択可）

1. 外国語科目
2. 総合教育科目
3. 共通・専門科目
4. 講義科目
5. 実習や実験演習
6. 卒業研究・卒業制作
7. クラブ・サークル活動
8. 大学祭
9. 駅伝大会
10. 国際交流イベント
11. その他
12. 特になし

回答率	実回答数
192.1%	2123
13.2%	146
18.3%	202
34.0%	376
17.9%	198
30.4%	336
35.4%	391
14.8%	164
10.1%	112
3.8%	42
0.8%	9
2.1%	23
11.2%	124

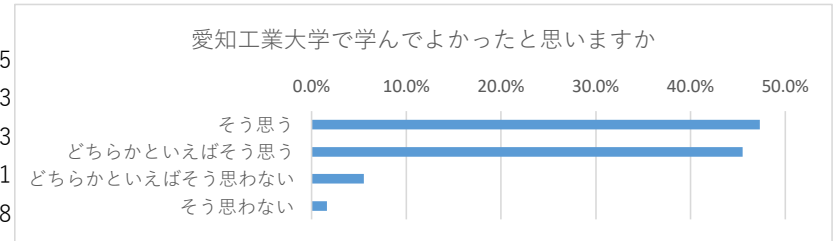


第19問

愛知工業大学で学んでよかったと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

	回答率	実回答数
	100.0%	1105
1. そう思う	47.3%	523
2. どちらかといえばそう思う	45.5%	503
3. どちらかといえばそう思わない	5.5%	61
4. そう思わない	1.6%	18



第20問①

大学生としての生活を振り返って、「良かったこと」
(自由記述のため割愛)

第20問②

大学生としての生活を振り返って、「悪かったこと」
(自由記述のため割愛)

第20問③

大学生としての生活を振り返って、「印象に残っていること」
(自由記述のため割愛)

第21問①

「大学」に対して、改善を期待することやご意見
(自由記述のため割愛)

第21問②

「学科」に対して、改善を期待することやご意見
(自由記述のため割愛)

第22問

「学科」の教育・指導などについて何か意見や要望があればご記入ください。
(自由記述のため割愛)

令和6年度（2024年度） 各種資格 講座受講者数及び資格試験結果

	一級建築士	二級建築士 アカデミック	二級建築士 フレキシブル	宅地建物取引士	1級建築 施工管理技士	2級建築 施工管理技士	2級土木 施工管理技士
受講者数	22	5	24	51	2	25	12
受験者数	卒業後受験となる建築士資格試験の結果は記載なし 二級建築士は対象学年によりコースが分かれる (アカデミック：4年生・大学院生、フレキシブル：1～3年生)			34	—	19	10
合格者数				3	—	13	7
合格率				8.8%	—	68.4%	70.0%
	危険物取扱者 甲種	TOEIC L&R 500点对策	CAD利用技術者 2次元（2級）	CAD利用技術者 3次元（準1級）	技術士1次試験		
受講者数	5	9	20	44	3		
受験者数	5	2	16	39	3		
合格者数	1	平均470点	13	26	0		
合格率	20.0%	—	81.3%	66.7%	0.0%		
	ITパスポート	基本情報技術者	日商簿記検定3級	日商簿記検定2級	3級ファイナンシャルプランナー	防災士養成講座	
受講者数	25	16	1	1	3	51	
受験者数	6	3	1	1	1	51	
合格者数	4	1	1	1	1	46	
合格率	66.6%	33.3%	100%	100%	100%	90.2%	
	公務員 教養対策	〈参考〉令和5年度公務員教養対策講座受講生の進路先について					
受講者数	16	受講者数※	25	入職先（内訳） ・愛知県庁（1名） ・知立市役所（1名） ・新城市役所（1名） ・愛知県警察本部（2名） ※受講者数25名のうち3名は学部在学中			
受験者数	—	公務員	5				
合格者数	—	企業	17				
合格率	—	大学院進学	0				

就職及び進学状況（過去3年間）

学部	学科	令和4年度								令和5年度								令和6年度							
		卒業生数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数(人)	就職者数 (人)	進学率 (%)	就職率 (%)	実就職率 (%)	求人社数 延べ数(社)	卒業生数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数(人)	就職者数 (人)	進学率 (%)	就職率 (%)	実就職率 (%)	求人社数 延べ数(社)	卒業生数 (人)	進学者数 (人)	就職 希望者数(人)	就職者数 (人)	進学率 (%)	就職率 (%)	実就職率 (%)	求人社数 延べ数(社)
工学部	電気学科	270	31	238	238	11.5%	100.0%	99.6%	13,920	279	31	246	246	11.1%	100.0%	99.2%	15,397	261	32	229	229	12.3%	100.0%	100.0%	16,680
	応用化学科	139	30	107	107	21.6%	100.0%	98.2%	13,212	137	28	109	109	20.4%	100.0%	100.0%	14,724	146	29	115	115	19.9%	100.0%	98.3%	16,111
	機械学科	211	19	190	190	9.0%	100.0%	99.0%	13,921	268	32	235	235	11.9%	100.0%	99.6%	15,389	244	32	210	210	13.1%	100.0%	99.1%	16,659
	社会基盤学科 (土木工学科)	117	9	108	108	7.7%	100.0%	100.0%	13,578	112	8	104	104	7.1%	100.0%	100.0%	15,082	113	4	109	109	3.5%	100.0%	100.0%	16,409
	建築学科	220	10	208	208	4.5%	100.0%	99.0%	13,625	206	8	196	196	3.9%	100.0%	99.0%	15,099	213	15	195	195	7.0%	100.0%	98.5%	16,452
工学部計		957	99	851	851	10.3%	100.0%	99.2%	—	1,002	107	890	890	10.7%	100.0%	99.4%	—	977	112	858	858	11.5%	100.0%	99.2%	—
経営学部	経営学科	148	0	147	146	0.0%	99.3%	98.6%	14,245	142	2	137	137	1.4%	100.0%	97.9%	15,800	146	1	143	143	0.7%	100.0%	98.6%	17,251
経営学部計		148	0	147	146	0.0%	99.3%	98.6%	14,245	142	2	137	137	1.4%	100.0%	97.9%	15,800	146	1	143	143	0.7%	100.0%	98.6%	17,251
情報学部	情報科学科	186	22	159	159	11.8%	100.0%	97.0%	14,479	194	18	174	174	9.3%	100.0%	98.9%	16,064	188	25	162	162	13.3%	100.0%	99.4%	17,441
情報科学科計		186	22	159	159	11.8%	100.0%	97.0%	14,479	194	18	174	174	9.3%	100.0%	98.9%	16,064	188	25	162	162	13.3%	100.0%	99.4%	17,441
合計		1,291	121	1,157	1,156	9.4%	99.9%	98.8%	15,501	1,338	127	1,201	1,201	9.5%	100.0%	99.2%	17,003	1,311	138	1,163	1,163	10.5%	100.0%	99.1%	18,239

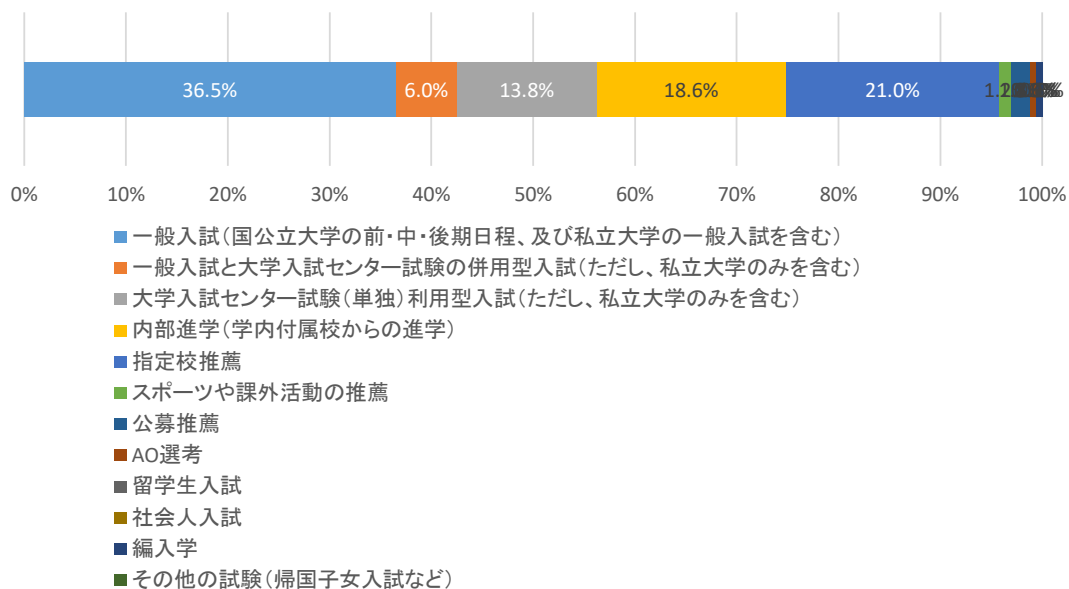
- 進学率は卒業者の内、進学者の割合を記載（進学率 = 進学者 ÷ 卒業者）
 - 就職率（内定率）は就職希望者の内、就職者の割合を記載（就職率 = 就職者 ÷ 就職希望者）
 - 実就職率は卒業者数から進学者数を引いた卒業者数の内、就職者の割合を記載（実就職率 = 就職者 ÷ (卒業者 - 進学者)）
- ※各項目は学校基本調査に準じて記載
- 求人社数（延べ）の集計には株式会社ジェイネットが運営する「求人検索NAVI」を利用
システム上、各学科ごとに集計される仕組みとなっており、工学部については学部で集計できないため「-」を記載

2018年度 学部卒業生 調査基礎集計

学校名	回答者数
愛知工業大学	181 (回答率18.9%)

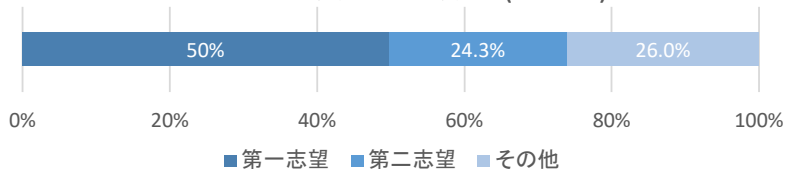
調査実施時期 : R6.12～R7.2
 対象学部卒業生 : 2018年度学部卒業生 (1312名)

Q1, 入学試験形態 (n=167)



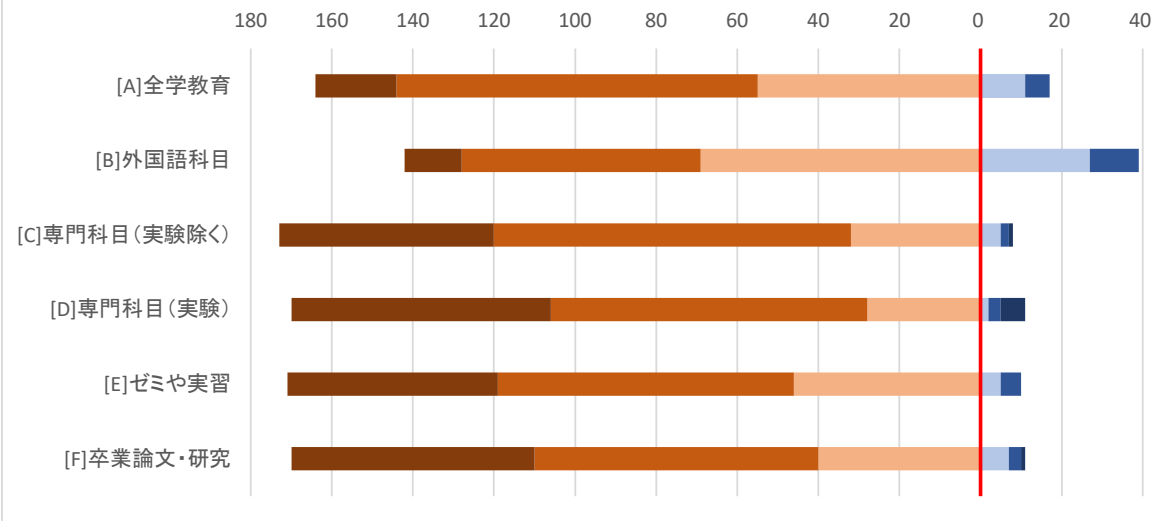
Q1, 入学試験形態 (n=167)	回答数	割合
一般入試(国公立大学の前・中・後期日程、及び私立大学の一般入試を含む)	61	36.5%
一般入試と大学入試センター試験の併用型入試(ただし、私立大学のみを含む)	10	6.0%
大学入試センター試験(単独)利用型入試(ただし、私立大学のみを含む)	23	13.8%
内部進学(学内付属校からの進学)	31	18.6%
指定校推薦	35	21.0%
スポーツや課外活動の推薦	2	1.2%
公募推薦	3	1.8%
AO選考	1	0.6%
留学生入試	0	0.0%
社会人入試	0	0.0%
編入学	1	0.6%
その他の試験(帰国子女入試など)	0	0.0%
合計	167	100%

Q2, 志望順位 (n=181)



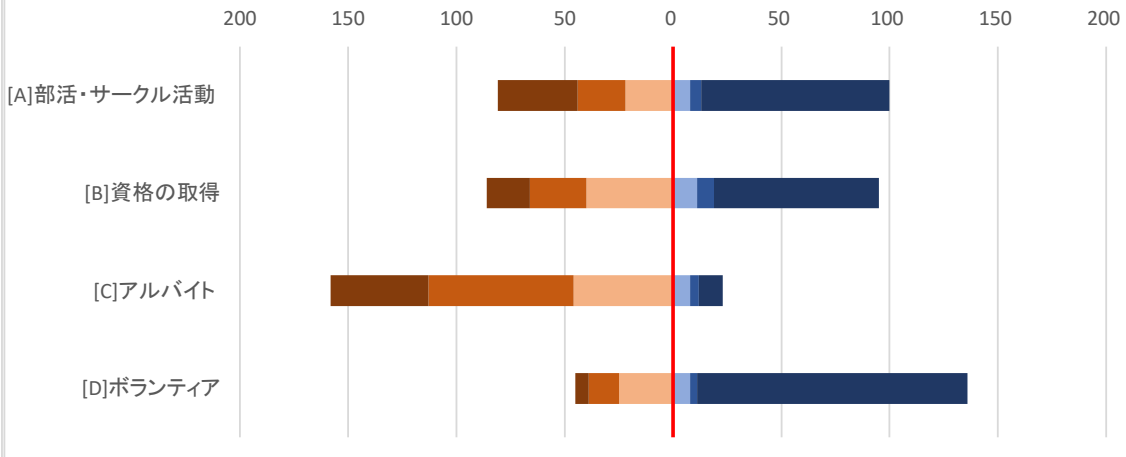
Q2, 志望順位 (n=181)	回答数	割合
第一志望	90	49.7%
第二志望	44	24.3%
その他	47	26.0%
合計	181	100%

Q3, 授業科目の熱心度



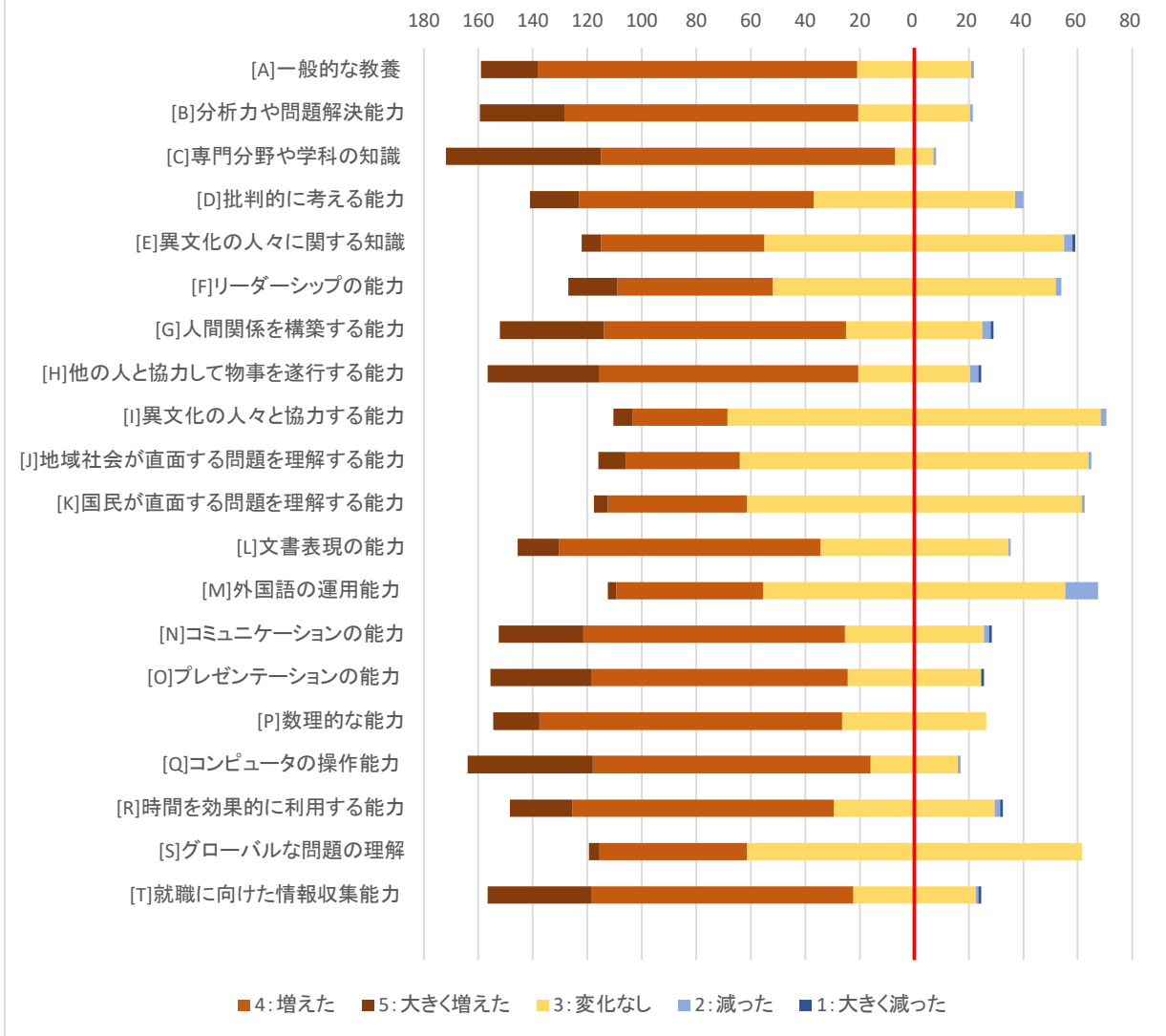
Q3, 授業科目の熱心度	熱心		やや熱心		どちらともいえない		やや不熱心		不熱心		取り組まなかった		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
[A]全学教育	20	11.0%	89	49.2%	55	30.4%	11	6.1%	6	3.3%	0	3.3%	181	100%
[B]外国語科目	14	7.7%	59	32.6%	69	38.1%	27	14.9%	12	6.6%	0	6.6%	181	100%
[C]専門科目(実験除く)	53	29.3%	88	48.6%	32	17.7%	5	2.8%	2	1.1%	1	1.1%	181	100%
[D]専門科目(実験)	64	35.4%	78	43.1%	28	15.5%	2	1.1%	3	1.7%	6	1.7%	181	100%
[E]ゼミや実習	52	28.7%	73	40.3%	46	25.4%	5	2.8%	5	2.8%	0	2.8%	181	100%
[F]卒業論文・研究	60	33.1%	70	38.7%	40	22.1%	7	3.9%	3	1.7%	1	1.7%	181	100%

Q3, 課外活動の熱心度



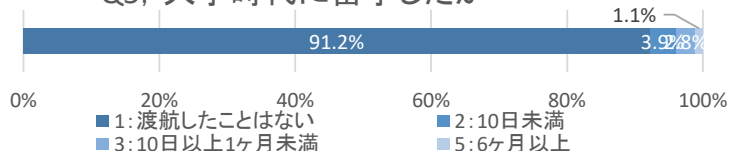
Q3, 課外活動の熱心度	熱心		やや熱心		どちらともいえない		やや不熱心		不熱心		取り組まなかった		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
[A]部活・サークル活動	37	20.4%	22	12.2%	22	12.2%	8	4.4%	5	2.8%	87	48.1%	181	100%
[B]資格の取得	20	11.0%	26	14.4%	40	22.1%	11	6.1%	8	4.4%	76	42.0%	181	100%
[C]アルバイト	45	24.9%	67	37.0%	46	25.4%	8	4.4%	4	2.2%	11	6.1%	181	100%
[D]ボランティア	6	3.3%	14	7.7%	25	13.8%	8	4.4%	3	1.7%	125	69.1%	181	100%

Q4, 在学中に身についた能力



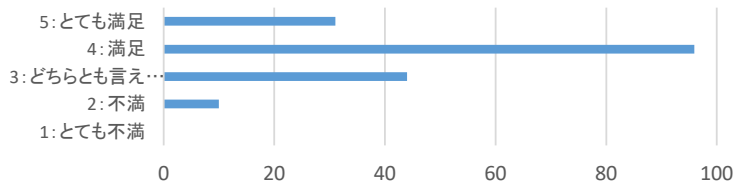
Q4, 在学中に身についた能力	大きく増えた		増えた		変化なし		減った		大きく減った		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
[A]一般的な教養	21	11.6%	117	64.6%	42	23.2%	1	0.6%	0	0.0%	181	100%
[B]分析力や問題解決能力	31	17.1%	108	59.7%	41	22.7%	1	0.6%	0	0.0%	181	100%
[C]専門分野や学科の知識	57	31.7%	108	60.0%	14	7.8%	1	0.6%	0	0.0%	180	100%
[D]批判的に考える能力	18	9.9%	86	47.5%	74	40.9%	3	1.7%	0	0.0%	181	100%
[E]異文化の人々に関する知識	7	3.9%	60	33.1%	110	60.8%	3	1.7%	1	0.6%	181	100%
[F]リーダーシップの能力	18	9.9%	57	31.5%	104	57.5%	2	1.1%	0	0.0%	181	100%
[G]人間関係を構築する能力	38	21.0%	89	49.2%	50	27.6%	3	1.7%	1	0.6%	181	100%
[H]他の人と協力して物事を遂行する能力	41	22.7%	95	52.5%	41	22.7%	3	1.7%	1	0.6%	181	100%
[I]異文化の人々と協力する能力	7	3.9%	35	19.3%	137	75.7%	2	1.1%	0	0.0%	181	100%
[J]地域社会が直面する問題を理解する能力	10	5.5%	42	23.2%	128	70.7%	1	0.6%	0	0.0%	181	100%
[K]国民が直面する問題を理解する能力	5	2.8%	51	28.3%	123	68.3%	1	0.6%	0	0.0%	180	100%
[L]文書表現の能力	15	8.3%	96	53.0%	69	38.1%	1	0.6%	0	0.0%	181	100%
[M]外国語の運用能力	3	1.7%	54	30.0%	111	61.7%	12	6.7%	0	0.0%	180	100%
[N]コミュニケーションの能力	31	17.1%	96	53.0%	51	28.2%	2	1.1%	1	0.6%	181	100%
[O]プレゼンテーションの能力	37	20.4%	94	51.9%	49	27.1%	0	0.0%	1	0.6%	181	100%
[P]数理的な能力	17	9.4%	111	61.3%	53	29.3%	0	0.0%	0	0.0%	181	100%
[Q]コンピュータの操作能力	46	25.4%	102	56.4%	32	17.7%	1	0.6%	0	0.0%	181	100%
[R]時間を効果的に利用する能力	23	12.7%	96	53.0%	59	32.6%	2	1.1%	1	0.6%	181	100%
[S]グローバルな問題の理解	4	2.2%	54	29.8%	123	68.0%	0	0.0%	0	0.0%	181	100%
[T]就職に向けた情報収集能力	38	21.0%	96	53.0%	45	24.9%	1	0.6%	1	0.6%	181	100%

Q5, 大学時代に留学したか



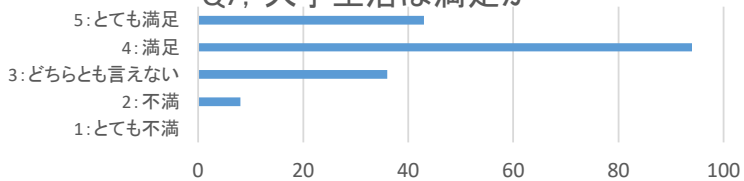
Q5, 大学時代に留学したか	回答数	割合
1: 渡航したことはない	165	91.2%
2: 10日未満	7	3.9%
3: 10日以上1ヶ月未満	5	2.8%
4: 1ヶ月以上6ヶ月未満	2	1.1%
5: 6ヶ月以上	2	1.1%
合計	181	100%

Q6, 大学の教育・研究に満足か



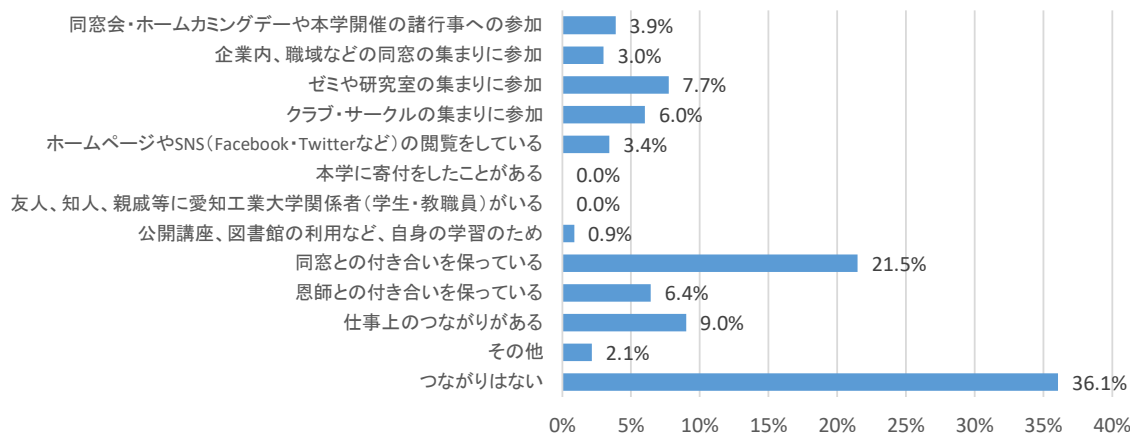
Q6, 大学の教育・研究に満足か	回答数	割合
とても満足	31	17.1%
満足	96	53.0%
どちらとも言えない	44	24.3%
不満	10	5.5%
とても不満	0	0.0%
合計	181	100%

Q7, 大学生活は満足か



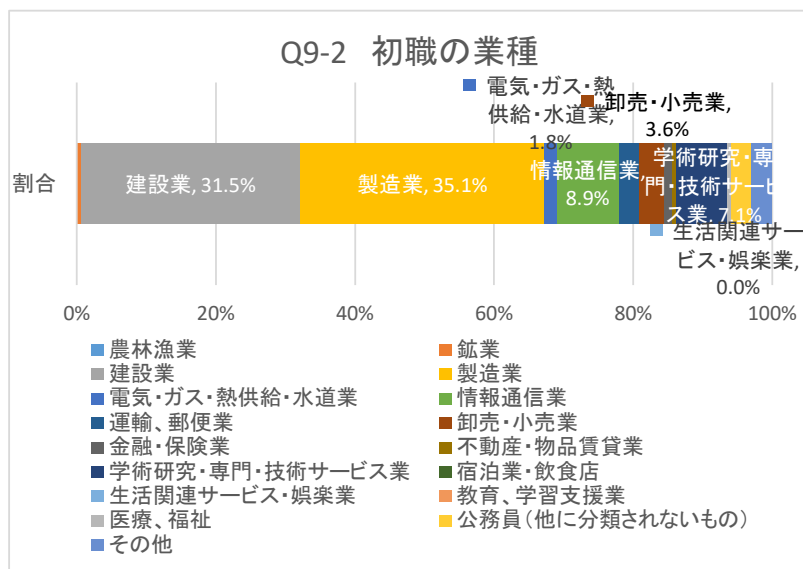
Q7, 大学生活は満足か	回答数	割合
とても不満	0	0.0%
不満	8	4.4%
どちらとも言えない	36	19.9%
満足	94	51.9%
とても満足	43	23.8%
合計	181	100%

Q8, 本学や同窓とのつながり(複数選択)

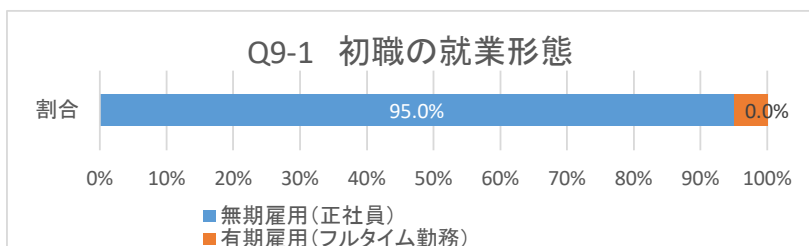


Q8, 本学や同窓とのつながり(複数選択)	回答数	割合
同窓会・ホームカミングデーや本学開催の諸行事への参加	9	3.9%
企業内、職域などの同窓の集まりに参加	7	3.0%
ゼミや研究室の集まりに参加	18	7.7%
クラブ・サークルの集まりに参加	14	6.0%
ホームページやSNS(Facebook・Twitterなど)の閲覧をしている	8	3.4%
本学に寄付をしたことがある	0	0.0%
友人、知人、親戚等に愛知工業大学関係者(学生・教職員)がいる	0	0.0%
公開講座、図書館の利用など、自身の学習のため	2	0.9%
同窓との付き合いを保っている	50	21.5%
恩師との付き合いを保っている	15	6.4%
仕事上のつながりがある	21	9.0%
その他	5	2.1%
つながりはない	84	36.1%

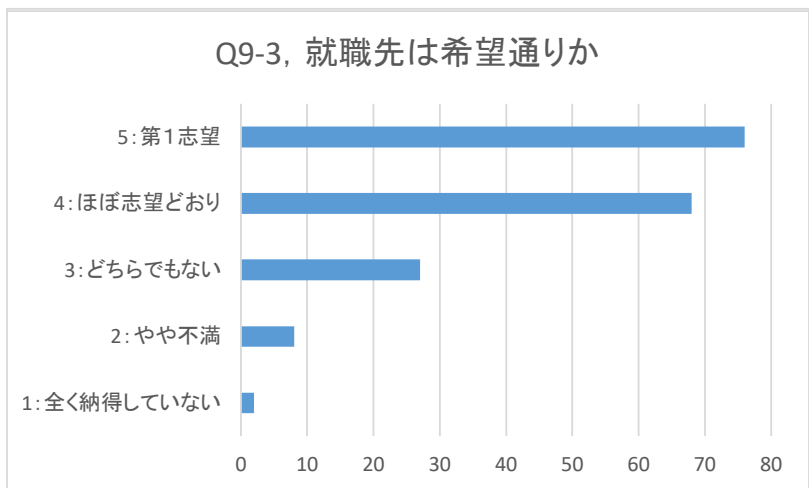
※ 回答実人数での割合



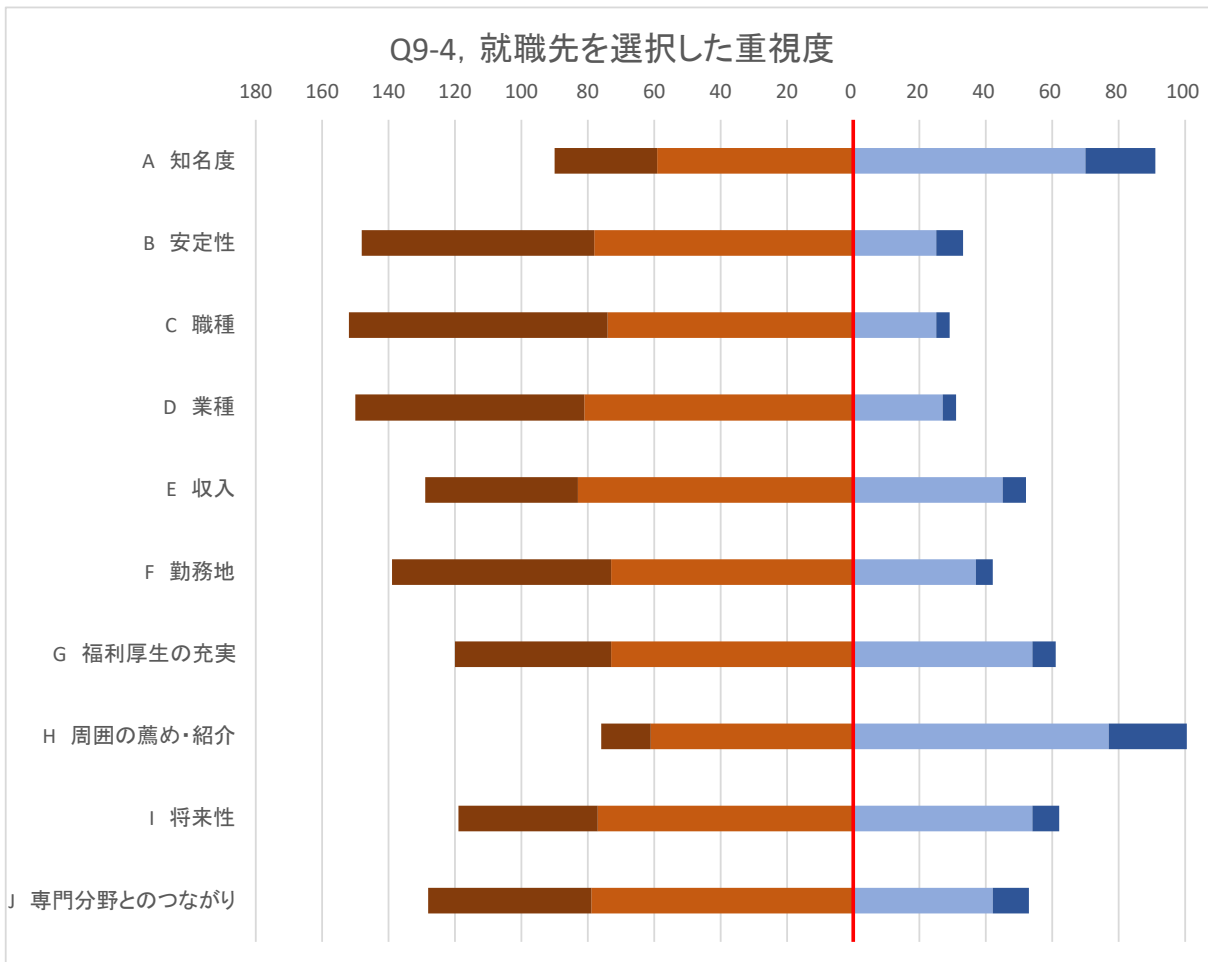
Q9-2 初職の業種	回答数	割合
農林漁業	0	0.0%
鉱業	1	0.6%
建設業	53	31.5%
製造業	59	35.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.8%
情報通信業	15	8.9%
運輸、郵便業	5	3.0%
卸売・小売業	6	3.6%
金融・保険業	2	1.2%
不動産・物品賃貸業	1	0.6%
学術研究・専門・技術サービス業	12	7.1%
宿泊業・飲食店	0	0.0%
生活関連サービス・娯楽業	0	0.0%
教育、学習支援業	0	0.0%
医療、福祉	1	0.6%
公務員(他に分類されないもの)	5	3.0%
その他	5	3.0%
合計	168	100%



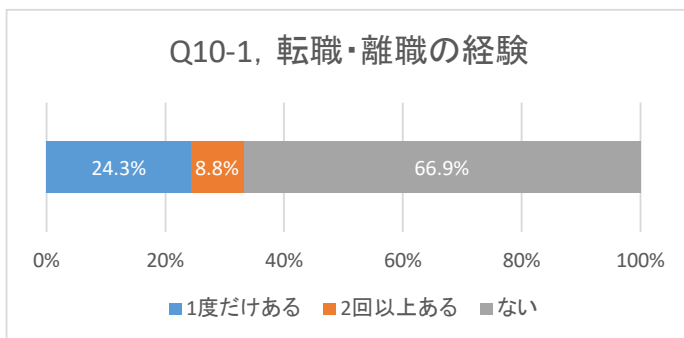
Q9-1 初職の就業形態	回答数	割合
無期雇用(正社員)	172	95.0%
有期雇用(フルタイム勤務)	9	5.0%
有期雇用(短時間勤務)	0	0.0%
その他自営など	0	0.0%
仕事についたことない	0	0.0%
合計	181	100%



Q9-3, 就職先は希望通りか	回答数	割合
全く納得していない	2	1.1%
やや不満	8	4.4%
どちらでもない	27	14.9%
ほぼ志望どおり	68	37.6%
第1志望	76	42.0%
合計	181	100%

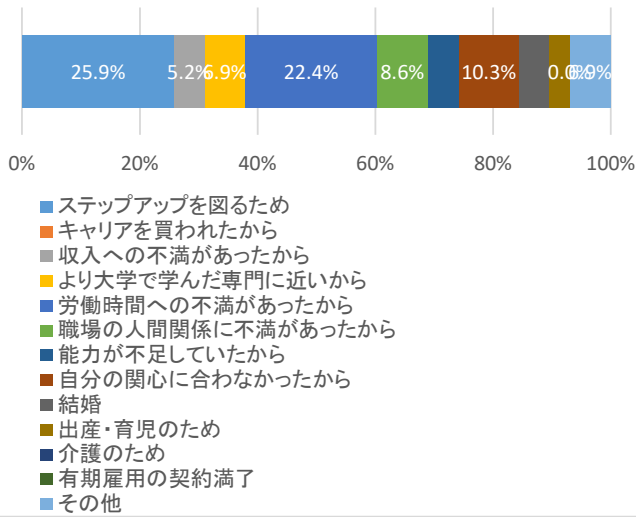


Q9-4, 就職先を選択した重視度	非常に重視した		やや重視した		あまり重視しなかった		全く重視しなかった		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
[A]知名度	31	17.1%	59	32.6%	70	38.7%	21	11.6%	181	100%
[B]安定性	70	38.7%	78	43.1%	25	13.8%	8	4.4%	181	100%
[C]職種	78	43.1%	74	40.9%	25	13.8%	4	2.2%	181	100%
[D]業種	69	38.1%	81	44.8%	27	14.9%	4	2.2%	181	100%
[E]収入	46	25.4%	83	45.9%	45	24.9%	7	3.9%	181	100%
[F]勤務地	66	36.5%	73	40.3%	37	20.4%	5	2.8%	181	100%
[G]福利厚生 of 充実	47	26.0%	73	40.3%	54	29.8%	7	3.9%	181	100%
[H]周囲の薦め・紹介	15	8.3%	61	33.7%	77	42.5%	28	15.5%	181	100%
[I]将来性	42	23.2%	77	42.5%	54	29.8%	8	4.4%	181	100%
[J]専門分野とのつながり	49	27.1%	79	43.6%	42	23.2%	11	6.1%	181	100%



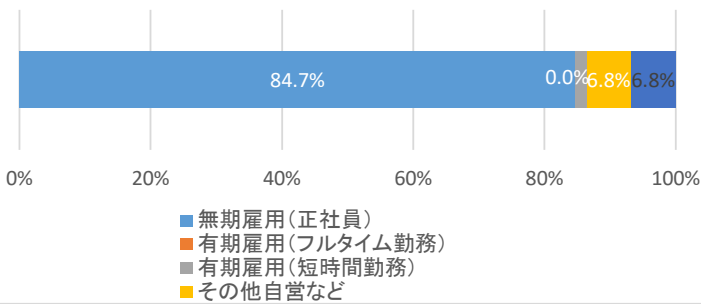
Q10-1, 転職・離職の経験	回答数	割合
1度だけある	44	24.3%
2回以上ある	16	8.8%
ない	121	66.9%
合計	181	100%

Q10-2 転職、離職の理由



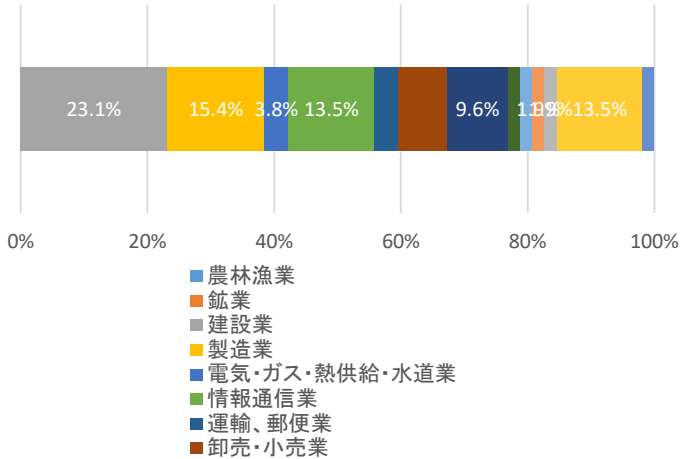
Q10-2 転職、離職の理由	回答数	割合
ステップアップを図るため	15	25.9%
キャリアを買われたから	0	0.0%
収入への不満があったから	3	5.2%
より大学で学んだ専門に近いから	4	6.9%
労働時間への不満があったから	13	22.4%
職場の人間関係に不満があったから	5	8.6%
能力が不足していたから	3	5.2%
自分の関心に合わなかったから	6	10.3%
結婚	3	5.2%
出産・育児のため	2	3.4%
介護のため	0	0.0%
有期雇用の契約満了	0	0.0%
その他	4	6.9%
合計	58	100%

Q11-1 現在の就業形態



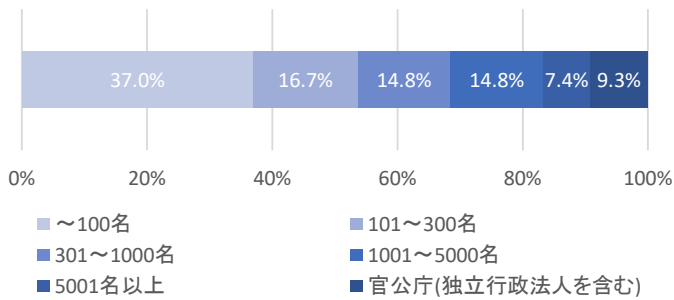
Q11-1 現在の就業形態	回答数	割合
無期雇用(正社員)	50	84.7%
有期雇用(フルタイム勤務)	0	0.0%
有期雇用(短時間勤務)	1	1.7%
その他自営など	4	6.8%
仕事をしていない	4	6.8%
合計	59	100%

Q11-2 現職の勤務先の業種



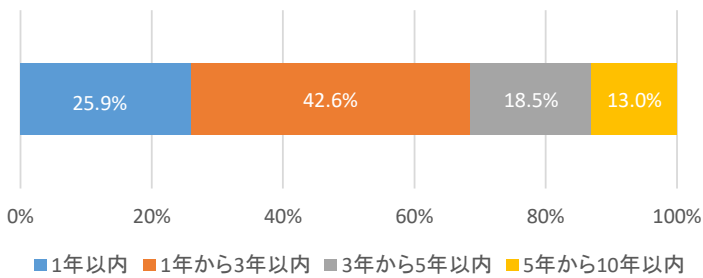
Q11-2 現職の勤務先の業種	回答数	割合
農林漁業	0	0.0%
鉱業	0	0.0%
建設業	12	23.1%
製造業	8	15.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	3.8%
情報通信業	7	13.5%
運輸、郵便業	2	3.8%
卸売・小売業	4	7.7%
金融・保険業	0	0.0%
不動産・物品賃貸業	0	0.0%
学術研究・専門・技術サービス業	5	9.6%
宿泊業・飲食店	1	1.9%
生活関連サービス・娯楽業	1	1.9%
教育、学習支援業	1	1.9%
医療、福祉	1	1.9%
公務員(他に分類されないもの)	7	13.5%
その他	1	1.9%
合計	52	100%

Q11-3, 勤務先の従業員数



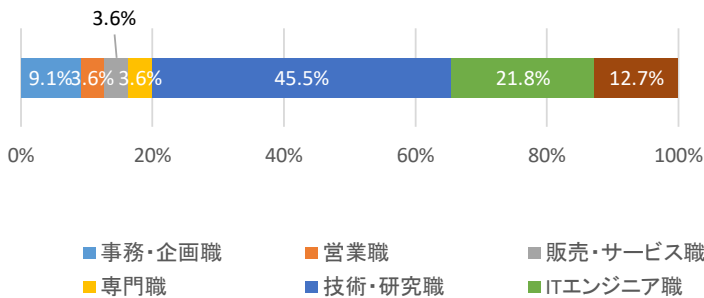
Q11-3, 勤務先の従業員数	回答数	割合
~100名	20	37.0%
101~300名	9	16.7%
301~1000名	8	14.8%
1001~5000名	8	14.8%
5001名以上	4	7.4%
官公庁(独立行政法人を含む)	5	9.3%
合計	54	100%

Q11-4, 現職の勤続年数



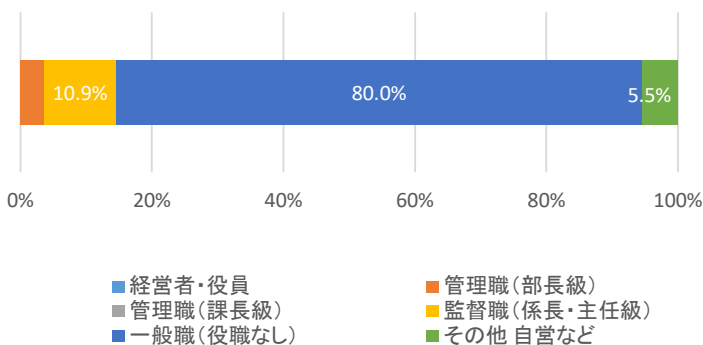
Q11-4, 現職の勤続年数	回答数	割合
1年以内	14	25.9%
1年から3年以内	23	42.6%
3年から5年以内	10	18.5%
5年から10年以内	7	13.0%
合計	54	100%

Q11-5, 現職の職種



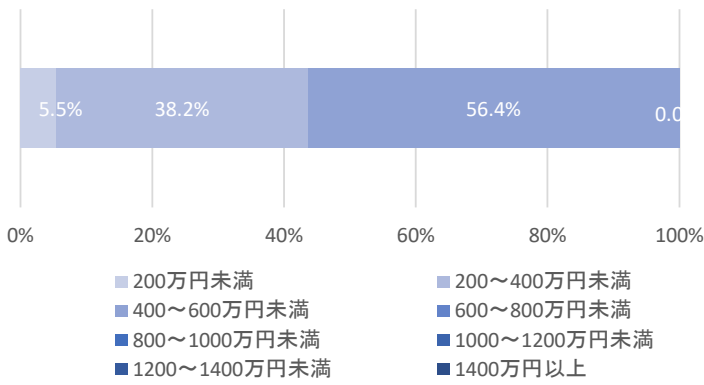
Q11-5, 現職の職種	回答数	割合
事務・企画職	5	9.1%
営業職	2	3.6%
販売・サービス職	2	3.6%
専門職	2	3.6%
技術・研究職	25	45.5%
ITエンジニア職	12	21.8%
経営者・役員	0	0.0%
その他	7	12.7%
合計	55	100%

Q11-6, 現職の職階



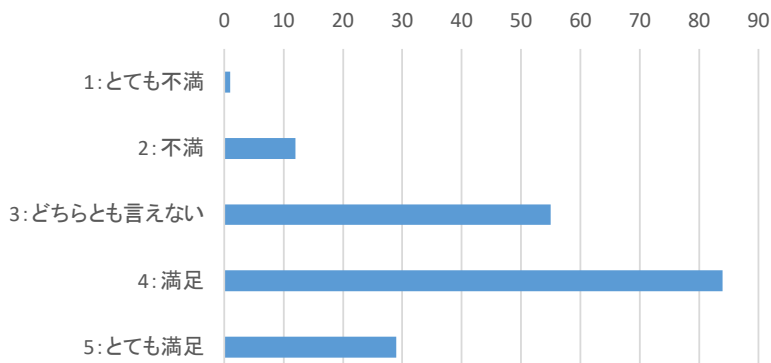
Q11-6, 現職の職階	回答数	割合
経営者・役員	0	0.0%
管理職(部長級)	2	3.6%
管理職(課長級)	0	0.0%
監督職(係長・主任級)	6	10.9%
一般職(役職なし)	44	80.0%
その他 自営など	3	5.5%
合計	55	100%

Q11-7, 現在の年収



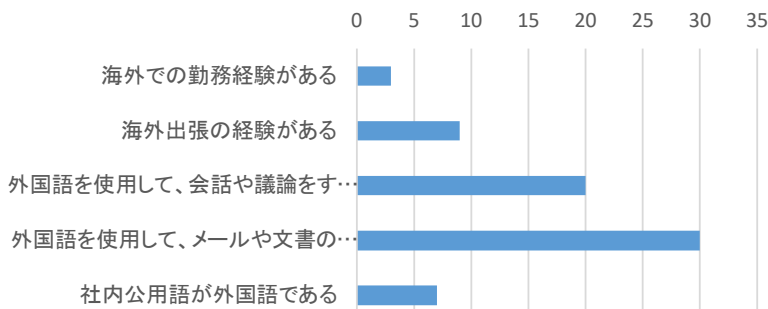
Q11-7, 現在の年収	回答数	割合
200万円未満	3	5.5%
200~400万円未満	21	38.2%
400~600万円未満	31	56.4%
600~800万円未満	0	0.0%
800~1000万円未満	0	0.0%
1000~1200万円未満	0	0.0%
1200~1400万円未満	0	0.0%
1400万円以上	0	0.0%
合計	55	100%

Q12 これまでのキャリアパスに満足か



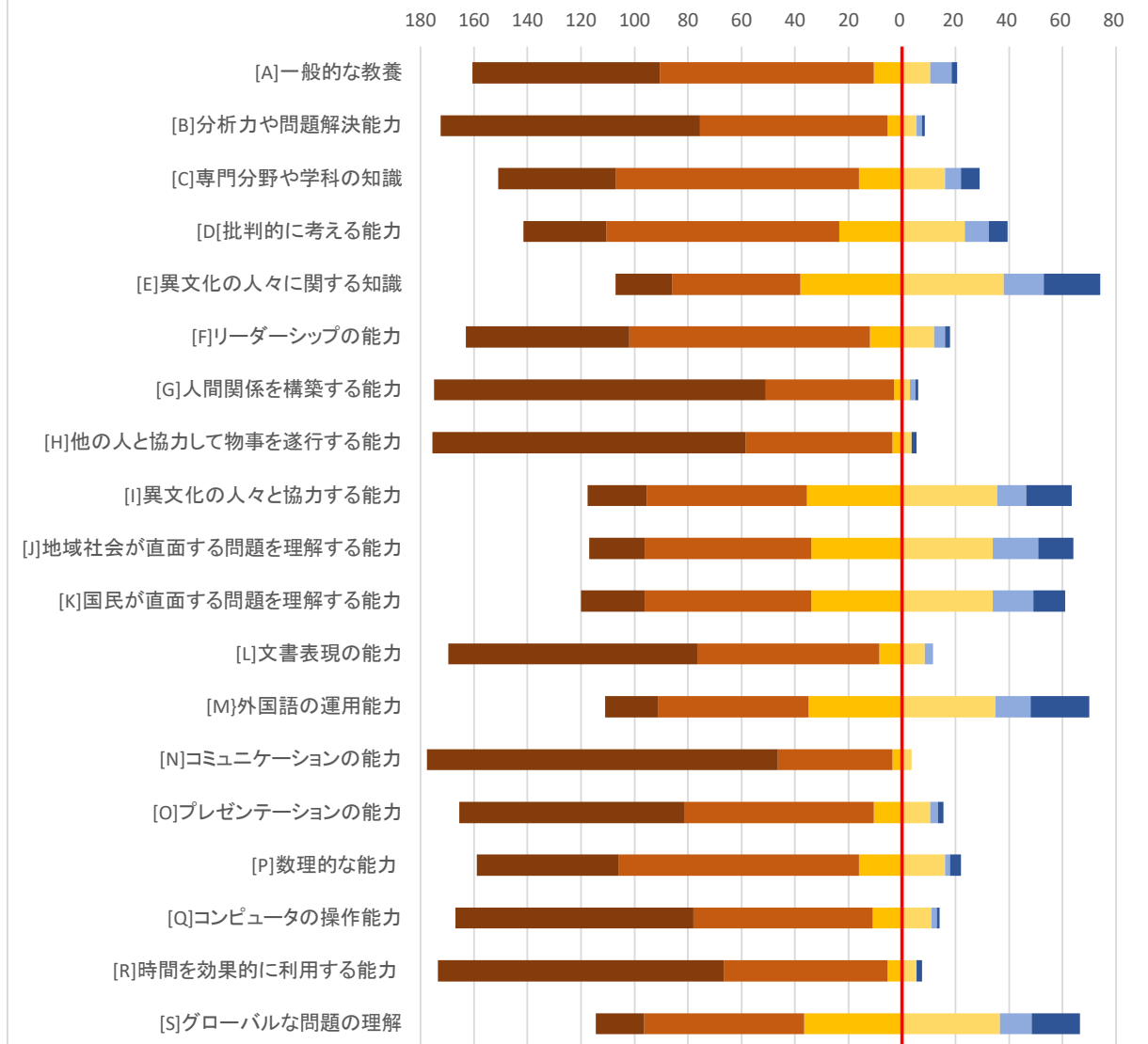
Q12 これまでのキャリアパスに満足か	回答数	割合
とても不満	1	0.6%
不満	12	6.6%
どちらとも言えない	55	30.4%
満足	84	46.4%
とても満足	29	16.0%
合計	181	100%

Q13 海外での勤務経験など(複数選択)



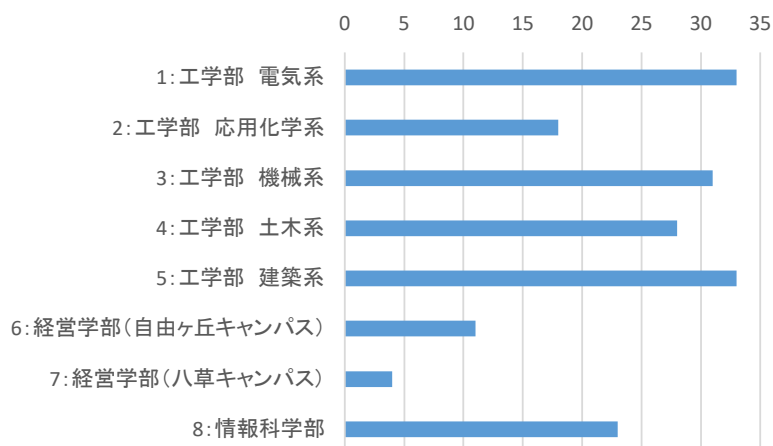
Q13 海外での勤務経験など(複数選択)	回答数	割合
海外での勤務経験がある	3	4.3%
海外出張の経験がある	9	13.0%
外国語を使用して、会話や議論をする必要がある	20	29.0%
外国語を使用して、メールや文書のやりとりをする必要がある	30	43.5%
社内公用語が外国語である	7	10.1%
合計	69	100%

Q16, 社会で求められる能力



Q16, 社会で求められる能力	重要		どちらかとい えば重要		どちらともい えない		どちらかとい えば重要でな		重要でない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
[A]一般的な教養	70	38.7%	80	44.2%	21	11.6%	8	4.4%	2	1.1%	181	100%
[B]分析力や問題解決能力	97	53.6%	70	38.7%	11	6.1%	2	1.1%	1	0.6%	180	100%
[C]専門分野や学科の知識	44	24.4%	91	50.6%	32	17.8%	6	3.3%	7	3.9%	181	100%
[D]批判的に考える能力	31	17.1%	87	48.1%	47	26.0%	9	5.0%	7	3.9%	181	100%
[E]異文化の人々に関する知識	21	11.6%	48	26.5%	76	42.0%	15	8.3%	21	11.6%	181	100%
[F]リーダーシップの能力	61	33.7%	90	49.7%	24	13.3%	4	2.2%	2	1.1%	181	100%
[G]人間関係を構築する能力	124	68.5%	48	26.5%	6	3.3%	2	1.1%	1	0.6%	181	100%
[H]他の人と協力して物事を遂行する能力	117	64.6%	55	30.4%	7	3.9%	0	0.0%	2	1.1%	181	100%
[I]異文化の人々と協力する能力	22	12.2%	60	33.1%	71	39.2%	11	6.1%	17	9.4%	181	100%
[J]地域社会が直面する問題を理解する能力	21	11.6%	62	34.3%	68	37.6%	17	9.4%	13	7.2%	181	100%
[K]国民が直面する問題を理解する能力	24	13.3%	62	34.3%	68	37.6%	15	8.3%	12	6.6%	181	100%
[L]文書表現の能力	93	51.4%	68	37.6%	17	9.4%	3	1.7%	0	0.0%	181	100%
[M]外国語の運用能力	20	11.0%	56	30.9%	70	38.7%	13	7.2%	22	12.2%	181	100%
[N]コミュニケーションの能力	131	72.4%	43	23.8%	7	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	181	100%
[O]プレゼンテーションの能力	84	46.4%	71	39.2%	21	11.6%	3	1.7%	2	1.1%	181	100%
[P]数理的な能力	53	29.3%	90	49.7%	32	17.7%	2	1.1%	4	2.2%	181	100%
[Q]コンピュータの操作能力	89	49.2%	67	37.0%	22	12.2%	2	1.1%	1	0.6%	181	100%
[R]時間を効果的に利用する能力	107	59.1%	61	33.7%	11	6.1%	0	0.0%	2	1.1%	181	100%
[S]グローバルな問題の理解	18	9.9%	60	33.1%	73	40.3%	12	6.6%	18	9.9%	181	100%

F1, 卒業した学部



F1, 卒業した学部	回答数	割合
工学部(電気系)	33	18.2%
工学部(化学系)	18	9.9%
工学部(機械系)	31	17.1%
工学部(土木系)	28	15.5%
工学部(建築系)	33	18.2%
経営学部(自由ヶ丘)	11	6.1%
経営学部(八草)	4	2.2%
情報科学部	23	12.7%
合計	181	100%

令和 6 年度教学改善の事例の紹介

実施内容:IR データ「学部授業成績結果」を踏まえた課題等の確認及び改善計画の立案

実施期間:令和 6 年 7 月 4 日～9 月 10 日

実施対象:各学科・教室

本取組のねらい

前年度の学部授業実施結果を客観的に分析し、教育の質向上を図ることを目的としています。具体的には、各学科・部門において授業運営上の現状を正確に把握し、課題を明確に定義することで、根拠に基づいた改善策の立案・実行を目指します。

また、チェックポイントを設定することにより、これまでの改善経緯を体系的に整理し、より効果的な改善サイクルを確立いたします。

電気学科

現状分析と課題定義

プログラミング科目の合格率課題

「プログラミング 1 及び演習」の合格率が若干低い状況

電気回路科目の深刻な課題

「電気回路 I 及び演習」の合格率が著しく低い

選択科目の習得率低下

「電気機器システム」「制御工学」の習得率が低い

緊急時対応の不備

専任教員の休職に対する備えが不十分

1 年生留年学生への対応課題

再履修受講が困難な学生の増加

令和 7 年度改善計画

- ➡再履修クラスの継続的運用とフォロー体制の維持
- ➡担当教員の調整
- ➡代理教員制度の整備によるリスク管理強化
- ➡1 年次進級条件の見直し検討

応用化学科

現状分析と課題定義

専攻間の研究室配属制限

応用化学専攻とバイオ環境化学専攻それぞれ 4 グループずつに配属が限定され、学生の選択肢が制約

3 年後期科目の履修者減少

卒業要件充足により履修を控える傾向、特に成績優秀者の早期単位充足

令和 7 年度改善計画

- ➡3 年生後期演習科目の統一(「応用化学演習」への一本化)
- ➡全 8 研究グループへの選択肢拡大の段階的实施
- ➡履修系統図を活用したガイダンス強化
- ➡両専攻開講科目の検討

機械学科

現状分析と課題定義

専攻間格差

機械創造工学専攻 1 年「機械基礎力学」、3 年「伝熱工学」の修得率が機械工学専攻より低い

履修者数の偏り

機械構造工学専攻 3 年「センサ・アクチュエータ工学」の受講者数が少ない

新カリキュラムの検証必要性

「電気・電子回路」統合の効果測定が必要

教員間連携不足

科目系統における内容・教授法の整合性に課題

令和 7 年度改善計画

- ➡機械創造工学専攻 1 年「機械基礎力学」の再履修クラス設置と内容改善
- ➡専攻間での教員意見交換促進
- ➡FD サロンによる教員間情報共有の場設置
- ➡新カリキュラム効果の継続検証

土木工学科

現状分析と課題定義

基礎科目の修得率課題

建設基礎数学の修得率が低い

基礎教育科目格差

物理学(波動)で常勤・非常勤間の修得率に著しい差あり

履修行動の問題

GPA 低下の懸念による選択科目の履修回避

時間割配置の偏り

選択科目と必修科目のバランス不良

令和 7 年度改善計画

- ➡建設基礎数学と材料力学の講義内容改善
- ➡入学前教育の拡充検討
- ➡基礎教育センターとの連携強化による評価差是正
- ➡時間割のバランス改善

建築学科

現状分析と課題定義

4 年生科目の履修者激減

卒業要件充足により履修者数が大幅減少

修得率・GPA 低下

2・3 年生対象 9 科目の修得率及び科目 GPA が低下

学生数過多の影響

定員より多い学生数による教育負担増大

令和 7 年度改善計画

➡2025 年度カリキュラム改訂で 4 年生科目基本廃止

➡研究室指導への集中化

➡学生数正常化による教育環境改善の期待

➡成績評価基準の慎重な運用

経営学科(経営情報システム専攻)

現状分析と課題定義

成績評価基準の不統一

科目間で「秀」評価に大きなばらつき

数学関連科目の習得率低下

基礎数学の知識不足による学修成果の低下

上級生向け科目の問題

履修者数の減少と GPA 低下

優秀学生への対応不足

発展的課題プログラムの不備

令和 7 年度改善計画

➡成績評価基準の標準化推進

➡非常勤教員の FD 活動参加促進

➡数学教育の弱点克服プログラム継続

➡上級生科目の実践的内容強化

➡優秀学生向け高度課題機会の提供

経営学科(スポーツマネジメント専攻)

現状分析と課題定義

データサイエンス科目の学力差

極少数上位層と多数下位層の二極化

特定科目の履修者激減

月曜後期科目でクラブ活動との競合

極端な評価分布

産業法規の修得率及び科目 GPA が低下

令和 7 年度改善計画

➡データサイエンス科目担当者間の継続協議

➡月曜 5 限科目配置の見直し検討

➡経営情報システム専攻との比較による改善方策検討

➡成績分布の適正化

情報科学科(コンピュータシステム専攻)

現状分析と課題定義

Q 評価基準の不統一

シラバスへの反映不十分

キャリア教育科目の見直し必要性

受講者数の減少と内容の再検討

演習科目への関心低下

3年次選択必修演習の重要性の認識不足

合格基準の検証必要性

修得率が高い科目の評価の適正性

令和 7 年度改善計画

➡シラバスへの Q 評価基準明記推進

➡区分間差の継続観測

➡低 GPA 科目の改善促進

➡キャリア教育科目群の構成見直し

➡合格基準・判定方法の現状把握

情報科学科(メディア情報専攻)

現状分析と課題定義

前年度改善策の成果

F/Q 判断基準統一、科目 GPA・修得率改善を達成

新たな課題の出現

履修者数の減少

評価分布の極端化

一部科目で修得率・GPA が著しく高い状況

令和 7 年度改善計画

➡シラバスへの Q 評価基準反映継続

➡履修者少数科目の開講時期検討

➡卒業研究・制作のあり方検討

➡専攻間差の状況確認

➡科目系統図に基づく教育内容見直し

自然科学教室(物理)

現状分析と課題定義

深刻な修得率低下

防災土木工学専攻 2 年「物理学(波動)」での修得率の異常事態

習熟度別クラスの逆転現象

上位・下位クラスの成績逆転が散見

評価の極端化

物理実験で GPA が著しく高い

令和 7 年度改善計画

- ➡再履修クラス担当者との連携強化による改善
- ➡GPA2.0 を参考とした成績設定の標準化
- ➡習熟度別クラス成績逆転の防止策実施
- ➡物理実験評価基準の相対的厳格化
- ➡絶対評価の適正性確保

自然科学教室(数学)

習熟度別クラス逆転現象の改善

前年度より減少傾向だが完全解消には至らず

成績分布調整の成果

極端な差を持つ科目の解消達成

履修者数の不均衡

一部科目で受講者過多・過少の問題

令和 7 年度改善計画

- ➡「秀」評価を受講者の 1 割程度に目安設定
- ➡履修促進のための専攻・チューター連携強化
- ➡「確率・統計」の 2 クラス分割実施(令和 7 年度)
- ➡「幾何学」担当教員変更による改善期待(2025 年度)

総合教育科目(英語)

現状分析と課題定義

成績評価の平準化達成

共通教材使用と非常勤講師ガイダンスにより大幅改善

評価方法の移行期課題

コミュニケーション・イングリッシュ C/D の評価法統一過程

必修科目の修得率

適正範囲内だが初年次特有の問題存在

受講者数調整

少人数開講の継続的改善

令和 7 年度改善計画

- ➡成績評価平準化の継続監視
- ➡プロジェクト型学習への統一推進
- ➡外部機関評価の導入(2024 年度後期)
- ➡初年次サポート強化のための学科連携
- ➡開講数の慎重な調整継続

総合教育科目(第二外国語)

現状分析と課題定義

中国語の統一化達成

教材・シラバス・採点基準の統一による GPA の安定化

新科目の試行

「中国のことばと文化」「フランスのことばと文化」の方向性検討

評価方法の検討

語学と文化のバランス調整が課題

令和 7 年度改善計画

- ➡「中国のことばと文化」の語学・文化バランス最適化
- ➡「フランスのことばと文化」の期末試験統一化
- ➡「ドイツのことばと文化」の語学・文化バランス最適化
- ➡担当教員の個性を活かしつつ、クラス間の偏りを防止

総合教育科目(その他)

現状分析と課題定義

科目間格差の限定的発生

ものづくり系で若干のばらつき、法律系で極端な修得率の低下

抽選科目の需給調整

受講希望者の受け入れ限界

評価方法の多様性

日本語リテラシーでのばらつき要因不明

令和 7 年度改善計画

- ➡抽選科目の定員充足率確認による科目配置調整
- ➡ものづくり系科目の継続的格差監視
- ➡担当非常勤講師への改善指導実施
- ➡健康・スポーツ科学実習の現行体制維持
- ➡社会ニーズを踏まえた内容精査

総合教育科目(教職)

現状分析と課題定義

段階的評価システム

1-2 年次から教育実習まで体系的な単位認定体制

キャンパス間格差

八草・自由が丘間で修得率・成績分布に差異

特定科目の評価異常

非常勤講師担当科目で「秀」評価が過度に高い

令和 7 年度改善計画

- ➡評価の正常化
- ➡世代交代の推進
- ➡成績分布の適正化実現

令和7年度 教育・学修成果に関する点検・評価アンケート

卒業生の就職先である9社に各学科2社ずつ（1社に2学科重複有り）、以下の目的でアンケート調査を行いました。

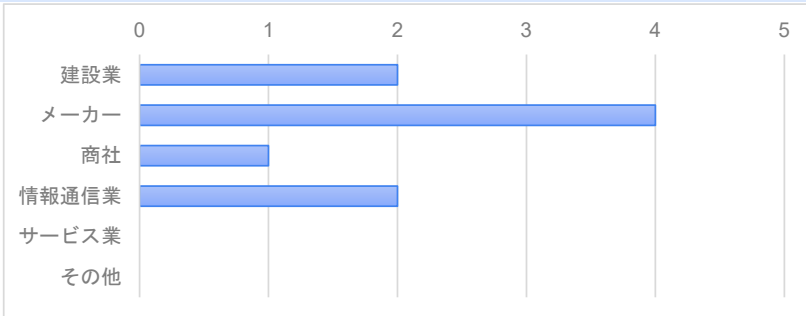
【目的】

教育改善のため、企業で即戦力となる人材養成および成績証明書以外に資格・能力・知識等の学修成果の対外的な可視化について検討できるよう、「教育・学修成果に関する点検・評価」を実施した。

【事前質問】

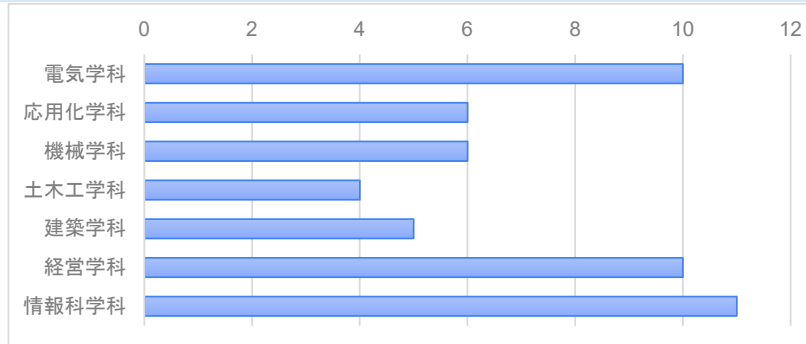
<問1-1> 御社の職種を教えてください。

建設業	2社
メーカー	4社
商社	1社
情報通信業	2社
サービス業	0社
その他	0社



<問1-2> 採用実績のある学部学科名を教えてください。

電気学科	10人
応用化学科	6人
機械学科	6人
土木工学科	4人
建築学科	5人
経営学科	10人
情報科学科	11人

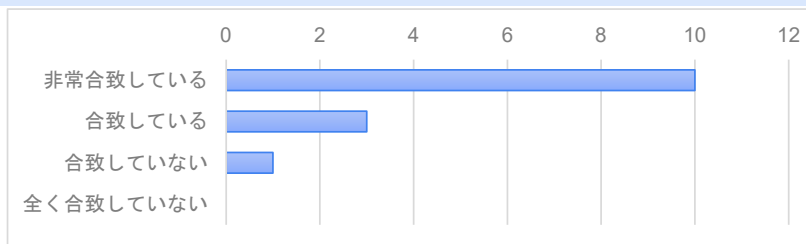


【ディプロマ・ポリシーに関する質問】

※各学科のDPは2021年度カリキュラム

<問2-1> 各学科のDPは、社会や産業界のニーズに合致していると思われませんか。

非常合致している	10社
合致している	3社
合致していない	1社
全く合致していない	0社

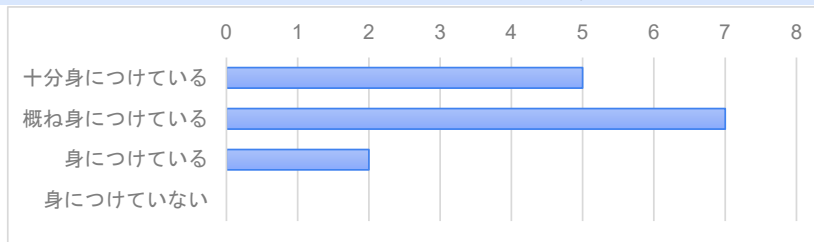


<問2-2> DPにおいて、特に評価できる点があれば教えてください。

- [電気学科] 特にDP1:電気・電子情報技術者に必要な基礎学力、DP2:専門基礎知識、DP5倫理観と教養については高く評価しました。今後技術革新が加速度的に進んでいくことが想定される中において、それらについていく基礎学力や基礎知識に加え、技術者に高い倫理観やリベラルアーツが要求されると考え評価しました。
- [応用化学科] DP4～5は得た知識をどのように活用するのかに繋がる内容かと思いますので、社会人としてより必要な知識だと感じました。
- [機械学科] 特にDP1:機械工学の基礎知識、DP5:倫理感、DP7:教養と人間性については高く評価しました。今後AIをはじめ高度な技術を扱っていく中において、それらについていく基礎知識に加え、技術者に高い倫理観やリベラルアーツが要求されると考え評価しました。
- [土木工学科] 地震大国である日本において、防災に関する必要な知識を養成している点
- [建築学科] 使命感と責任感、正しい倫理観は何事を成すにおいても重要だと思います。
- [建築学科] 「主体的に学ぶ姿勢」はとても重要な要素と感じています。
- [経営学科] グロービス視点を持つことを掲げられている点

<問2-3> 貴社に入社した愛知工業大学卒業生は、DPに掲げられている資質・能力を身につけていると思われますか。

十分身につけている	5社
概ね身につけている	7社
身につけている	2社
身につけていない	0社



<問2-4> 特に不足していると感じる資質・能力があれば以下から選択してください。以下の選択肢以外のことがあれば、その他に記述してください。

[電気学科]	DP4	外国語によるコミュニケーション基礎力	2社
[応用化学科]	DP2	応用化学の幅広い専門基礎知識	1社
[応用化学科]	DP6	グローバル化した社会に臨む化学技術者に必要な基礎的語学力+	2社
[機械学科]	DP7	国際的に活躍できる幅広い教養と豊かな人間性	2社
[土木工学科]	DP1	人格の向上	1社
[土木工学科]	DP2	専門知識の養成	1社
[建築学科]	DP2	建築に関する専門的な理論と総合的で高い応用技術	2社
[建築学科]	DP5	人と地球環境にやさしい社会づくりのための先端技術と実践力	1社
[経営学科]	DP2	日本人だけでなく外国人にも表現力とコミュニケーション力を発揮し、協働できる	1社
[情報科学科]	DP4	専門教育科目の履修を通じて、メディア情報専攻においては、種々のメディアを用いたコンテンツの開発手法についての知識と技能を修得し、コンテンツの開発において実践的な能力を発揮することができること	1社
[経営学科]		特に不足は感じられない	2社
[情報科学科]			

<問2-5> 貴社採用選考（大学生新卒採用）において、重要視する資質・能力があれば以下から選択してください。以下の選択肢以外のことがあれば、その他に記述してください。

[電気学科]	DP1	電気・電子情報技術者に必要な基礎学力	2社
[電気学科]	DP2	電気・電子情報工学の専門基礎知識	2社
[電気学科]	DP5	豊かな人間性を育む倫理観と教養	1社
[電気学科]	DP6	グローバル社会におけるキャリア意識	1社
[応用化学科]	DP1	応用化学の専門知識を理解する際に必要な自然科学系基礎学力・知識	1社
[応用化学科]	DP2	応用化学の幅広い専門基礎知識	1社
[応用化学科]	DP4	化学技術者として活躍するために不可欠なリーダーシップと協調性、提案する力と解決する力の修得	2社
[応用化学科]	DP5	幅広い教養と豊かな人間性および正しい倫理観に基づくキャリア意識	2社
[応用化学科]	DP6	グローバル化した社会に臨む化学技術者に必要な基礎的語学力	1社
[機械学科]	DP1	機械工学の基礎となる専門科目の知識と素養	2社
[機械学科]	DP4	未来志向の先端分野に関する科学・技術	2社
[機械学科]	DP5	社会に貢献する機械技術者としての将来像、倫理観	1社
[機械学科]	DP7	国際的に活躍できる幅広い教養と豊かな人間性	1社
[土木工学科]	DP1	人格の向上	2社
[土木工学科]	DP2	専門知識の養成	1社
[建築学科]	DP1	基礎的な知識と素養、何事にも主体的に学ぶ姿勢	2社
[建築学科]	DP3	建築技術者としての強い使命感と責任感、正しい倫理観	2社
[建築学科]	DP4	自己の表現力、他との協働を尊重できるコミュニケーション能力	2社
[経営学科]	DP3	論理的に状況を分析し、問題解決へ向けて主体的に対応することができる	2社
[情報科学科]	DP2	共通教育科目の履修を通じて、情報科学分野に共通する基礎力と社会人として必要な人間的能力を養うこと	2社
[情報科学科]	DP3	専門教育科目の履修を通じて、コンピュータシステム専攻においては、コンピュータシステムについての知識と技術を修得し、コンピュータシステムの開発において実践的な能力を発揮することができること	1社

<問2-6> 重要視する資質・能力を選択した理由があればお聞かせください。

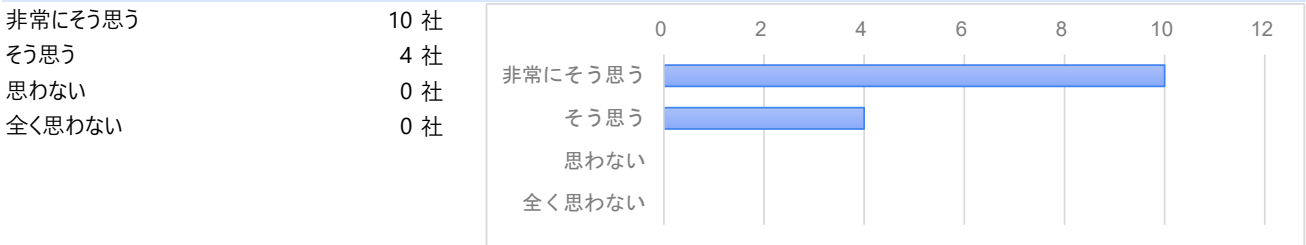
- [電気学科] 今後は一層、先端分野への興味関心を常に持ち続けることができるか、幅広い異分野から異なる知と知を機械工学の分野と紐づけイノベーションを創出できるかが重要となると考えているため
- [電気学科] キャリア意識を特に重視しています。理由としては、専攻分野を活かしたいという学生は多いのですが、専攻を活かした上でどのようなエンジニアになりたいのかという「将来のエンジニア像」を明確に描けている学生は少ないと感じます。当社としてはありたいエンジニア像の解像度が高い学生を採用したいと思っていますからです。
- [応用化学科] 基礎知識は絶対条件として持っていただきました。一方で仕事で必要となる知識やスキルは入社後身に付けていくものになりますので、そこでいかに自発的に学ぶ姿勢や、自分の与えられた役割を理解し取り組めるかが、スタートダッシュには必要な力になるため、4～5を意識できるとより良いと考えます。
- [機械学科] 今後は一層、先端分野への興味関心を常に持ち続けることができるか、幅広い異分野から異なる知と知を機械工学の分野と紐づけイノベーションを創出できるかが重要となると考えているため
- [土木工学科] モノづくりに対する熱意コミュニケーション能力聞く力をもっている
- [土木工学科] 人間関係構築、主体性、実行力
- [建築学科] 今お持ちの知識や技術より、学ぶ姿勢やコミュニケーション能力による伸びしろに期待しています。また、どのような知識・技術も正しい倫理観なく、活かされることはないと考えています。
- [建築学科] 弊社が求める人物像として、主体性、協調性、対人関係構築能力
- [経営学科] 当社のビジネスにおいては大手メーカーの設計開発職がお客様になるため、論理的思考力・倫理的会話力が求められるため
- [情報科学科] コンピュータを基本にして案件に携わっていくため

<問2-7> 今後5～10年の社会変化を見据えたとき、DPIに追加すべき能力・資質はありますか。

- [電気学科] 電気・電子工学と社会課題との接合に挑み続けるマインドセット、と様々なバックグラウンドを持つ他社との協働できる力が今以上に必要となってくると思います。
- [応用化学科] 世の中で起きている様々な事象について、他人ごとではなく自分事としてとらえ、原因や解決策を探求・追及できる力
- [機械学科] DP5と意味が一部重複してしまいますが機械工学と社会課題との接合に挑み続けるマインドセット、と様々なバックグラウンドを持つ他社との協働できる力が今以上に必要となってくると思います。
- [土木工学科] デジタル技術やAI、ロボティクスなどの新技術を活用するための専門知識
- [建築学科] 変化に対応できる柔軟な発想力と対応力
- [建築学科] デジタル技術やAI、ロボティクスなどの新技術を活用するための専門知識
- [情報科学科] 進化途中の技術を少しでも取り入れてほしい

【カリキュラム・ポリシーに関する質問】 ※各学科のCPは2021年度カリキュラム

<問3-1> 各学科のCP及び科目系統図をご覧いただき、各学科の教育課程はDPの達成に効果的なカリキュラム編成だと思われませんか。



<問3-2> CPにおいて、評価できる点があれば教えてください。

- [電気学科] 社会実装を想定した3年次4年次のカリキュラムが評価できると感じました。
- [電気学科] 技術者として社会で活躍することを念頭に置いた教育設計をされている点
- [機械学科] 主体的な学びができること、社会での実践を見据えた学習ができる点が評価できると感じました。
- [土木工学科] 論理的思考を礎とするコミュニケーション能力の育成に力を入れている点
- [建築学科] 課題の発見・解決に向け、主体的・協働的に学ぶ姿勢
- [建築学科] 2「主体的に取り組む、創造力豊かな人材」の文言はとても重要性が高いと考えます。

<問3-3> 産業界の現状やニーズを踏まえ、カリキュラムに取り入れるべき内容や強化すべき教育内容があれば教えてください。

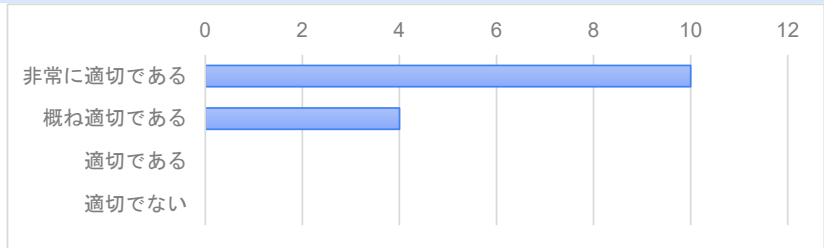
- [電気学科] リベラルアーツを強化してもよいかもしれません。
- [機械学科] 自然科学分野に加えてリベラルアーツを強化してもよいかもしれません。

【アドミッション・ポリシー設問】

※各学科のAPは2024年度の入試要項

<問4-1> 各学科のAPをご覧ください、将来の社会や産業界で活躍できる人材の選抜方針として適切だと思われますか。

非常に適切である	10社
概ね適切である	4社
適切である	0社
適切でない	0社

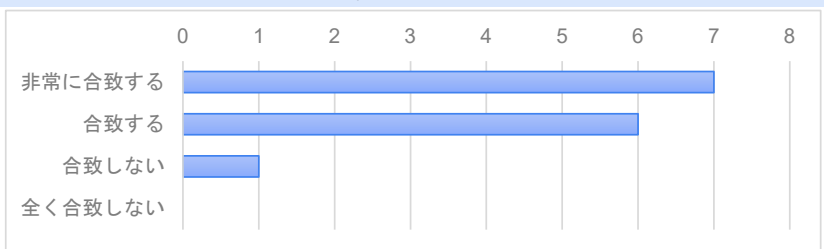


<問4-2> APにおいて、評価できる点があれば教えてください。

- [電気学科] 求める学生像のパーソナリティが網羅的、多角的である点
- [機械学科] 求める学生像のパーソナリティが網羅的、多角的である点
- [土木工学科] 地震や台風などの自然災害に強いまちづくりほか、地域の発展に寄与する考え方
- [建築学科] 可能であれば施工管理職を意識したモノづくりに興味関心がある項目も包含していただけますとありがたいです。

<問4-3> 各学科のAPと貴社の求める人材像と照らし合わせて、合致する要素はありますか。

非常に合致する	7社
合致する	6社
合致しない	1社
全く合致しない	0社



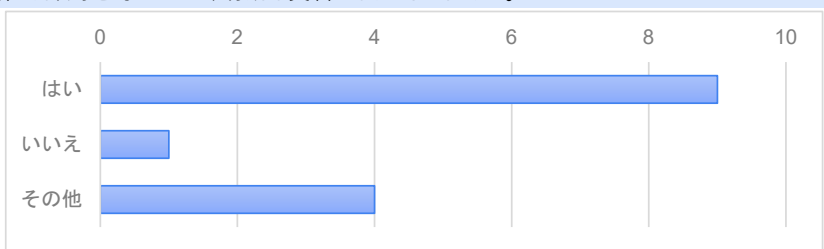
<問4-4> 特に合致する要素があれば教えてください。

- [電気学科] 社会貢献は弊社経営理念にも含まれる根幹の考え方なので特に合致している要素となります。
- [電気学科] エレクトロニクスや情報通信技術に興味がある
- [応用化学科] 3, 4 が特に合致していると感じます。
- [機械学科] 社会貢献は弊社経営理念にも含まれる根幹の考え方なので特に合致している要素となります。
- [建築学科] 安全性や快適性に関心を持つこと
- [経営学科] 広範囲のビジネススキルを身につけたい人

【ディプロマ・サプリメントに関する質問】

<問5-1> ディプロマ・サプリメントを発行した場合、貴社の採用選考において、有効な資料になりえるでしょうか。

はい	9社
いいえ	1社
その他	4社



- ・自社で適性試験を実施しています。
- ・発行時期と採用選考時期が同時期かどうかの判断になります。
- ・直接的な採用選考ではなく参考程度と考える
- ・有効な情報として扱うことはできるが必須ではなく参考情報

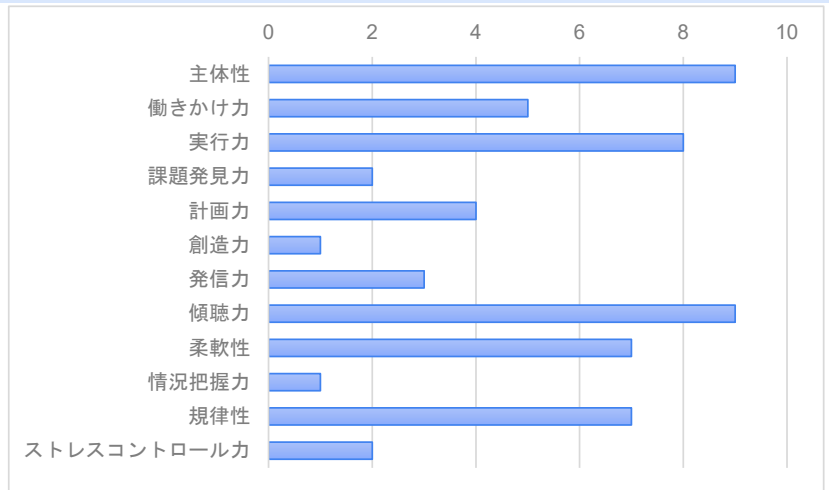
<問5-2>ディプロマ・サブリメントにおいて、本学学生のどのような情報が記載されていると貴社採用選考において、有効活用できると感じますか。

- [電気学科] 課外での活動（例えばレスキューロボット研究会のような）での取り組み内容とそこでの役割
- [電気学科] コンピテンシー・リテラシーの評価があると、企業側で実施する適性検査との相関関係を鑑みた上で採用を行うことができる
- [応用化学科] 学生さんの人柄などの参考資料として有効だと感じます。特に社会人基礎力は備わっていることで本人はもちろんですが、企業としてもとても有効な力だと感じております。
- [応用化学科] 課外活動において、具体的な記載があるととても参考になります。
- [機械学科] 課外での活動（例えばレスキューロボット研究会のような）での取り組み内容とそこでの役割
- [土木工学科] 適性試験結果と比較して選考に役立てたいと考えています。
- [建築学科] 志向や興味関心、特性が汲み取れる内容
- [経営学科] コンピテンシー・リテラシーの情報があると、当社で実施している適性検査の結果と照らし合わせた上で学生の評価ができ効果的だと思います。

【その他質問】

<問6-1> 本学卒業生の強みとして、特に評価できる点を以下から選択してください。

主体性	9 社
働きかけ力	5 社
実行力	8 社
課題発見力	2 社
計画力	4 社
創造力	1 社
発信力	3 社
傾聴力	9 社
柔軟性	7 社
状況把握力	1 社
規律性	7 社
ストレスコントロール力	2 社

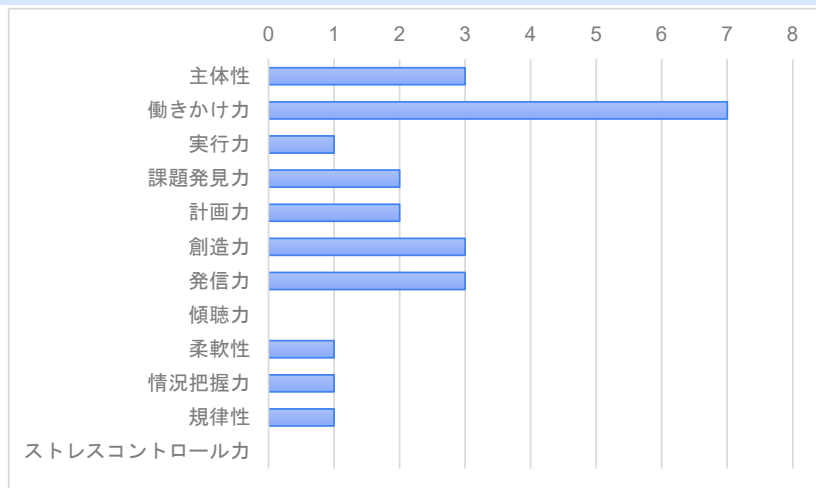


<問6-2> 本学卒業生の強みとして選択した理由をお聞かせください。

- [電気学科] 貴校からの入社者の様子を拝見し、主体的に計画をたて実行できる力は特にすぐれていると感じます。また、状況の変化にも柔軟に対応できルールの順守に対しての意識の高さも感じます。
- [電気学科] 周囲を巻き込み連携しつつも主体性を発揮して仕事に取り組むOBが多い
- [応用化学科] 活躍している卒業生の特徴とあっているため
- [機械学科] 貴校からの入社者の様子を拝見し、主体的に計画をたて実行できる力は特にすぐれていると感じます。また、状況の変化にも柔軟に対応できルールの順守に対しての意識の高さも感じます。
- [土木工学科] 貴学OBには役員他部長クラスに育った人物がいる。これらの人物は先の回答した能力を兼ね備えている。
- [建築学科] 自分自身より相手を尊重し、一度意見を受け取り、考える力をお持ちの方が多く感じているため。
- [建築学科] 入社された御校の卒業生をみて感じた所感になります。
- [経営学科] 仕事に関わる関係者を巻き込みつつ主体性を持って業務に取り組むことができるため
- [情報科学科] 計画したことに対しては何をおいても実行することができるから

<問6-3> 本学卒業生に不足していると感じる点を以下から選択してください。

主体性	3社
働きかけ力	7社
実行力	1社
課題発見力	2社
計画力	2社
創造力	3社
発信力	3社
傾聴力	0社
柔軟性	1社
状況把握力	1社
規律性	1社
ストレスコントロール力	0社



<問6-4> 本学卒業生に不足していると感じた理由をお聞かせください。

[電気学科]	高い規律性を持っていることや計画力、実行力の高いため、全くの0から1を作る想像力こと、強いリーダーシップで引っ張っていく力については他の要素と比較してやや不足していると感じます。
[電気学科]	語学力があるとさらにグローバルエンジニアとして活躍いただける兆しが高まる
[機械学科]	高い規律性を持っていることや計画力、実行力の高いため、全くの0から1を作る想像力こと、強いリーダーシップで引っ張っていく力については他の要素と比較してやや不足していると感じます。
[土木工学科]	創造性とんだ人物は少ないと思われる（貴学のみではなく）
[土木工学科]	御校の学生というより直近の世代の方々は、人と接することの経験の薄さや対人関係構築能力が不足していると感じます。
[建築学科]	せっかく意見を持っていても、自分から発言することが少なく、慎重な方が多いように思うため、もう少し主体的に発信することを期待しています。
[建築学科]	入社時によりあるとよいと感じた点について回答させていただきました。
[情報科学科]	先頭で突っ走るタイプは少ないと感じるから

<問6-5> 今後の社会変化を見据え、愛知工業大学の教育に期待することをお聞かせください。

[電気学科]	社会に出た後のイメージがかなりできてきている学生の方が多く、学習カリキュラムとしても実学的であり、非常に入社後の活躍も早いです。
[応用化学科]	これまでも貴校の学生さんからは多くご興味をもっていただけており、大変ありがたく感じております。今後はよりグローバル化や社会情勢も常に変化していきますので、グローバルな活躍を見据えた体験（留学や語学習得）と社会の変化を常に追う意識を持てるようになるとさらに良いかと感じております。
[機械学科]	社会に出た後のイメージがかなりできてきている学生の方が多く、学習カリキュラムとしても実学的であり、非常に入社後の活躍も早いです。 現在の方針を大きく変えないでいただけることを期待したいです。
[土木工学科]	建設業として、環境・防災、地域貢献への配慮はこれまで以上に必要になってくると思われる。 これらの必要性について貴学での教育強化に期待する
[土木工学科]	継続して、優秀な学生を輩出して下さることを期待しています。
[建築学科]	学生の皆さまが、志を持って就業いただけますよう、ご支援いただけますとありがたく存じます。
[建築学科]	引き続き、一人でも多く御校で学ばれた学生を輩出ください。
[経営学科]	経営視点を持った視座の高い学生と今後も多くご縁があればと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
[情報科学科]	時代に即した技術を従来からある技術をベースに上乘せした形で教育していただきたい

<問6-6> 本アンケートに関するご意見・ご感想等があればお聞かせください。

こういったアンケートを企業側にとっていただけるのは、企業人事としてはより良いエンジニアが社会に増えていくことにも繋がっていくので大変うれしいです。